

官報

號外

昭和四年三月一日 金曜日

內閣印刷局

○第五十六回 衆議院議事速記第二十三號

昭和四年二月二十八日(木曜日)午後一時二十分開議

議事日程 第二十二號

昭和四年二月二十八日

午後一時開議

第一 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第四 絲價安定融資補償法案(政府提出) 第一讀會

第五 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第六 朝鮮簡易生命保險特別會計法律案(政府提出) 第一讀會

第七 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第八 國寶保存法案(政府提出) 第一讀會

第九 家畜保險法案(政府提出) 第一讀會

第十 家畜再保險特別會計法案(政府提出) 第一讀會

第十一 會計檢查院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 同盟及聯合國ト獨逸國及其ノ同盟國トノ戰爭ニ因リ損害ヲ被リタ

ル帝國臣民ノ追加救恤ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 癘病優遇ニ關スル法律案(三浦虎雄君提出) 第一讀會

第十四 衛生組合法案(大里廣次郎君外八名提出) 第一讀會

第十五 衛生組合法案(田崎信藏君外四名提出) 第一讀會

第十六 傳染病豫防法中改正法律案(田崎信藏君外四名提出) 第一讀會

第十七 衆議院議員選舉法中改正法律案(二見其郷君外一名提出) 第一讀會

第十八 家祿賞典給與未濟ニ關スル法律案(石井次郎君外五名提出) 第一讀會

第十九 質屋取締法中改正法律案(鬼丸義齋君提出) 第一讀會

第二十 古物商取締法中改正法律案(鬼丸義齋君提出) 第一讀會

第二十一 刑法中改正法律案(牧野賤男君外二名提出) 第一讀會

第二十二 借家法中改正法律案(小久江美代吉君外二名提出) 第一讀會

第二十三 恩給法中改正法律案(山下谷次君外一名提出) 第一讀會

第二十四 市制中改正法律案(赤尾藤吉郎君提出) 第一讀會

第二十五 町村制中改正法律案(赤尾藤吉郎君提出) 第一讀會

第二十六 道路法中改正法律案(菅野善右衛門君提出) 第一讀會

第二十七 町村有建物火災保險相互組合法案(岩崎一高君外十六名提出) 第一讀會

第二十八 遠洋漁業獎勵法中改正法律案(原耕君提出) 第一讀會

第二十九 違警罪即決例中改正法律案(松定吉君外二名提出) 第一讀會

第三十 工場法中改正法律案(千葉三郎君外五名提出) 第一讀會

第三十一 勞働組合法案(鈴木文治君提出) 第一讀會

第三十二 刑ノ執行又ハ拘留ニ因ル補償ニ關スル法律案(宮古啓三郎君外九名提出) 第一讀會

第三十三 陪審法中改正法律案(橫山勝太郎君外三名提出) 第一讀會

第三十四 衆議院議員選舉法中改正法律案(小久江美代吉君外四名提出) 第一讀會

第三十五 衆議院議員黨籍變更ニ關スル法律案(小久江美代吉君外四名提出) 第一讀會

第三十六 牧野法案(中島鵬六君外一名提出) 第一讀會

第三十七 健康保險法中改正法律案(西尾末廣君提出) 第一讀會

第三十八 國定教科書官給法案(樋口秀雄君外六名提出) 第一讀會

第三十九 會計檢查院法中改正法律案(千葉三郎君提出) 第一讀會

第四十 恩給法中改正法律案(神部爲藏君外五名提出) 第一讀會

第四十一 恩給法中改正法律案(木下成太郎君外七名提出) 第一讀會

○副議長(清瀬一郎君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕
一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
肥料管理法
肥料管理特別會計法案
特許法中改正法律案
實用新案法中改正法律案
意匠法中改正法律案
商標法中改正法律案
(以上二月二十八日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
根室港修築擴張ニ關スル建議案
提出者 小池 仁郎君 山本 厚三君
神部 爲藏君 淺川 浩君
坂東幸太郎君 岡本 幹輔君
湖南鐵道敷設ニ關スル建議案
提出者 石射文五郎君
東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所獨立ニ關スル建議案
提出者 山下 谷次君 山本 慎平君
高田 松平君 東郷 實君
浦河廣尾間帶廣高江間及靜內浦河間鐵道敷設速成ニ關スル建議案
提出者 板谷 順助君 松實喜代太君
岡田伊太郎君 檀野 禮助君
新聞記者ノ資格制定ニ關スル建議案
提出者 飯村 五郎君 上條 信君
兵役義務者及癘兵待遇審議會ニ關スル建議案
提出者 武藤 山治君 田崎 信藏君
千葉 三郎君
(以上二月二十六日提出)

野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

齋藤藤四郎君

西方 利馬君

石射文五郎君

柳津小山間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

石射文五郎君

柳津野澤間及坂下喜多方間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者

石射文五郎君

磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案

提出者

石射文五郎君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

猪苗代湖而低下問題ニ關スル質問主意書

提出者

林 平馬君

小運送業者ノ待遇ニ關スル質問主意書

提出者

山邊 常重君

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲ニ掲載ス〕

一去二十六日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第七部選出決算委員

田邊 七六君

一去二十六日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

産業委員會法案委員

木下成太郎君

田子 一民君

武藤 七郎君

平賀 周君

松村 光三君

山本 慎平君

星島 二郎君

三浦 數平君

石坂 養平君

本田 恒之君

岡崎久次郎君

添田敬一郎君

前田房之助君

深水 清君

大西 正幹君

小峰 滿男君

藤原 米造君

藏園三四郎君

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員

高山 長幸君

池田 龜治君

高橋熊次郎君

三井 德實君

三輪市太郎君

今井 健彦君

齋藤藤四郎君

加藤 知正君

福井 甚三君

豐田 收君

土井 權大君

中野 猛雄君

多田 勇雄君

小山 松壽君

田中 隆三君

小坂 順造君

高田 松平君

西村丹治郎君

川崎安之助君

田 昌君

野田文一郎君

井本 常作君

中島彌團次君

山崎 延吉君

久野 尊資君

小野 寅吉君

熊谷五右衛門君

六大都市ニ關スル法律案外一件委員

辭任野田文一郎君

補關前田房之助君

辭任前田房之助君

補關野田文一郎君

國寶保存法案委員

辭任伊藤仁太郎君

補關川島正次郎君

鐵道敷設法中改正法律案委員

辭任庄司 良朗君

補關丹下茂十郎君

鐵道敷設法中改正法律案委員

辭任寺田 市正君

補關高島 順作君

未成年者飲酒禁止法中改正法律案外一件委員

辭任定塚門次郎君

補關山田 毅一君

鑛業法中改正法律案外一件委員

辭任松村 謙三君

補關林 平馬君

信託業法中改正法律案外一件委員

辭任岸 衛君

補關土屋清三郎君

辭任原 夫次郎君

補關作田高太郎君

一昨二十七日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第二部選出決算委員

一昨二十七日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

決定委員

工藤十三雄君

田邊七六君

一昨二十七日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

産業委員會法案(藤原米造君外七名提出)委員

委員長

岩崎 一高君

理事

三浦 數平君

岡崎久次郎君

藤原 米造君

委員

委員長

高山 長幸君

齋藤藤四郎君

福井 甚三君

井本 常作君

中島彌團次君

小野 寅吉君

一昨二十七日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員

辭任今井 健彦君

補關西村 茂生君

辭任西村 茂生君

補關今井 健彦君

産業委員會法案委員

辭任木下成太郎君

補關石坂 豐一君

辭任石坂 豐一君

補關岩崎 一高君

賠償金特別會計法中改正法律案外二件委員

辭任中谷 貞賴君

補關板谷 順助君

辭任牧野 賤男君

補關庄司 良朗君

辭任中村 亨君

補關鈴木 安孝君

辭任庄司 良朗君

補關牧野 賤男君

辭任鈴木 安孝君

補關中村 亨君

關稅定率法中改正法律案

關稅定率法別表輸入稅表中左ノ通改正ス

第二八號第二項ヲ左ノ如ク改ム

二 ベタナフトール

三 オキシナフトエ酸及其ノ誘導體

四 其ノ他

二百四十五號中「毎斤ヲ削リ「二・四〇」ヲ「無稅」ニ改ム

二百七十三號ヲ左ノ如ク改ム

二二三 綿絲及長十メートルノ重量三グラムヲ超エサル綿絲

一 總造ノモノ(生ノモノ)

二 木製ノ絲卷ニ卷キタルモノ

三 其ノ他

從 絲 每 百 斤

價 共 斤

三 七・一〇

割

三 九・二〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

三 七・一〇

第五百五十七號第一項ヲ左ノ如ク改ム

一 ピアノ
甲 平形ノモノ
乙 其ノ他

	毎百斤
八六・七〇	
六〇・九〇	

第六百十二號第一項已ヲ左ノ如ク改ム

己	パイ、フアー、シダー其ノ他ノ針葉樹	無	税
己ノ一	長二十センチメートル、幅七センチメートル、厚七ミリメートルヲ超エサルシダー	九・八五	
己ノ二	ヒノキ屬(ホワイ、トシダー及イエローシダー等)	五・四〇	
己ノ三	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	六・二五	
己ノ四	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	五・五〇	
己ノ五	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	三・七〇	
己ノ六	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	三・三〇	
己ノ七	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	一・一〇	
己ノ八	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	四・五五	
己ノ九	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	三・九〇	
己ノ一〇	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	二・一〇	
己ノ一一	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	一・二〇	
己ノ一二	厚二百ミリメートルヲ超エサルモノ	無	税

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二 大正九年法律第五十三號中改正

法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
大正九年法律第五十三號中改正法律案

大正九年法律第五十三號中左ノ通改正ス
第一條 削除
第八條中「關稅法、關稅定率法、保稅倉庫法又ハ假置場法中大藏大臣又ハ主務大臣」ヲ「關稅法又ハ關稅定率法中大藏大臣」ニ改ム

別表ヲ削ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
朝鮮ニ輸入スル鹽ニハ昭和五年三月三十一日迄仍舊前ノ輸入稅ヲ課ス
朝鮮ニ輸入スル木材ニシテ別表ニ掲グルモノニハ本法施行ノ日ヨリ昭和五年三月三十一日迄ハ別表ノ輸入稅表甲號ニ依リ、昭和五年四月一日ヨリ昭和七年三月三十一日迄ハ別表ノ輸入稅表乙號ニ依リ輸入稅ヲ課ス

(別表)

輸入稅表甲號			
品	名	單位	稅率
木材	(關稅定率法別表輸入稅表第六二二號一ノ己ノ四ノイニ該當スルモノ)	每立方メートル	〇・四〇
輸入稅表乙號			
品	名	單位	稅率
木材	(關稅定率法別表輸入稅表第六二二號一ノ己ノ四ノイニ該當スルモノ)	每立方メートル	〇・七五

〔國務大臣三土忠造君登壇〕

○國務大臣(三土忠造君) 只今議題ニ供セラレマシタル關稅定率法中改正法律案ニ付キマシテ、大體ノ説明ヲ申上ゲマス、本案ノ内容ハ、木材外四品ニ關スル關稅率ヲ改正セントスルノデアリマシテ、是等ノ品目ニ付キマシテハ、第五十一議會ニ於キマシテ一般關稅改正ノ際、議會ニ於テ種々ノ議論ガアリマシタル結果、更ニ政府ニ於キマシテ、之ガ關稅率ニ付慎重調査ヲ遂ゲベキ希望決議ヲ附シテ可決セラレタノデアリマシタ、ソコデ政府ニ於キマシテハ、其後十分ニ調査研究ヲ進メマシテ、尙ホ關稅調査委員會ニ付議致シマシテ、茲ニ成案ヲ得マシタノデ、本改正案ヲ提出致シタ次第デアリマス、就中木材ニ關シマシテハ、我國林業界ノ現狀並ニ外材輸入ノ情勢ニ鑑ミマシテ、此儘ニ推移致シマスルト、國土保安

上、水源涵養上、又治水上ニモ惡影響ヲ招來スルノミナラズ、我國木材ノ供給力ヲモ減退セシムル虞ガアリマスノデ、茲ニ林業政策ヲ確立スルコトハ、國家百年ノ長計トシテ最も必要ナルモノト認ムルノデアリマス、故ニ政府ニ於キマシテハ、此際斯業ノ保護助長ニ一段ノ力ヲ致シ、造林ノ獎勵並ニ森林利用ノ増進等ニ關スル諸方策ヲ講ズルト同時ニ、關稅政策上木材ノ關稅率ヲ改正シテ、適當ニ之ヲ保護スルノ必要ヲ認ムルノデアリマス、併シ木材關稅ノ引上ハ、延イテ材價ヲ騰貴セシメ、國民生活ニ影響ヲ及ボス虞ガアリマスルカラ、引上率ハ外材輸入ヲ調節シ、材價ヲ適當ニ維持安定セシメテ、林業ニ對スル外材ノ壓迫ヲ緩和シ、以テ斯業ノ進展ヲ促ス程度ニ止メタノデアリマス、而シテ外材ノ爲ニ脅威ヲ蒙リマスルモノハ、針葉樹デアリマシテ、而モ其樹

種形狀等ニ依リ、脅威ノ程度モ自ラ異ル所
ガアリマスルカラ、本改正案ハ之ヲ針葉樹
ノ範圍ニ止メマシテ、且ツ樹種及形狀ニ應
ジテ稅率ヲ按配スルト共ニ、工業原料、輸
出品ノ包裝材料等ニ必要ナルモノニ付キマ
シテハ、特ニ低稅又ハ無稅ヲ配スルコトニ
致シタルデアリマス、尙ホ詳細ナル點ニ付
キマシテハ、委員會ニ於キマシテ御説明ヲ
致ス考デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ
御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス
(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 池上朝鮮總督府政
務總監

〔政府委員池上四郎君登壇〕

○政府委員(池上四郎君) 只今上程セラレ
マシタ大正九年法律第五十三號中改正法律
案ニ付キマシテ大體ノ御説明ヲ申上ダタク
存ジマス、本法ハ大正九年朝鮮ニ内地ノ關
稅制度ヲ布キマシテ際設ケラレマシタ特例
デアリマス、其特例デアリマスルガ、其後
著シキ事情ノ變化ヲ見ルニ至リマシタ爲
ニ、今日ニ於テハ斯ク特例ヲ存置スル必要
ヲ認メザルヲ得ザルニ至リタルデアリマス、
仍テ此際之ヲ廢止致シマシテ、帝國既定ノ
方針タル內鮮關稅ノ完全ナル統一ヲ實現ス
ルヲ適當ト信ズルノデアリマス、唯其中木
材及鹽ニ付キマシテハ、急激ナル變動ヲ避
クルガ爲メ、適當ニ之ヲ緩和スルコト、致
シタルデアリマス、本案ハ大體以上ノ趣旨
ヨリ提出シタル次第デアリマス、何卒御審
議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレントヲ切望致
シマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 日程第一ニ關シ數
箇ノ質疑ノ通告ガアリマス、通告順ニ依リ
之ヲ許シマス——三輪市太郎君

〔三輪市太郎君登壇〕

○三輪市太郎君 池上御承知ノ通り與黨デ
アリナガラ、茲ニ質問ヲ致サナケレバナラ
ナイノハ洵ニ遺憾ト致シマス、只今大藏大
臣ノ御説明ガアリマシタガ、治水ニ關シテ
此政策ガ宜イヤウナ御説明デゴザイマシタ
ガ、先ヅ第一ニハ治水、即チ農業關係ニ付
テ御尋ヲ致シタイト思フノデアル、第二ニ

ハ社會政策ニ關シテノ御尋ヲ致シタイトノデ
アル、第三ニハ國家經濟ノ見地ヨリ御尋ヲ
致シタイトノデアル、第四ハ對外關係ニ付テ
御尋ヲ致シタイトノデアル、第五ニハ山林伐
採ノ取締ノコトニ付テ御尋ヲ致シタイトノデ
アル以上五項目ニ分テ御尋ヲスルガ、成ベク
私ハ簡單ニ要點ヲ申上デマス、治水ノ
爲ニ政府當局ハ此法案ガ必要ナルカノ如キ
御説明デアリマシタガ、私ハ治水ノ爲ニハ
寧ろ惡影響ガアリハシマイカト云フヤウナ
疑ヲ持テ居ルモノデゴザイマス、其所以ハ
内地材ノ値段ヲ引上ゲヤウト云フコトガ眼
目デアル、値段ガ騰レバ自然ト濫伐ト云フコ
トハ免レナイノデアル、從來ニ於テモ河敷
八年々ニ何レノ河川ト雖モ土砂埋滞ノ爲メ
川底ガ高クナルコトハ、諸君御承知ノ通り
デアル、上流ハ激流ノ爲ニ停滯ハ致シマセ
ヌガ、下流ニ至レバ確ニ停滯スルモノデア
ル、此點ハ私ハ空論デナイ、各河川ニ就テ
一々調査シ實例ヲ示シタイガ、此點ハ政
府ガ能ク御承知デアラウト思フカラ、私ヨ
リハ申述ベヌデアリマス、其下流ニ停滯シ
タル結果トシテハ、自然ニ惡水ノ放流ヲ致
シテ居ルモノガ、其川底ノ高イ爲ニ自然ノ
放流ヲ妨ゲテ、餘儀ナク機械的の唧筒等ニ依
今日デハ惡水ヲ排除致シテ居ルコトハ、諸
君御承知ノ通りデアル、其土砂ノ流出スル
原因ハドウデアアルカト云ヘバ、言フ迄モナ
ク水源地ノ山岳ニアル所ノ樹木ヲ伐採シタ
結果ガ、土砂ヲ河川ニ流出スルモノデアリ
マス、今後木材ヲ濫伐シタナラバ、治水上
ニ影響スルコトガ多大デアラウト思フノデ
ゴザイマス、此點ニ付テ政府ハ餘程御調査
ニナッテ居ルノカドウデアアルカ、尙ホ又上流
ハ排水上差支ナイヤウデアリマスガ、是ハ
灌漑用水ト云フ問題ニ付テ、餘程影響スル
ノデアリマス、灌漑用水ノコトニ付キマシ
テハ、現內閣ト言ハズ、歷代ノ內閣ガ隨分
電力等ノ工業者ニ對シテ、農村ノ利害ヲ慎
重ニ調査セズシテ許シタ結果ハ、各地到ル
處デ農村ハ迷惑ヲ致シテ居ルト云フコトハ
事實デアリマス、然ルニ灌漑用水ヲ要スル
時ト云フモノハ、必ズ早急ノ時デアル、早

急ノ時ニ水ヲ保タントスレバ、水源地ノ樹
木ノ繁茂ト云フコトガ最も必要デアル、然
ルニ茲ニ濫伐ヲ致シタ結果ト云フモノハ、早
急ノ時ニハ必ズ水ハ涸レルノデアル、此邊
ニ付テモ相當ノ御調査ハ出來テ居ルモノデ
アリマセウカ(此時發言スル者アリ)私ノ此
質問ニ對シテ批評ヲサレル人ハ、ソレハ唯
林業者ノミヲ保護スルコトニ偏シテゴザル
議員デアル、ソレデ排水唧筒等ニ依テ費消
スル所ノ燃料其他機械代ニ對シテハ、農林
當局ニ各地ヨリ補助ヲ申請致シテ居ルノデ
アルガ、此補助ノ必要ハ一層此法案ヲ實行
サレタル曉ニハ、多額ニ上ルデアラウト思
フガ、此點ニ付テノ御調査ハ出來テ居ルデ
アリマセウカ、何時モナガラ農村ニ利害關
係ノ者ハ餘リ陳情等ニハ出ナイガ、此法案
ヲ提案サレルニ至リマシタル以前ニハ、吾
吾仄聞スル所ニ依レバ、林業ニ關係ノ諸君
ノ運動ノ目覺シカッタコトモ聞イテ居ルノ
デゴザリマスルガ、農業關係者ガ是等ニ付
テ陳情ヲ致シタル事實アリヤ、假ニアッテ
モ、是ハ理由ナキモノトシテ政府ハ認メナ
カッタカ、其邊ノ消息モ伺ヒタイノデアリ
マス、第二ニハ、私ハ此木材ノ輸入ノ關稅
ヲ引上ゲタ結果トシテ木材價格ノ暴騰スル
コトハ勿論デアル、又内地材モ之ニ伴テ
昇騰スルコトハ、本案ノ目的デアル、ドウ
シテモ是ハ免レヌコトデアル、内地材ヲ使
用スル人ハ、假令建築ヲ致シマシテモ中流
以上ノ人デアッテ、敢テ苦痛トスルニハ足ル
マイト思フノデゴザリマスルガ、中産階級以
下ノ住宅ニ要スル、所謂借家ノ如キト云フ
モノハ、其大部分ハ木材ヲ使用スルコトハ、諸
君ハ御承知ノ通りデアル、然ラバ其建築經
費ガ木材ノ昇騰ノ爲ニ多額ヲ要スレバ、隨
テ家賃等ニモ影響スルコトハ、否ムコトハ
出來マスマイ、サウシテ見レバ勞働階級或ハ
中等以下ノ住民ニ取テ苦痛トスル所デア
ルガ、之ガ社會政策ノ意味ニ適フデアリマ
セウカ、建築費ト云フモノガ、今後此關稅ヲ
引上ゲタル爲ニ何割増スルカ、概略ト雖モ
御調べニナッテ居ルカ、御調査ガ出來テ居レ
バ隨テ之ガ全國的ニドレ程ノ影響ヲ及ボス

モノト云フコトガ、算出シ得ラレルト思フ
ガ、此邊ニ付テノ御調査ハ出來テ居ルカ否
ヤト云フコトヲ伺フノデゴザイマス、第三
ニ御尋致シタイトノハ、國庫ノ收入トシテハ
關稅引上ニ依テ相當ノ增收ガ得ラレルデア
ラウガ、之ニ引換ヘマシテ府縣費ト云フモ
ノハドウ云フモノデアアルカ、先列申ス如ク
川底ノ高クナルニ從テ堤防ノ増築ト云フ
コトヲ要スルモノデ、是ハ各府縣共ニ年々
之ニ費スル所ノ工事費ハ少ナカラヌノデア
ルガ、一方ニ國庫ノ增收ヲ圖リマシテモ、府
縣ニ於テ此經費ノ嵩ムコト、對照致シタナ
ラバ、此經濟上ノ關係ト云フモノハ如何ニ
ナルカ、此邊ノ御調査ガ付イテ居ルカ、ドウ
デアラウカト云フコトモ御尋シタイトノデ
アル、殊ニ又殖林業ヲ營ム人ハ、其大部分ハ
富豪階級ニアルノデアル、各地ヲ通ジテ植
林業ガ盛ニナタト云フノハ、是ハ安全ナ
資本ノ運用デアッテ、投資家ハ其爲ニ植林
ヲ到ル處デ行テ居ルノデアッテ、此法案ニ
依テ利益ヲ蒙ルモノハ内地材デ、大部分ハ
富豪階級ヲ保護スル結果デアッテ、僅ノ山林
ヲ所有シテ居ルモノハ、假令人數ハ多クテ
モ、反別ハ僅デアラウカト思フガ、是等ニ
付テノ取調ハ出來テ居ルモノデアラウカ、
又現在ノ儘ニシテ置テモ、一方ニ於テ八年
ヲ經ルト共ニ樹木ガ成長スル、是ガ即チ最
初ノ植林ノ目的ニ適フ、自然ニ利殖シテ居
ルモノト思フガ、此邊ニ付テノ御調査ハ出
來テ居ルデアラウカト云フコトヲ御尋スル
ノデゴザイマス、殊ニ又日本ノ面積ノ狹隘
ナルコトハ諸君御承知ノ通りデアアル、今ヤ
日本材ノ需要ノ途ト云フモノハ、電燈、電
話等ノ電柱ニモ要レバ、或ハ鐵道ノ枕木等
ニ付テモ隨分使用スルモノデアアル、此場合
私ノ卑見ヲ以テ見レバ、寧ろ内地材ハ成長
ヲ爲サシメテ、而シテ木材ノ安イ物ヲ却テ
輸入致シタ方ガ、私ハ國家ノ利益ト思フ
居ルノデアアル、デ是等ニ付テノ利害關係ト
云フモノ、御調査ガ出來テ居ルデアラウ
カ、之ヲ承レバ仕合ニ思フノデゴザイマス、
今一ツ對外關係ト申シタノハ、是ハ私ガ噂
ニ聞ク所デアアルガ、是ガ噂ニ止ッテ事實ニ現

レナケレバ、洵ニ我國トシテ幸福デアアルガ、米國ヨリ來ル所ノ木材ノ稅率ヲ引上ゲル反動トシテ、日本ヨリ米國ニ輸出スル所ノ生絲ノ關稅ヲ引上ゲル憂モアルノデアアルガ、此邊ニ付テ心配ノ要ガナケレバ、洵ニ吾々モ結構ニ存ズルデアアルガ、此消息モ伺ヒタイノデアアル、第五ニ……

〔「簡單々々」ト呼フ者アリ、其他發言スル者多シ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ

○三輪市太郎君(續) 簡單ト言ハレナクテモ、私ハ固ヨリ簡單ヲ望ンデ居ル、私ヲシテ遠慮ナシニ言ハシメレバ長イノデアアル、私ハ最も簡單ヲ心掛ケテ居リマス、第五ニハ山林ノ伐採ニ付テ、自由ニ濫伐ヲサセテ置クモノデアアルカ、自由ニ濫伐ヲ致セバ、必ズ土砂ノ流出ハ一層甚シクナルガ、之ニ對シテ取締ノ方法ヲ講ゼラレテ居ルカ、其腹案ガアルカト云フコトヲ御尋スルノデアアル、私ハ強チ反對ノミヲ主張スルノデアアリマセヌ、私ノ見ル所ガ誤リテ居テ、此蒙ヲ啓クコトガ得ラレルナラバ、洵ニ喜ビニ堪ヘナイノデアアリマス、ドウゾ再ビ質問ヲ要セナイヤウ、ソレト關係當局ニ於テ御親切ナル御答辯ヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 山本農林大臣

〔國務大臣山本梯二郎君登壇〕

○國務大臣(山本梯二郎君) 三輪君ノ御尋ニ御答致シマス、第一ノ御尋ハ關稅引上ニ依テ木材ノ内地價格ガ騰貴シタナラバ、之ニ依テ山林ノ濫伐ヲ促ス憂ハナイカト云フ御尋デアリマス、之ヲ過去ノ事例ニ徴シ、又現在ノ狀況カラ見マシテ、其御心配ハ御無用デアラウト思ヒマス、嘗テ大正二年頃、最モ木材價格ノ暴騰シタ頃ニ於キマシテ、當時盛ニ濫伐ガ行ハレタト云フコトハ事實デアリマス、所ガ其後段々ニ木材ノ價格ガ下落スルニ從テ、伐採モ亦一時減少ハ致シマシタガ、ソレカラ更ニ下落ヲ少シルニ從テ又伐採數量ガ増シテ參リマシテ、此大正六年ノ當時ニ於テハ二十三万町歩バカリノ伐採デアッタモノガ、今日昭和二年ニ於テハ二十万町歩ノ伐採ニ近付カントシツ、ア

ルノデアアリマス、是ハドウ云フ譯カト言フト、値段ノ高イ時ニハドシト伐テ其利益ヲ收メルト云フコトニナリマス、ノ德斯ガ、値段ガ極端ニ下落シタマスト、値段ノ如何ニ拘ラズ、山林業者ハ之ヲ賣リテミナケレバ、其生計ヲ維持スルコトガ出來ナイト云フヤウナ者ガ多分ニ生ジマス、ノ德斯ガ下レバ下レ程仕方ガナイノデ、値段ノ如何ニ拘ラズ片端カラ伐テ賣ラナケレバナラヌト云フ必要ガアルガ爲ニ、値段ガ下落シテサウシテ濫伐ヲ見ルト云フヤウナ、奇ナル現象ヲ見テ居ルノデアアリマス(答辯ハ矛盾シテ居ル)ト呼フ者アリ、ソレハ現ニ統計ノ示ス所デアリマスカラ、云フコトハ出來マセヌ、次ニハ木材ノ價格ノ貴シタナラバ、是ガ家賃ノ騰貴ヲ促シテ、社會政策上惡イ影響ヲ及ボシハシナイカト云フ御尋デアリマス、ソレモ私共ハ左様ニハ考ヘテ居リマセヌ、材木ノ今日ノ引上ハ、此方面ノ事モ考慮致シテ、即チ消費者側ノ利害モ考慮致シマシテ、適當ノ所ニ稅率ヲ定メテアリマス、即チ無稅ノ材木ヲ除イテ、有稅品ノ平均ニ致シマス、僅カ一割二分、又全體ヲ包括致シマス、僅カ一割ニ過ギナイ稅率デアリマス、而シテモノ位是ガ建築費ノ上ニ影響ヲ及ボスカト申シマス、大體材木ガ建築費全體ノ幾割位ヲ占メルカト申シマス、是ハ建築協會アタリノ調査ニ依リマス、建築費ノ全體ノ約三割位ニ過ギナイノデアアル、ソレデ此關稅引上ニ依テ材木ガドレダケ影響スルカ、其價格ニドレダケ影響スルカト云フコトヲ算出致シテ見マスト、假ニ一坪八十圓ノ建築費ノ場合ヲ見マスト、此中材木ガ約十八圓見當ニナツテ居リマス、此一割ト云フモノヲ假ニ増加致シマシタ、此一割ガ騰貴致シマシタモノト見マシタモ、一圓八十錢ニ過ギナイノデアリマスカラ、即チ八十圓ノモノガ八十一圓八十錢トナルニ過ギナイト云フヤウナ狀態デ、五十圓位ノ建築ナラバ、此影響スル所ガモト少ナイノデアリマス、ソコデ斯様ナ狀態デアリマスルガ故ニ、坪當リノ關稅率引上ニ依リ影響

ト云フモノハ、極メテ輕微ナルモノデアアル、ソレ程痛苦ヲ與ヘルハ當局ハ考ヘテ居リマセヌ、殊ニ況ヤ此家賃ノ騰落ト云フコトハ、必シモ建築費ト並行ハ御承知ノ通り致サヌノデアアル、是ハ現ニ都會地ニ於テ御覽ニナレバ分リマス、ノ德斯モ、其需給ノ關係ガ主ヲ成シテ居ルノデアアル、需要ガ非常ニ盛ナ時ニ、之ニ應ズベキ所ノ家屋ガナケレバ、建築費ノ如何ニ拘ラズ、家賃ト云フモノハ非常ニ騰貴スルノデアアル、其反對ノ場合、需要ノ少イ時ニハ、即チ如何ニ高イ建築費デモ、其反對ノ現象ヲ見ルト云フコトガアル、現ニ近郊ノ昨今ノ様子ヲ見レバ分リマス、震災當時ニ於テハ、非常ニ需要ガ多カッタガ爲ニ、安イ普請ノ「バラック」同然ノモノデモ、非常ニ家賃ガ騰貴ヲ來シテ居ッタデアリマス、昨今見タヤウニ需要ノ少イ時ニハ、相當高イ建築費ヲ拂フ建築シタ相當ノ家屋デモ、其家賃ハ決シテソノ高イモノデアハナイト云フ狀況ニ今日ハナツテ居ルデアリマセヌカ、即チ主トシテ家賃ノ騰落ハ、建築費ニアラズシテ時ノ需給ニアリト當局ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、其次ノ問題ハ日本ノ森林ハ其儘ニシテ置イテ、要ル材木ハ外國カラ買フタガ宜イデアハナイカト云フ御尋デアリマス、是ハ同意致シ兼セマス、樹木ニハ各、樹齡ガアリマスカラ、伐ラズシテ其儘置ケバ片端カラ腐シマウ、ソレデサウ云フ譯ニハ參リマセヌト云フコトハ、詳シキ説明モ要リマセヌト思ヒマス、又外國ニ於ケル關係ハドウカ、我が生絲業等ニ關係ガ有ルカ無イカト云フ御尋デアリマス、是ハ決シテソノ心配ハナイ積リデアリマス

〔前田房之助君登壇〕

○前田房之助君 諸君、私ハ只今ノ議案ニ對シマシテ、少シク質問ヲ致シタイト思フモノデアリマス、然ルニ議案ヲ説明ナサレマシタ大藏大臣ガ、貴族院ノ方ニ參ラレテ出席ナサレヌノデアリマス、斯様ナコトハ甚シク我が衆議院ヲ輕視サレタ嫌ヒガアリマシテ、甚ダ遺憾ト思フノデアリマス(拍手) 併ナガラ已ムヲ得ナイノデアリマスカラ此際質問ハ致シマス、先ヅ本質ノ質問ヲ致シマス、前二、本案ト極メテ密接ナ關係ノアリマス所ノ國際貸借ノ改善並ニ關稅政策ニ付テ質問ヲ致シタイト存ジマス、田中總理大臣並ニ三王大臣ハ、屢、本會議並ニ委員會ニ於キマシテ、我國ノ財界ノ不況ハ今ガドン底デアアル、將來財界ハ必ズ好轉スルノデアアル、隨テ政府ノ積極政策ノ遂行ニハ支障ヲ來サナイ、又兩稅ヲ委讓致シマス時ノ説明ニ於キマシテモ、地方財政ノ膨脹ヲ抑制スルコト云フコトハ頗ル困難デアアル、併ナガラ困難デアアルガ、今後財界ハ好轉スルノデアアルカラ、自然增收モ増加ヲスル、隨テ地租ヲ委讓致シマシテ地方稅ト致シマシテモ、假令地方財政ガ膨脹致シマシテモ、増稅ヲスルコトナクシテ濟ムデアラウト云フ説明ヲ再三爲サツテ居ルノデアリマス、之ニ依テ考ヘマスト云フト、現内閣ノ財政經濟ノ方針ノ根幹ハ、財界ノ不況ガ今ハドン底デアアル、今後財界ハ好轉スルデアラウト云フ見解ノ下ニ、總テ政策ヲ立テラレテ居ルト云フコトハ確カデアアルノデアリマス、隨テ萬一今ガ財界ノ不景氣ノドン底デナクシテ、今後尙ホ財界ガ惡化スルト致シマスルナラバ、現内閣ノ重要ナル所ノ財政經濟ノ諸政策ハ、當然行詰ラザルヲ得ナイト考ヘルモノデアリマス(拍手) 諸君、私共ト雖モ決シテ帝國ノ前途ヲ悲觀スル者デアリマセヌ、併ナガラ如何ニ考ヘマシテモ、現内閣ノ執ツテ居ラレマスル所ノ財政經濟ノ方針ニ依テ我が財界ガ好轉シ得ルモノト考ヘルコトガ出來ナイノデアリマス(拍手) 財界ノ好轉ヲ期シマスルニハ、ドウ致シテモ國際貸借ノ改善ヲ圖ルコトガ必要デアアルノデアリマス、如何ニ國民相互ノ取引ガ頻繁ニ行ハレマシテモ、國際收支ノ上ニ於キマシテ、支拂勘定ヨリモ受取勘定ガ超過セザル限リハ、斷ジテ國力ノ發展ヲ期スルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ我國ハ諸君モ御承知ノ如ク、土地極メテ狭小デアリマシテ富源ガ乏シイ、

其結果ト致シマシテ明治元年カラ

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 今日迄海外貿易ヲ見

マスルノニ、輸入超過ハ實ニ四十二回デアッ

テ、輸出超過ノ年ハ僅ニ二十九箇年ニ過ギナ

イノデアリマス、昨年ノ如キモ當初ノ豫期

ニ反シマシテ、國際收支ノ關係ヲ見マスル

ニ、約一億五千萬圓ト云フモノガ支拂超過ニ

ナッテ居ルノデアリマス、隨テ政府ト致シテ

ハ、國際貸借ノ改善ニ向ッテハ

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 餘程考慮シナケレバ

ナラヌニ拘ラズ、昭和四年ノ豫算ヲ見マス

ト云フト、國際貸借ノ改善ニ向ッテ新ニ要求

サレテ居ル所ノ金額ハ、僅ニ八十五萬圓内

外ニ過ギナイノデアリマス、斯ノ如ク國際

貸借改善ニ關スル所ノ新規定額ガ僅ニ八

十五萬圓デアッテ、總豫算ノ二十分ノ一ニ過

ギナイト云フコトハ、現内閣ガ國際貸借ニ

對シマシテ熱心デナイト云フコトガ、豫算

ノ上ニ現ハレテ居ルモノト斷定シテ憚ラヌ

ト思フノデアリマス、隨テ私ハ政府當局ニ

御尋ヲ申上ゲマス、政府當局ハ國際貸借ノ

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 改善ニ付キマシテ、

豫算面ニ現ハレタル以外ニ尙ホ積極的ノ御

方針ガアリマセウカ、又準備ガアリマスカ

ト云フコトヲ第一ニ御尋申上ゲタイト思ヒ

マス、第二ハ之ニ關聯ヲ致シマシテ、物價

ノ問題ヲ御尋申上ゲタイト存ジマス、一國

ノ物價ハ其國ノ國民經濟ノ實勢ニ伴ウテ

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 調節スル必要ガアル

ノデアリマス、然ルニ我國ノ物價ハ國際的

平準ヨリ高イノデアリマス、皆様モ御承知

ノ如ク、大正五年ノ七月ヲ基準ト致シマス

ト、昭和三年ノ十一月ノ世界ノ物價ノ指數

ハ、紐育ハ一五〇・二、倫敦ハ一四九・五、

東京ハ一八二・五デアアルノデアリマス

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 斯ノ如ク我が日本ノ

物價ハ世界ノ中デ一番高イノデアリマス

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 田崎君、注意シマ

ス

○前田房之助君(續) 金ノ解禁ヲヤルニ

シテモ、國際的ノ平準ニ迄下ル必要ガ

アラウト思ヒマス、現ニ歐米各國ニ於キマ

シテモ、金ヲ解禁致シマスル場合ニハ、成

ベク物價ヲ下ゲテ、百五十内外ニ致シテ居

ル、英吉利ノミハ百六十二デ金ノ解禁ヲ致

シタカラ、非常ナ不況ヲ招來ヲ致シタノデ

アリマス、隨テ此際我國ノ物價ヲバ國際的

平準ニ迄引下ゲル必要ガアリト吾々ハ認メ

テ居ルノデアリマスガ、政府當局ハ左様ニ

御考ニナッテ居リマセウカ、此點ニ付テ政府

當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト同時ニ、物價ノ調

節ニ付キマシテ、政府當局ハ如何ナル所ノ

對策ヲ御持チニナッテ居ルカト云フコトヲ

伺ヒタイト存ジマス

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○前田房之助君(續) 更ニ第三ハ、此場合

ニ於キマシテ爲替相場ノコトニ付テ御尋申

上ゲタイト存ジマス、對外爲替相場ハ昨秋以

來下落ニ下ラズ維持スルコト云フ狀態ニナッ

テ居ルノデアリマス、然ルニ政府ハ此對米爲替

相場ノ下落ナルモノハ、國際貸借ガ惡化シ

タノデハナイ、貿易關係デハナイ、對支外

交關係ガ停頓ヲ致シタコト並ニ英米ノ金利

高ガ禍ヲ致シテ居ル、隨テ一時ノ現象デ

アルカラ、少シモ心配ハ要ラナイト説明サ

レテ居ルノデアリマスガ、果シテ政府當局

ハ左様ナ原因ニ依テ、對外爲替相場ガ下落致

シテ居ルモノト御考ニナッテ居ルノデアリ

マスガ、此點ヲ第一ニ御問致シマス、更ニ

正金銀行ガ此爲替資金ノ潤滑ノ結果トシ

テ、ドウシテモ資金ヲ調達スル必要ガアル

ト思ヒマスガ、聞ク所ニ依ルト、政府當局

ハ外國ニ在ル所ノ日本銀行所有ノ外貨ノ外

債ヲバ、此正金ニ融通ヲスルト云フ方針ノ

下ニ、資金ヲ調達セシメヤウト云フ方策ノ

ヤウニ伺ヒマスガ、果シテ事實デアリマス

ルカ、事實ナラバ幾何ノ金額ヲ御融通ニナ

ル御見込デアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト

思ヒマス、同時ニ又爲替相場ニ付キマシテ

ハ、今後政府當局ハ全然自然ニ放任スルト

云フ御考デアリマスガ、是モ序ニ御問致シ

マス、又正金銀行ニ對シテ爲替資金ヲ調達

ガレマス結果ト致シマシテ、今後政府ガ人

爲のニ之ヲ阻止シナクとも、正金銀行ノ手

ヲ通ジテ爲替相場ノ下落ヲ阻止スルト云フ

ヤウナ結果ヲ招來スルノデハナカラウカ

ト、吾々ハ見テ居ルノデアリマスガ、之ニ

對スル政府ノ御所見モ伺ッテ見タイト思ヒ

マス、尙ホ同時ニ現在在外正貨ハ四千九百

萬圓程度ニナッテ居リマスと思ヒマスガ、此

補充ト云フコトハ、目下非常ニ必要ナルコ

トデアラウト思ヒマスガ、政府ハ之ヲ補充

スル御考ガアリマスガ、御考ガアルナラバ、

如何ナル方法ノ下ニ補充サレル御考デアリ

マスガ、之ヲ序ニ御問申上ゲルノデアリマ

ス、國債貸借ノ改善ニ關シマシテハ、以上

七ツノ點ヲ御尋申上ゲマス、更ニ私ハ本案

ト密接ナ關係ノアリマス所ノ關稅政策ニ付

テ御問申上ゲタイト思ヒマス、諸君モ御承

知ノ如ク、我國ノ關稅率ヲ定メテ居リマス

ノハ、收入主義ト保護主義トノ性質ヲ加味

致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ多年實

行致シテ來マシタ結果ト致シマシテ、最早

其產業ニ對シテハ保護スル必要ノナキモノ

マデモ保護ヲ致シテ居ル、又保護スル必要

アリト致シテモ、程度ヲ過ギテ保護ヲ致シ

テ居ル、或ハ多年ノ經驗上如何ニ保護致シ

マシテモ、到底發達ノ見込ナキモノマデモ

ウニ考ヘラレマス、一方關稅ハ財政ノ上カ

ラ言ヘバ一種ノ消費稅デアル、此消費稅デ

アル所ノ關稅ヲ引上ゲルカ引下ゲルカト云

フコトハ、直接社會政策ノ上ニ非常ニ影響

ヲ及ボス虞ガアルノデアリマスガ、是等

ノ見地カラ致シマシテモ、關稅ニ向ッテ根本

的ノ改正ヲ加ヘル必要ガアラウト思フノデ

アリマス、前内閣ハ大正十五年多數ノ種目

ニ互ッテ改正ヲ致シタノデアリマスガ、未ダ

其根本ニ觸レタ改正デハナカタノデアリ

マス、政府ハ此關稅ニ付テ根本的ノ改正ヲ

オヤリニナルト云フ必要ヲ認メテ居ラレル

ヤ否ヤト云フコトヲ、第一ニ質問致スノデ

アリマス、更ニ自由港ノ設置ニ付テ御問ヲ

申上ゲタイト思ヒマス、我が日本ノ國ハ土

地ガ狹クシテ非常ニ富源モ乏シイ結果ト致

シテ、中繼貿易ヲ盛ニ致シテ、保險トカ、

運賃トカ、加工トカ、保管トカ、斯ウ云フ

上ニ於テ國際收支ヲ改善スル必要ガアラウ

ト思フノデアリマス、世界ノ大勢ヲ按ジマ

スルニ、歐洲大戰後歐米ノ各國ハ自由港ヲ

設置致シテ、獨逸ノ「キール」ヲ初メト致シ

テ、十數箇ノ自由港ヲ設ケテ居ルノデアリ

マス、又亞米利加ニ於キマシテモ、自由港

設置ノ運動ガ盛ニナリマシテ、今ヤ亞米利

加ニ於キマシテハ、貿易地帶法案ナルモノ

ガ上院ノ委員會マデ通過致シテ居ルノデア

リマス、政府ハ此世界ノ大勢並ニ我國ノ國

際貸借ノ現狀ニ鑑ミラレマシテ、自由港ヲ

設置スル所ノ必要ヲ御認メニナッテ居ルヤ

否ヤト云フコトヲ御尋致シタイト思ヒマ

ス、第三ハ我が日本ノ國ハ英吉利、佛蘭

西、伊太利ト此稅率ニ付テ協定ヲ致シテ居

ルノデアリマス、此協定ヲ致シテ居リマス

ル結果ト致シテ、我が日本ノ國ガ受ケル所

ノ利益ヨリモ、被ルル所ノ損害ガ年々數百

萬圓ニ上ッテ居ルノデアリマス、幸ニモ此稅

率協定ニ關シマスル條約ハ、三箇月乃至一

箇年デ、暫定的デアリマスガ、更新シ得

ルノデアリマスガ、政府ハ現在ノ英吉利、

佛蘭西、伊太利ト取組ンデ居リマスル此稅

率ノ協定ニ付キマシテ、モウ少シ我國ノ有

利ノヤウニ、此稅率ヲバ更新スルト云フ御

考ガアリヤ否ヤヲ御問致シマス、更ニ私ハ

國際貸借ノ改善、關稅政策ヲ立直スト云フ

コトハ、我國當面ノ急務ナリト信ジテ居ル

ノデアリマスガ、之ニ對スル調査ト致シマ

シテ關稅調査委員會ガアリ、一方ニ於テ經

濟審議會ガアルノデアリマス、關稅調査委

員會ハ其範圍ガ餘リ狭イ、經濟審議會ハ其

範圍が餘りニ廣イノデアリマスカラ、此國際貸借改善ヲ中心トスル調査會ヲ御設置ニナシテ、銳意此改善ニ努力スル御考ガアリヤ否ヤト云フコトヲ伺フテ見タイノデアリマス、以上ニ私ハ國際貸借改善並ニ關稅政策ニ付キ御尋致シタイノデアリマスガ、更ニ本案ニ付キマシテ本質的ノ質問ヲ少シク致シテ見タイト思フデアリマス、現内閣が當初豫算ヲ編成サレマス時ニハ、此木材關稅ノ引上ノ價格ハ、約五百五十萬圓ト云フコトニナツテ居タルデアリマスガ、其後更ニ之ヲ急遽六百五十萬圓ニ引上ゲラレタノデアリマス、斯様ナ見地ヨリ致シマスルコト云フト、是ハ寧ろ財界ノ必要カラ此案ヲ御立テニナツタヤウナ嫌ヒガアルノデアリマスガ、此點ニ付テ明瞭ナル御答ヲ得タイト存ジマス、更ニ私ハ只今モ與黨ノ三輪君カラ御質問ガアリマシテ、却テ此案ガ實行サレルナラバ、山林ガ濫伐サレル虞ガアリハシナイカト云フ御質問ヲ爲サタノデアリマス、農林大臣ハ之ニ對シテ、値段ガ騰レバ決シテ濫伐ハセナイト云フヤウナ御答デアッタヤウニ思ヒマスルガ、今ヤ財界ハ不況ノドン底デアリマス、値ガ騰レバ早ク伐テ賣リタイト云フノガ、此山林ニ關係アル一般ノ希望デアラウト思ヒマス、私ハ農林大臣ノ答ハ、是ハ詭辯デアラウト思ヒマス、此案ガ通過致シマスレバ、或ル程度迄必ズ山林ガ濫伐サレル虞ガアルト思フデアリマスガ、改メテ此點ヲ伺ヒタイト思フデアリマス、更ニ山林ニ對シマシテ、私ハ此反社會的ノ關稅引上ヲ爲サルヨリモ、今日迄多額ノ金ヲ補助金若クハ助成金トシテ御出シニナツテ居ル、現ニ本年ノ豫算ヲ見マシテモ、二千六百三十一萬五千六百六十圓デアリマスルカ、昭和四年度カラ二十箇年間に亘リテ補助金ノ交付ヲ爲スニ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、斯様ニ山林保護ニ付テハ助成金若クハ補助金ヲ出シテ居ルノデアリマスカラ、反社會的ノ虞レアル所ノ關稅ヲ引上ゲルコトナクシテ、寧ろ此補助金若クハ助成金ヲ増加致シテ、山林ヲ保護スル方策ヲ執ラル、コトガ、現在

ノ國民經濟ノ實勢ニ照シテ穩當デハナカラウカト思フデアリマスガ、此點ニ付テモ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、更ニ三輪君カラ只今質問ガアリマシタガ、如何ニ政府ノ諸君ガ辯解ヲサレマシテモ、木材關稅ノ引上ニ依テ消費者タル所ノ國民全體ガ非常ニ迷惑スルコト云フコトハ、是ハ明ナル事實デアラウト思フデアリマス、ハミナラズ、是ハ借家人ガ少シモ困ラヌト仰シヤイマスケレドモ、建設費ガ高クナレバ、家主ハソレヲ口實トシテ借家賃ヲ引上ゲテ、庶民階級ヲシテ更ニ苦痛ヲ増加セシメルト云フコトハ、明ナ事實デアラネバナラヌノデアリマス、即チ現内閣ノ諸君ハ、地租委讓ハ社會政策ノ爲デアルト一方ニ稱シテ居リナガラ、一方ニ斯様ニ反社會的ノ政策ヲ實行サレルノデアリ、即チ現内閣ノ諸君ハ、公ニ國民ニ向テパンヲ與ヘルト呼號シテ置キナガラ、事實國民ニ向テ石ヲ投ジテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ更ニ明瞭ナル御答ヲ得タイト存ズルノデアリマス、更ニ私ハ今モ質問ガアッタヤウデアリマスガ、此木材關稅引上ノ結果ト致シテ、亞米利加ニ於キマシテハ千九百二十二年ノ九月ニ於キマシテ新關稅法ヲ發布致シテ、今後他國ガ直接間接自國ノ商業ニ對シテ差別的待遇ヲ與ヘル場合ニ於テハ、大統領ハ布告ヲ以テ其國ノ産業ニ向テ從價五割ノ附加稅、若クハ新稅ヲ賦課スルコトヲ得ト云フ規定ヲ明ニ致シテ居ルノデアリマス、成程今回ノ木材關稅引上ハ、米材ノミニハ限定サレテ居リマセヌケレドモ、事實ハ米材ノミニ限定サレル結果ト相成ルノデアリマスルガ故ニ、私ハ或ハ恐レ、亞米利加ガ報復關稅ノ手段ニ依テ、却テ日本ガ迷惑スルヤウナ時期ガ來ルデハナカラウカト心配ヲ致シマス、此點ニ付テ改メテ御伺フスルノデアリマス、最後ニ私ハ朝鮮ノ此木材關稅引上ニ付テ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、朝鮮ノ木材關稅引上、是ハ昭和二年五十二議會ノ時ニ於テモ、既ニ問題ニナツテ議會ニ現ハレタノデアリマス、吾々ハ殖民地ノ關稅ヲ統一スルコト云フコトノ精神ニ向テハ、毫モ反對ノ意思

ハ有シテ居ラスノデアリマス、併ナガラ臺灣ト朝鮮トハ其趣ガ異ナリ居ルノデアリマス、其時期ニ付テハ慎重ナル考慮ヲ廻ラヌ必要ガアルト思フデアリマス、即チ現ニ安東縣ニハ三千人以上ノ日本人ガ居テ、其二割以上ハ此木材ニ關係アル商業ヲ營ンデ、現ニ二千萬圓以上ノ投資ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ若シ之ガ實行致サレマス、僅カ對岸ノ新義州ニ居ル所ノ日本ノ材木商ハ非常ニ利益ヲ受ケマスガ、滿蒙ノ開發ノ大使命ヲ帶ビテ行テ居ル安東縣ノ邦人ハ、非常ナル苦痛ヲナラザルヲ得ナイノデアリマス、即チ政府ハ既ニ滿蒙ノ特權ヲ維持スル必要ヲ唱ヘラレ、大ニ滿蒙開發ノ爲ニ努力スルコトヲ聲明サレテ居ルノデアリマスガ、僅カ川ヲ隔テタ新義州ノ商人ハ非常ニ利益ヲ得ルガ、滿蒙ノ開發ニ居ル安東縣ノ邦人ガ非常ニ迷惑スルコト云フコトハ、滿蒙開發ノ土ニ於テ非常ナル支障ヲ來シハシナイカト云フコトヲ私ハ心配スルノデアリマス、此事柄ハ滿蒙一般ノ邦人ニ直ニ宣傳サレルノデアリマス、今ヤ滿蒙ノ特權ヲ維持シテ、飽迄モ滿蒙開發ノ爲ニ大ニ努力スル必要アル際ニ、急遽トシテ此案ヲ出サレルコト云フコトハ如何デアラウト思フデアリマス、尤モ昭和二年ニ御出シニナツタ案ハ、全部内地同様ニスルコト云フコトデアツテ、今回ハ過渡的ニ、暫定的ニ、順ヲ逐ウテヤルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、其結果ハ矢張五十歩百歩デアラウト思フデアリマス、私ハ今直ニ之ヲ實行サル、ト云フコトハ、滿蒙開發ノ上ニ於テ少ナカラザル支障アリト認メルノデアリマスガ、政府當局ハ如何ナル御考ガアリマスルカ、此點ハ非常ニ重大ナル點ト考ヘマシテ、田中總理大臣ノ出席ヲ要求致シタノデアリマスガ、御出席ニナツテ居リマセヌカラ、他ノ諸君カラ御答ヲ得タイト思ヒマス、以上十數點ニ對シテ私ハ政府ノ御答辯ヲ促スモノデアリマスルガ、最後ニ申上ゲタイト思ヒマスルノハ、國際貸借ノ關係又關稅政策ト云フモノハ、洵ニ我國財政經濟ノ重點ヲ成シテ居ルモノデアリマ

ス、然ルニ現内閣ハ黨義擴張ノ爲ニ、放漫ナル所ノ豫算ヲ編成サレマシテ、其結果ト致シテ、國債貸借改善ノ基調アル所ノ金解禁ノ上ニ一大支障ヲ與ヘテ居ルノデアリマス(拍手)ノミナラズ一黨ノ面目ヲ維持センガ爲ニ、兩稅ノ委讓ヲ爲サレマシテ、其結果財政ノ基礎ヲ危殆ニ陥ラシメテ、遂ニ財源ニ窮シタ結果、此木材關稅ヲヤルト云フコトニナツタト云フヤウナ疑ガアルノデアリマスカラ、此際特ニ政府當局ハ詳細ニ、又卒直ニ御答辯アラント希望スル次第デアリマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 大口大藏政務次官

〔政府委員(大口喜六君) 只今前田君ヨリ極メテ多數ノ御質問デアリマシテ、大藏當局關係ノ事ニ對シマシテハ、大藏大臣ヨリ御答スベキデアリマスルガ、只今貴族院ノ本會議ニ出席致シテ居リマス關係ヨリ、私ヨリ御答辯申上ゲ得マス點ニ對シマシテ、出來得ル限りノ御答辯ヲ申上ゲタイト存ジマス、若シ御不満足ノ點ガアリマシタラバ、ドウカ委員會等ニ於テ更ニ詳細御質問アリマスヤウニ御願致シタイト存ジマス、先ヅ第一ニ我國ノ國際貸借ノコトニ付テノ御質問デアリマシタガ、此事ハ刻下極メテ重要ナ事デアルト存ジマスカラ、只今御意見ノアリマシタ通り、腹藏ナク意見ノアル所ヲ申上ゲテ御批判ヲ煩ハシタイト考ヘルノデアリマス、我國ハ御承知ノ通り、世界ノ大亂ノ前ニ當リマシテ持テ居リマシタ所ノ正貨ハ、僅ニ三億七八千萬圓デアタト記憶致シマスガ、此頃ハ矢張極メテ不景氣デアリマシテ、我國ノ經濟界ハ頗ル逆境デアタト私共ハ信ジテ居リマス、然ルニ此世界ノ大亂ハ不思議ニ我國ニ仕合ヲ致シマシテ、僅ノ間に二十二億二近キ所ノ正貨ヲ得タノデアリマスカラ、此割合ニ通貨モ膨脹致シマシタ、其結果ガ非常ナル我國ニ景氣ヲ持來シタノデアリマスガ、是ガ永ク續ケバ洵ニ結構デアリマシタガ、如何セン御承知ノ通り永ク續キマセヌ、世界ノ大戰ガ濟ミマス同時ニ、貿易ハ益々逆調ニ相成リマシ

テ、殊ニ我國ニ於テ最モ輸入超過ヲ多カラシメタノハ何時デアタカト言ヘバ、實ニ大正十三年デ、内地ダケデ六億四千萬圓ト云フ大ナル輸入超過ヲ來シタノデアリマス、此時ガ一等我國ノ正貨金貨ガ減ッテ居ルノデアリマス、勿論是ニハ御承知ノ通り大震災ノ關係ガアリマスカラシテ、私共決シテ其時ノ内閣ノ遺方ガ惡カタモノデアルトハ批評ハ致シマセヌ、是ハ誰ガヤリマシテモ、此大震災ノ結果ト云フモノハ、少ナカラザル影響ヲ受クベキモノデアルト考ヘテ居リマスガ、此大震災ノ大影響ト云フモノハ、矢張此貿易ノ上ニモ現レテ參ッテ居リマス、一方ニ於テサナキダニ輸入超過ノ多イ所ヘ、只今申シマシタ災害ガ伴ヒマシテ、先刻申ス通り六億四千萬圓ト云フ大ナル輸入超過ヲ來シテ居リマス、其結果我國ノ正貨ハ次第々々ニ減リマシテ、只今幾ラデアルカト云ヘバ、先般政府ニ於テ發表致シマシタ如ク、嘗テ二十二億ニ近カリシ正貨ハ、今約十二億デアリマス、其割合ニ矢張通貨モ縮小サレテ居ル譯デアリマスカラ、我國ノ經濟界ト云フモノハ、總テガ壓迫ヲ受ケマシテ、士農工商共ニ不景氣ヲ感ジ、財界ノ困難ヲ感ズルコトハ已ムヲ得ザルノ狀況ニナッテ居ル、然ラバ之ヲドウシテ吾々ハ維持スルカ、吾々日本帝國ノ經濟界ヲ將來好轉ニ向ケルニハドウスルカ、是ハ矢張前田君ガ申サレマシタ通り、無論此一方ニ於テ輸出貿易ガ盛ニナリマシテ、所謂國際貸借ノ「バランス」ヲ得テ參ラナケレバナラヌト云フコトハ、申ス迄モナク私共御同感デアリマス、ソコデ前内閣ノ終リガドウナッテ居ルカト言ヘバ、前田君能ク御承知ノ通り、六億四千萬圓ノ大ナル輸入超過ノアツタ時代ハ稍過ギ去リマシテ、大震災ノ結果モ稍著イテ參リマシタ結果モ手傳テ、昭和元年度ハ三億三千万圓ノ輸入超過デ終ッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ吾々内閣ヲ引受ケルコトニナリマシテカラ、此事ニ對シテハ及バズナガラ出來ルダケノ力ヲ盡シテ居ル積リデアリマス、昭和二年ノ貿易ノ計算ニ於キマシテ、是ハ内

地ダケノ計算デアリマスガ、植民地ヲ入レマシテモ、矢張數字ノ比例ハ稍同ジデアリマス、内地ダケハ今調バツテ居リマスカラ申上デマス、只今申シタ通り昭和元年ニ於テハ三億三千万圓ノ輸入超過デアリマシタモノガ、昭和二年ニハ一億八千万圓ノ輸入超過ニ減ッテ居ルノデアリマス、貿易以外ノ取り分ガ比較的多カタ爲ニ、昭和二年ニ於テハ割合ニ我國ノ正貨ガ減ッテ居ナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、併ナガラ幾ラカ減リマシタ、ソコデ昭和三年度ハドウナツタカト言ヘバ、一昨年ヨリハ稍逆調デアリマシテ、二億二千万圓ノ輸入超過ヲ算シテ居ルノデアリマス、ソレデ是ハ一體ドウ云フ原因デアルカト吾々考ヘテ見マスルト、申ス迄モナク第一ガ生絲ノ關係、第二ガ綿絲ノ關係デアリマス、殊ニ生絲ニ於テ三四千万圓ト云フモノガ金額ニ於テ少ナイ、併シ數量ハ能ク賣レテ居ル、是ハ前田君能ク御承知デアル、數量ハ賣レテ居ルガ割合ニ金ガ取レナカタ、是ガ非常ナル影響ヲ致シテ、若モ生絲ガ前年通りニ參ッタトスレバ、矢張一億八千万圓位ノ輸入超過デ濟ンダ譯デアリマス、ソコデ此生絲ト云フモノハ、何故斯ウナルカト云フコトニ對シテハ、商工省、農林省等ニ於テモ十分調査致シテ居ルコト、信ジテ居リマスガ、大藏當局ニ於テモ相當ハ調査ヲ致シマシテ、此原因ニ溯ッテ十分ナル研究ヲ致シテ、何トカシテ之ヲ一ツ維持シタイト云フコトハ努メテ居ルノデアリマス、此事ニ對シテ別ニ法案モ出テ居リマスシ、此處デ申述ベル事デアリマセヌカラ一々申上ダラレマセヌガ、私共及バズナガラ多少研究ヲ致シテ居リマスコトモ聽イテ下サラバ一應申述ベタイト思フ點モアルノデアリマス、唯此處デハ餘リ複雑ニナリマスカラ私申述ベマセヌ、サウ云フ關係デアリマシテ、昭和元年度ニ於テ三億三千万圓ノ輸入超過タリシモノガ、一躍シテ昭和二年ニハ一億八千万圓ノ輸入超過デ濟ンダ、ソレガ昨年稍逆調ニナリマシタガ、兎ニ角二億二千万圓ノ輸入超過デ濟ンダノデアリマスカラ、此上

何トカ努力シテ、吾々ハ輸入超過ヲ減ラスコトヲ考ヘテ參レバ、段々吾國ノ貿易ハ改善サレ、所謂貿易上ノ「バランス」ト云フモノガ合ッテ參ッテ、我國ノ財界ハ自然ニ安定シテ來ルモノナリト確信シテ居ルノデアリマス、其事ニ對シテハ豫算ノ上ニ現ハレテ居ル事バカリデナク、總テ私共出來ル限リ此方針ニ向ッテ努力ヲ致シテ居リマス、ソレデ今問題ニナッテ居リマス木材關稅ノ事等ニ付キマシテモ、先刻大藏大臣カラ述ベラレマシタ理由モアリマスシ、又只今農林大臣ヨリ述ベラレタ理由モアリマスルガ、其外ニ此貿易ニ關係シマシテモ、私共斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル、木材ト云フモノハ、全體大正六年度ニハ外國カラ幾ラ輸入シタカト申シマス、前田君ハ無論御承知ノコト、考ヘマスガ、三百萬圓ニ過ギナカタノデアリマス、ソレガ大正九年ニハ一千五百餘萬圓トナリ、大正十三年ニハ一躍シテ實ニ一億一千九百萬圓ノ輸入高ヲ見タノデアリマス、是ハ先刻申シマシタ大震災ノ結果モアリマスカラシテ、木材ノ輸入ノ殖エタコトハ、或ハ尤ナヤウナ道理モアリマスガ、然ラバ其後減ッタカト云フト、一寸減リノ見エタコトモアリマスガ、再び又此輸入高ハ高マリマシテ、昭和二年ニ於キマシテハ更ニ九千五百餘萬圓ノ輸入高ヲ見テ居リマス、總テ之ヲ約一億萬圓ノ木材ノ輸入ニナルノデアリマス、勿論貿易ハ私ガ申ス迄モナク、前田君ノ述ベラレタ通り、保護致ス必要アルモノト、保護致スドコロデナク、内地デ絕對ニ產シナイモノハ外國ノ安イモノヲ入レ、或ハ原料ノ内地ニ無イモノハドンノ之ヲ入レテ、我國ノ産業ヲ發達セシメルコトハ是ハ致サナケレバナラヌ、然ラバ我が日本國ニハ木材ハ無イカト云フト、御承知ノ通り無論我國ニハ農業モ大切デアリマスガ、林業ト云フモノモ中ニ我國ニハ大切デアル、サウシテ相當ニ林野モアル、然ルニ外國カラ一億ノ木材ノ輸入ヲ見テ居リ、一方ニハ我國ノ正貨ガ減ッテ參ルト云フコトヲ目前ニ見テ居ル私共ハ、或ル程度ニ於テ我が内地ノ木材ニ保護ヲ與

ヘルト同時ニ、一面ニ外國カラ這入ル木材ヲ防グダケノ考ハ、國民ニナクテハナラナイト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、サウ云フコトヲ段々考ヘテ、全體カラ見テ參リマス、木材ノ關稅モ或ル程度ノ引上ハ、貸借關係ノ上カラモ餘儀ナイモノデアルト確信シテ居ル、是モ此際一ツ申上ダテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ又色々政府ガ執ッテ居リマスル所ノ豫算其他稅制ニ付テノ御批評ガアリマシタガ、是ハ豫算モ稅制モ既ニ此議會ハ濟ンデ居ルコトデアリマスカラ、私今日強ヒテ御辯明ヲ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、他ノ事ニ關聯シテ一言ダケハ此事ハ御釋明ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、成程前田君ハ御立場モ違ヒマスシ、根本ニ於ケル御考ガ或ハ御違ヒニナッテ居ルト存ジマスカラ、私ノ考トハ違フカモ知レマセヌガ、私ハ會テ稅制ノ委員會ニ於テ前田君ニモ御說明申上ゲマシタ通り、政府ノ財政ハ勿論鞏固デナクテハナリマセヌ、政府ノ財政ガ不鞏固デ宜イト云フヤウナ議論ガアル譯ハアリマセヌ、ケレドモ政府ト云フモノハ、言フ迄モナク國家ノ機關デアリマス、別段一ツノ團體デモナケレバ、一ツノ團體デモナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ政府ハ財政計畫ガ立ッテ、財政ノ基礎危カラズト自ラ信ジタ以上ハ、假令自分ハ窮屈デアツテモ、出來ルダケ自分ノ身ヲ詰メテ、少シデモ多ク國民ヲ裕カニスル必要ガアルト云フコトヲ私共考ヘテ居ル、ソレデアルカラ是ハ國家ニ有益ナ事業デアリ、是ハ國家ノ爲ニ爲スコトガ、將來我國ノ産業ノ發展ノ上ニ宜イコト、考ヘル以上ハ、例ヘバ道路デアリマシテモ、港灣デアリマシテモ、鐵道デアリマシテモ、盡スダケハ盡シ、費用ヲ投ジテ仕事スル、所謂積極的ニ事業ヲ致シマスケレドモ、一面ニ節約ハセヌデモ宜イカト言ヘバ、ソレハイケナイ、出來ルダケハ既定經費ノ節約シ得ベキモノハ節約致サネバナラヌ、其節約高ガ少イト云フ御批評デアレバ、私ハ唯其多イト云フコトヲ誇リト致シマセヌ、又御攻撃デアレバ吾々色々申シマスケレドモ、

此場合政府委員トシテ、ソレハ申上ダルベキコトデアリマセヌカラ、申上ダマセヌケレドモ、現内閣ニ於テハ盡スベキ事ハ之ヲ盡シ、節約スベキ事ハ節約シ、其殘タカラ以テ出ルルダケノ産業ノ發達ヲ圖リ、而シテ國民ニ對シテ減稅ノ意味ニ於テ今回ノ兩稅ノ委譲ヲ致スノデアリマス、絕對ニ增稅ニナラハ考ヘテ居ナイノデアリマスカラ、是デ吾々ハ宜イト思フノデアリマス(拍手)斯ウ云フ政策ニ依テ段々進シテ行ケバ、我が内地ノ産業ハ總テノ方面ニ互ニテ好況ヲ及ボシマシテ、其結果ハ必ズヤ我國ノ貿易ニ對シテモ「バランス」ガ得ラレル方ニ近クナル、何處迄モ是デ進ムコトガ眞ニ國家ノ爲デアル、是ガ政府ノ爲ス事ナリト確信シテ居ルノデアリマスカラ、此信念ダケハ此場合申上ダテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ外國ト日本トノ物價ノ指數ヲ御比較ニナシテ、色々御論ジニナシテ、政府ノ意見ヲ問ハレマシタガ、無論物價ハ安イノガ宜イノデアリマス、併ナカラ豫算委員會等デ大藏大臣ガ御答シマシタノハ、我國ハ歐羅巴或ハ亞米利加アタリノ所謂文明國ト較ベレバ、世界大戰以前ハ日本ハ特別ニ安カッタノデアルカラ、其時ノモノヲ本ニシテノ指數ヨリ見レバ、ソレハ我國ノ指數ガ上テ居ル、ソレハ我國ノ總テガ發展シテ來テ、世界ニ於ケル日本ニナツタカラ、戰爭前ノ昔ノヤウニ下ダルト云フコトハ是ハ困難デアル、而シテ政府ノ今ノ方針ト致シマシテハ、此物價ヲ安クシマスノニ、或ハ工賃ヲ安クシタラ宜カラウト云フ議論ガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ決シテ將來吾々ノ探ルベキ途デナイト考ヘル、寧ロ工賃ハ高クアツテモ、所謂能率ノ増進、此方ニ努力メテ、總テノ工業ノ改良發達ト云フ方ニ力ヲ用ヒ、之ニ依テ我國ノ物價ヲ安クスルコトニシナクテハナラナイ、而シテ政府ハ此方針デ進シテ居ルト云フコトヲ御了解ノ願ヒタイト思ヒマス(了解出來ナイト)呼フ者アリ)御了解ガ出來ナケレバ、色々此處デ議論ヲ致サナケレバナラマセヌガ、ソレデハ長クナリマスカラ他ノ時ニ譲リマス、

ソレカラ根本カラ惡イト思フテ御反對ニナシテ居ルニハ、既ニ根本ガ違フテ居ル以上、如何ニ申上ダテモ議論ニナリマスカラ、此場合議論ハ避ケタイト思ヒマス、ソコデ爲替相場ガ下ツタニ付テハ、色々原因ガアルデアラウガ、其中デ現政府ハ支那關係ノ事ノミヲ見テ居ルヤウダト云フ御話ガアリマシタガ、是モサウ見テハ居リマセヌ、申上迄モナク爲替相場ノ上ツタリ下ツタリスルノニハ、種々ノ關係ガアリマス、上海邊リノ投機ノ關係モ少ナカラヌ影響ガアリマスガ、殊ニ我國ノ在外正貨ノ關係カラ申シテモ、貿易ノ關係、貸借對照ノ上カラ申シテモ、色々ノ關係ガアリマス、是ハ中々ムツカシイコトデ、一樣ニハ參ラヌコトハ申ス迄モアリマセヌ、唯現在ノ狀態ニ於テハ、支那問題ガ最も多ク關係シテ居ルト云フ意味ヲ御答シタコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ又近頃爲替相場ガ稍下ツテ居ル、之ニ對シテ政府ハ何カ對策ヲ講ジテ居ルカ、又之ニ對シテ正金銀行ハ資金デモ貸付ケルカト云フ御質問デアリマシタガ、政府ニ於キマシテハ、現在爲替ニ對シテハ強ヒテ小刀細工ヲ用ヒルノハ宜シクナイト思フテ居リマス、今日ハマダ人爲的ニ之ヲ左右スルコトハ宜シクナイト考ヘテ居リマスカラ、此場合強ヒテ政策ハ用ヒナイ積リデアリマス、唯、若シ是ガ極端ニ下落シテ參ッテ、經濟界ニ惡影響デモ及ボスト云フ急變デモ起リマスレバ、政府ハ打棄テ置キハシマスマイケレドモ、現狀ニ於テハ何等人爲的ノ小刀細工ハ用ヒナイ、斯ウ云フ考ヲ持テ居リマスカラ、御問ノヤウナコトハ無イト云フコトヲ申上ダテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ正貨補充ノ事デアリマスガ、是ハ誠ニ御心配御尤デアリマス、吾々モ此事ニ對シテハ日夜憂慮致シテ居リマス、只今モ申シマシタ通り、正貨ハ毎年々々減ツテ參ッテ居リマス、現内閣ガ受取リマシタ時ニハ、頗ル少イ時代ニ受取テ居ルノデアリマス、ソレカラ後ニハ正貨ハ餘リ減少シナイ、減少ノ割合ガ少クナツタ、併シ只今申シマシタヤウナ譯デ、在外正貨ノ減ツテ來テ居ルコトハ事實デアリマス、而シテ之ヲ補填スルニ付テノ考ハ吾々持テ居ルノデアル、今日デモ在外正貨ハマダ相當ニアリマスガ、其上ニ茲ニ在外正貨ニ數ヘテナイ所ノ、我國ニハ外國ニ於テ自由ニ出來ルベキ證券等ヲ持テ居ル、ソレデアリマスカラ萬一ノ場合ニハ、之ニ應ジラレルダケノコトハ考ヘテ居リマス、將來ノ遠イ所マデ、ズツト先キノ將來ニ對シテモ最も細心ノ注意ヲ拂テ、今日研究處理ヲ致サネバナリマセヌカラ、之ニ當テ居リマスガ、差當テハ御説ノ如ク憂フベキ程ノコトハナイト實ハ考ヘテ居リマス、其數字ヲ種々ナルコトニ對シテ此場合公表シテ善イカ惡イカハ、餘程考慮ヲ要スル問題デアラウト思ヒマスカラ、私ハ是以上ハ只今御答辯致シマセヌ、大體今ノ如キ考ヲ持テ居ルト云フコトヲ御諒知ヲ煩シタイト思ヒマス、ソレカラ關稅ノ根本改正ノコトデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り隨分議論ガアリマス、吾々モ相當ニ議論ヲ致シテ居リマスガ、御承知ノ如ク關稅ノ會議ニ於キマシテモ、段々改正ヲサレマシテ、殊ニ先年關稅改正ガ此議場ニ上リマシタ時ニ、議會カラ種々ナル希望條件モアリマシタ、只今其希望サレタ條件ニ付キマシテ、著々之ヲ處理シツ、アル場合デアリマスカラ、今日マダ根本的ニドウシヤウト云フマデノ具體案ハアリマセヌ、併シ將來ニ向テハ、是ハ相當ニ研究ヲ致シテ行クベキモノデアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ自由港ノコトニ付テモ御話ガアツタヤウデアリマスガ、是ハ御承知ノ通り別ノ方法ヲ用ヒマシテ實行中デアリマシテ、次第ニ是ガ效果ヲ生ジツ、アルヤウニ見エテ居リマスカラ、只今自由港ヲ考ヘスルカト云フヤウナコトニ付テハ深ク考ヘテ居ナイ、之ニ代ルベキ勸ニ付テ今種々ナリ仕事ヲ致シテ居リマス、此仕事ノコトニ付キマシテハ實ハ私ハ細カク存ジマセヌ、大體ヲ承テ居ルダケデアリマス、細カク御質問デアリマスナラバ、此事ハ委員會等デ向ホ他ノ政府委員、局長等ヨリ詳シク御説明申上ダタ方宜イカト思ヒマス、其他

ノ御質問ハ大藏省ニ關係ナイコト、又是ハ内閣ノ方カラデモ御答ヘニナラナイト、大藏當局タル私共デハ御答ハ出來ナイモノアリマスノデ、是ダケデ私ハ御答辯ノ責ヲ終ヘタモノト思ヒマス、大體是ダケ御答ヘ申上ダマシテ、尙ホ先刻申シマス通り、御不満足ノ點ガアリマシタナラバ、委員會等ニ於テ十分御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、出來ルダケ綿密ニ御答辯申上ダタイト考ヘテ居リマス(拍手)

〔政府委員成毛基雄君發壇〕
○政府委員(成毛基雄君) 朝鮮ニ於ケル所ノ木材關稅ノ特令ノ廢止ニ付キマシテ、滿洲ノ木材營業者ハ大ナル影響ヲ受ケルデハナイカ、殊ニ一衣帶水ノ新義州ト安東縣ニ於テハ、非常ナル所ノ不幸ヲ生ズルデハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ今議會ニ法案ヲ提出スルニ當リマシテ、政府ガ最も苦心ヲシテ、調査研究ヲ致シテ居ル所デゴザイマス、此事ニ付キマシテハ御承知ノ通り、先年來重大ナル問題トシテ考慮セラレタノデアリマシタガ、併シ此朝鮮ニ於ケル特令廢止ト云フコトハ年來ノ問題デアル、暫定的ノ法律デアリマシテ、是非之ハ廢止センケレバナラヌト云フ運命ニアルノデアリマス、内地ニ於ケル所ノ關稅ノ統一ト云フコトモ、是ハ御承知ノ通り何時カヤラナケレバナラヌノデアリマス、ソレデアリマスカラ今回ノ議會ニ於キマシテ此特令ヲ廢止シ、滿洲ト朝鮮ノ利益ノ爲ニ、互ニ折衝ヲ圖ルト云フコトハ、最も當ヲ得タル時節デアラウト存ジタノデアリマス、ソレデ當局ト致シマシテハ朝鮮ノ特令ヲ廢止スルト同時ニ、滿洲ニ對シマシテハ先ツ初年ニ於テハ四十錢ト云フ所ノ輕イ稅ヲ課スルコトニナツテ居リマス、サウシテ二年目ニ於キマシテハ七十五錢三年目モ七十五錢、四年目ニ至リマシテ初メ一圓十錢ト云フ所ノ稅ヲ課スルコトニナツテ居リマス、丁度是ガ初年一步、二年二步、三年二步、四年ニ至ツテ初メ三歩デアルノデアリマス、今日滿洲ノ木材ハ内地ヘ來リマスノハ六歩デアリマス、サウシテ是ハ木材價格ノ下落ニ

依リマシテ、滿洲ノ木材業者ト云フモノハ殆ド九歩近イ所ノ稅ヲ課セラレテ居ルノデアリマスガ、今回此關稅ノ改正ニ依リマスルコト云フト、滿洲ニ於ケル處ノ木材ハ内地ニモ向クコトニナリマスノデ、此點ハ木材業者モ非常ニ喜ンデ居ル所デアリマス、ソレデアリマスカラ差引致シマスナラバ、滿洲ニ於ケル所ノ木材ニハ大ナル影響ヲ及ボサナクテ濟ムト考ヘテ居リマス、斯ウ云フコトノ外、又一方ニ於キマシテハ種類モ限定致シマシタカラ、彼此レ斯ウ云フ點ヲ考慮致シマスルコト云フト、大ナル所ノ打撃ヲ與ヘズシテ濟ムコト、信ジテ居リマシテ、當局ハ苦心シテ斯ウ云フ所ノ接近シタ所ノ案ヲ作タ次第デアリマス

〔國務大臣山本悌二郎君登壇〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 只今前田君カラノ御尋ノ中、私ニ關スル分ノ御答ヲ致シマス、第一ハ關稅引上ニ付テ木材價格ガ騰貴シタナラバ濫伐ガ必ズ起ルデアラウガト云フ御尋デアリマス、之ニ對シマシテハ先刻三輪君ニ對シテ御答ヲ致シマシタコトヲ繰返スヨリ外ハアリマセヌガ、伐採ノ増加スルノハ木材價格ノ騰貴シタ時ニ勿論行ハレマスガ、木材價格ガ餘リ低落シタ時ニ於テモ亦伐採ノ増加スルコトガアリマス、唯其間ニ於ケル山林政策ノ上カラ見タ相違ハ、材料ノ下落シタ時ノ伐採ハ所謂濫伐デアッテ、片端カラ後先キ見ズニ仕方ガイナカラ伐テ賣ル、跡ハ構ハナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、之ニ對シテ相當價格ハ引合ウガ爲ニ伐テ賣ルト云フ場合ニハ、サウ云フヤウナ亂暴ナ伐採ノ致方ハ致シマセズ、又跡ノ植付ト云フコトモ亦之ニ隨テ行ハレテ行クノデアリマス、ソレ故ニ關稅引上ノ結果トシテ、多少木材伐採ノ數量ガ増加致シタト致シマシテモ、同時ニ植林ガ隨テ行ハレマスルカラシテ、是ハ決シテ深ク憂フルニ足ラズト信ズルノデアリマス、又今日ノ現況カラ見マシテ、此儘ニシテ置クト云フコトガ相成ラヌト云フコトハ、山林政策ノ上カラ見テ當然ナルコトデアッテ、獨リ助成金或ハ補助金ト云フ方法ニ

依テノミ山林ノ作振ノ出來ナイト云フコトハ、分リ切ツコトデアル、ソコデ第二ノ前田君ノ御尋ノ點ニ觸レルノデアリマスガ、前田君ハ必シモ社會政策ニ關係ノアル所ノ此木材關稅引上ダナクモ、補助金若クハ助成金ノ方法ニ依テ既ニ山林ノ作振ヲ圖ラテ居ルハナイカ、之ヲ増額シテ其方面ニ依テ山林政策ヲ施行シテ宜イデヤナカト云フ御説若クハ御尋ガアリマシタガ、私共ノ考デハ獨リ山林ニ於テノミナラズ、總テノ政策ニ於テ之ヲ助長スル場合ニ、唯、一ツノ方法ヲ以テ之ヲ行ハントスルコトハ、決シテ出來ナイノデアリマス、有ユル方法ニ依テ之ヲ併セ行フコト云フコトデナクンケレバ、一方ノ負擔ト云フモノガ非常ナコトニナツテ來テ、例ヘバ此木材關稅ノ場合ニ於テモ關稅ノミニ依テ此保護ヲ施サウトシタナラバ、非常ニ高イ關稅ヲ掛ケナケレバナラヌ、サリトテ助成金補助金ノ方法ノミニ依テ此目的ヲ達シヤウトスレバ、助成金補助金ト云フモノハ非常ニ多額ニ上ラザルヲ得ナイノデアリマス、此助成金ノ方法ノミニ依テ山林ノ助長ヲシタラ宜イデヤナカト云フ前田君ノ先刻ノ御尋ニ付キマシテハ、私ハ意外千萬ニ思フノデアリマス、前田君ナゾハ常ニ財政ノ膨脹ヲシナイヤウニ、財政ノ緊縮ヲシナケレバナラヌ、歲計ヲ少クシナケレバナラヌト云フ御説デアアルノデアリマス、若シ助長補助ノ一途ヲ以テ山林政策ヲ行ハフト云フコトヲシタナラバ、此上何千萬圓ノ補助獎勵ト云フモノヲ致サナケレバナラヌト云フ結果ニ相成ルノデアリマシテ、其結果ガ全體ノ歲計ノ膨脹トナルト云フコトハ明デハアリマセヌカ、アナタ方ガ歲計ノ膨脹ハシテモ構ハヌ、其方法ヲ探レト云フコトデアアルナラバ、吾々ハ又別ニ考ヘヤウモアリマセウト、思ヒマスケレドモ、左様ナ常ニ緊縮々々ト仰セラレテ居ナガラ、此問題ニ對シテノミ助成金ヲ以テ之ヲヤレト云フコトハ、少シ御無理デヤナカト思フノデアリマス(拍手)又此社會政策ニ付テ其次ノ御尋ガアリマシテ、是ハ結局家賃ノ騰貴ヲ促スノデアルト云フ

コトデ、其點ニ付キマシテハ、三輪君ニ對シテ御答致シテ置キマシタカラ更ニ詳シク申上ダマセヌガ、唯、一言私ノ申上ダテ置キタイコトデアリマス、ソレハ今日ノ山林ノ面積ヲ、其大小ニ依テ區別シテ見マスルコト云フト、五段歩未滿ノモノガ五割九分アル、全體ノ面積ノ五割九分ハ五段歩未滿ノ小面積デアリマス、二十町歩以上ハ僅ニ一「パーセント」ニ過ギナイ、斯ウ云フ狀態デ、今日我國ノ山林面積ト云フモノガ、悉ク小サイ經營者ニ依テ大部分經營サレテ居ルノデアリマシテ、其戶數カラ申シマスレバ、農業ヲ兼營シテ居ル山林家ト云フモノガ四六千十萬戸アルコトニナツテ居リマス、之ヲ假ニ一戸五人宛ノ家族ト見マスルト、其數ハ二千三百萬、三千三百萬ト云フ者ノ利害休戚ト云フコトガ、山林ノ能ク行クカ行カヌカト云フコトニ繫、テ居ルノデアリマス、故ニ此山林ハ相當引合フ程度ニ之ヲ導イテ行タト云フコトハ、是ハ大ナル社會政策ナリト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、此四百六十萬戸ノ中デ、其九割迄ハ此五反歩以下ノ者デアルト云フコトガ、益、之ニ對スル作振ノ政策ヲ講ズルコトガ、即チ大ナル社會政策デアルト私ハ確信致シテ居リマス、材料ノ價格ハ、價格ノ點カラ他ノ物價ト較ベテ見マシテモ甚ダ安イ、比較的安イ位置ニ在ルト云フコトモ、亦御諒承ヲ願ハナケレバナラヌノデアッテ、一寸調ベテ見マスルト、昭和三年ノ一般物價指數ト云フモノガ二百二十四ト云フモノニ對シテ、木材ノ指數ハ百十八ニ過ギナイ、即チ一般物價指數ヨリハ遙ニ少ナイ、材木ハ一般ノ物價ニ較ベテ今日低イ位置ニ在ルト云フコトハ、是ハ否認スルコトガ出來ナイ、然ラバ一般物價ヨリモ安イ材木ノ價ニ甘ジテ、此四百何十萬戸ノ經營者ガ安イ材木ヲ都市ニ向テ供給シナケレバナラヌト云フ理窟ハ立ツマイダラウト思フノデアリマス、ソレカラ報復關稅ヲ受ケル憂ガアルデハナイカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、是ハ先刻申上ダタ通り、今日迄ノ當局ノ受ケテ居ル所ノ情報ニ依リマスレバ、左様ナ憂ハナイノデア

リマス、今日位ノ程度ノ關稅ノ引上ダナラバ、生絲其他ニ向テ報復關稅ヲ設ケテ來ルト云フ憂ハ萬々ナイト當局ハ信ジテ居リマス、材木ニ關稅ヲ掛ケテ之ヲ相當保護シヤウト云フ政策ハ、單リ我國ニ於テ今之ヲ執ラントスル、アルコトハ、御承知デモアリマセウケレドモ、米國ニ於テハ加奈陀ヨリ輸入シテ來ル所ノ材木ニ對シテ二割ノ關稅ヲ課サウトシテ、今其計畫ヲ立テ、居ルト云フ情報ガアリマス、又獨逸ハ自國ノ山林保護ノ爲ニ、相當重キ關稅ヲ掛ケル計畫ヲ今立テ、居ルト云フコトモ、是亦吾々ハ其情報ニ接シテ居ルノデアリマス、我國ガ僅カ一割内外ノ關稅ヲ茲ニ増加スルト云フコトハ、ソレ程異常ナコトデナク、ソレ程無理ナコトデナイト云フコトガ、他國ニ於テモ亦諒承セラハ、コトデアラウト思ヒマスガ、殊ニ米國ハ、米國自身ガ加奈陀ヨリ輸入材木ニ對シテ關稅ヲ掛ケヤウト云フ際ニ、我國ガ僅カ一割カソコノ關稅ヲ增加スルト云フコトニ向テ、報復關稅ヲ以テ之ニ報イントスルコトハ、萬々ナイト私ハ確信致シテ居リマス

○前田房之助君 簡單デスカラ此席カラ……

○副議長(清瀨一郎君) 許シマス

○前田房之助君 政府當局カラ續々御説明ニナツタノデアリマスガ、大部分ハ議論デアリマスカラ、改メテ質問ハ致シマセヌガ、唯、一點申上ダマスノハ、只今大藏政務次官ハ木材が一箇年一億圓内外モ輸入スル、之ヲ阻止スルト云フコトハ、國際貸借ノ改善ノ上ニ於テモ必要デアルト云フ御答デアリマシタケレドモ、吾々ノ主張スル所ハ、國民生活ニ直接關係ノアル所ノ消費費ヲ増加スルト云フコトニ付テハ、深甚ナル考慮ノ必要アリト認メテ居ルモノデアリマスカラ、此以上ハ意見ノ相違デアルカ知レマセヌケレドモ、此點ニ付テ改メテ政府ノ御考慮ヲ煩シマス同時ニ、只今農林大臣ハ、是ハ山林業者ヲ保護スル上ニ於テ必要ナリト云フコトヲ申述ベラレマシタガ、六百萬

國ノ山林業者が重イデアルカ、八千万ノ國民生活ノ格カニスルコトが重イデアルカ、此點ニ付テモ一度御考慮ヲ煩シタイト思ヒマス、細カイ問題ハ委員會ニ於テ申述ベマス

○副議長(清瀬一郎君) 永田善三郎君

(永田善三郎君登壇)

○永田善三郎君 諸君、只今本案ニ對シマシテ、大所高所ヨリノ大キナ議論ヲ交換サレタヤウデアリマス、私ハ極ク本案ノ内容ニ入りマシテ、限定シタ範圍ニ於テ質疑ヲ致シタイト思フデアリマス、關稅定率法ノ改正ハ、前內閣ガ太正十五年ニ根本的ノ大改正ヲ行ハタデアリマス、是ハ當時ノ內閣ノ大ナル功績ノ一ツデアルト私ハ思ウテ居ル、明治四十二年以來、永ク打撿テラレテアリマシタ所ノ我國ノ關稅定率法ノ爲ニ、十數年ノ間我國ノ産業ハ各方面ニ於テ異常ナル發達ヲナシ、又海外ニ於ケル貿易關係ガ異常ナル變化ヲ來シテ居タニ拘ラズ、之ニ對シテ立派ナル關稅定率法ガ立テラレテ居ラナカッタデアリマス、幸ニ大正十五年ノ改正ハ、前內閣ノ努力ニ依リマシテ、茲ニ新シク定率法ガ確定シテ、漸ク我國ノ産業ニ對シマシテ、洵ニ適切ナル所ノ稅ヲ見積ルコトガ出來タデアリマス、其後ニ於キマシテ、吾々ノ眼ニ著シク映ズル所ノモノガ澤山アル、製鐵保護ノ如キ其顯著ナル一ツデアリマシテ、製鐵、製鋼事業ガ此二三年ノ間ニ長足ナル進歩ヲシテ、我國ノ鐵工業ノ前途ニ、從來大ナル暗影ヲ持ッテ居タノヲ一掃シ得タト云フヤウナコトハ、洵ニ顯著ナル功績デアルト私ハ思ウテ居リマス、而シテ本日茲ニ本案ガ提案ニナリマシタ其所以ニ遡リマシテモ、即チ太正十五年ノ改正當時ニ於キマシテ、政府ガ異常ナル努力ヲ爲シタト雖モ、其費目ガ千五百萬種類ニ上ツテ居リマシテ、關稅「オートンリチー」ト言ハレテ居リマス、今日御出席ハアリマセヌガ、大藏省ノ矢部君等ノ隨分御熱心ナ研究ガアリマシタ、併ナガラ尙ホ不備ナリト衆議院ガ認メマシテ舉ダタ所ノモノガ、二十數點アッタデアリマス、此當時

ノ關稅改正ニ對スル衆議院ノ態度ハ、政友本黨、政友會、憲政會、共ニ殆ド一致シテ之ニ當リマシテ、殆ド黨派ヲ超越シタ觀念ノ下ニ之ガ審議ヲ進メマシテ、加藤政之助君ガ委員長トシテ、殆ド六十日ニ亙リ審議ヲシタデアリマス、隨テ此時ニ定メラレタル所ノ關稅改正定率法ナルモノハ、殆ド黨派ノ觀念ハ加味サレテ居ラナカッタ、眞ニ我國ノ産業ノ立場ニ顧ミテ、此處ニ出發點ヲ置イテ、各位ガ努力ヲ致シタデアリマス、而シテ殘サレタル所ノ二十五ノ問題ガ、其後ノ憲政會內閣或ハ引續キノ內閣ニ於キマシテ、漸ク之ガ解決ヲサレマシテ、隨分其中ニハ改正ヲ施サレタモノガ澤山アリマス、殘タ所ノ問題ハ、茲ニ出テ居リマス木材、或ハ樂器ノ中ノ「ピアノ」デアルトカ、或ハ綿絲ノ中ノ捻絲デアルトカ、斯ウ云フ物が殘ッテ居タデアリマス、幸ヒ今同政府ガ此前內閣以來ノ傳統ヲ引繼イデ、茲ニ本案ガ提出ニ至ッ云フコトハ、黨派ヲ超越シテ私ハ大ニ歡迎スル所デアリマス、特ニ私共木材事業ニ關係スル議員カラ見マスルト、積年ノ努力ガ漸ク酬ヒラレタ感ガ致スデアリマス、併ナガラ本案ノ成立ニ至リマス從來ノ沿革カラ申シマス、餘程本案ノ行方ノ違ッテ居ル點ヲ遺憾ト致スデアリマス、ソレハドウ云フ點ガアルカト申シマス、木材關稅ノ改正ナルモノハ、農林關係ノ議員ニ於キマシテハ、黨派ヲ超越シテ熱心ニ主張サレタデアリマシタガ、其聲ハ從來議場ニ徹底致サナカッタデアリマス、然ルニ太正十三年ノ夏三派內閣ノ下ニ於キマシテ、當時ノ國際貸借改善ニ資センガ爲ニ、人格高潔ナル當時ノ濱口大藏大臣ガ、贅澤品關稅ナルモノヲ突如トシテ制定サレマシテ、組閣後僅カ二週間ニ過ギナカッタ此繁忙ノ裡ニ於テ、尙且當時ノ國際貸借ノ現狀見ルニ忍ビザルモノアリトシテ、茲ニ國民ヲ戒飭セントシテ、贅澤關稅ナルモノヲ設ケテ木材關稅ノ改正ニ於キマシテ、始メテ木材關稅ノ改正ニ一新ラシキ理由ヲ加ヘタデアリマス、從來山林保護ト云フヤウナ立場ニ於

テ進シテ來テ居タモノガ、贅澤關稅ガ設ケラレマシテ贅澤品ノ輸入ヲ防遏シヤウト云フコトヲ認メルト同時ニ、木材ノ中ノ特殊ナル物、即チ高級木材、杉デアルトカ、檜デアルトカ、特ニ建築用材トシテ高級ニ使用サルベキ物ハ、矢張贅澤品デハナイカ、南洋カラ入ル所ノ床柱ニスルヤウナ贅澤ナ木材ニ課稅ヲスルト云フコトデアレバ、矢張ソレト同ジヤウナ資格ヲ持ッテ居ル杉、檜ト云フヤウナ物モ、同ジク贅澤品デアル、故ニ之ニ課稅スルノガ當然タト云フ議論ガ起リマシテ、茲ニ木材ノ關稅改正ニ有力ナ證據ヲ與ヘタデアリマス、ソレカラ進シテ大正十五年ノ關稅改正ノ時ニ、後日改正スベキモノトシテ、希望條件トシテ各派一致シテ之ヲ舉ゲタデアリマス、ソレガ今回此處ニ現レテ來ル基礎デアルト思ヒマス、併シ此沿革カラ考ヘマス、今回ノ改正ニ於キマシテ、只今大藏大臣ノ御話ニナツタ樹ノ種類ニ依ル區別、此事ハ當時ノ沿革カラ認メラレルデアリマス、而シテ大デ其客積、大キサト云フコトニ付テ御話ガアリマシタガ、太キサニ付キマシテハ、其當時ノ沿革カラ申シマスレバ、洵ニ考ガ薄イデアリマス、唯樹種ヲ主トシテ考ヘタ、而シテ其目的トスル所ハ杉、檜デアテ、松材以下ノ物、斯ウ云フ物ニハ課稅ヲシナイ、成タケシナイ、何トナレバ是等ハ只今質問應答ヲ重ネラレマシタ如ク、非社會政策的ナモノデアアル、國民ノ多數ノ負擔ヲ增加スルコトニナル、松材ノ如キハ今日殆ド繩ヤ吹ノ如ク使用サレテ居ル、斯様ナ物ニ税金ガ課カルト云フコトハ、甚ダ宜シクナイト云フコトガ、今日迄傳ヘラレテ來タデアリマス、而モ之ニ加フルニ政府ニ於キマシテハ、此處ニ大口政府委員モオキデアリマスガ、實業同志會昨午ノ協約ヲ致ス時ニ於キマシテ、木材關稅、或ハ鐵ノ關稅ノ引上ハシナイト云フ御約束ヲ致シタヤウニ聽イテ居ルノデアリマス、武藤君ハ今御意見をナリマセヌガ、ドウモ政實政策協定ノ中ニハ、木材關稅及鐵ノ關稅ト云フモノガ入ッテ居、タノデアリマス、故ニ私ハ其協定

ヲ見マシタ時ニ、政府ハ護憲三派以來ノ傳統ノ御考ヲ捨テタノグラウカ、或ハ大正十五年ノ當時、各派一致決メタ所ノ此木材關稅ノ引上、之ヲ實業同志會ノ僅カ三名カ四名ノ人ノ協定ノ爲ニ、此大キナ政策ヲ抛ッタノカト思ウタ所ガ、矢張今回抛タズニ茲ニ提案ニナツタデアアル、然ラバ此實業同志會トノ約束ハ是ハ放棄シタノデアアルカドウカ、私ハ別ニ之ヲ大シタ問題トシテ貴メヤウトハ思ヒマセヌガ、併ナガラ政府ガ一度實業同志會ノ諸君トノ約束ハ、ドウデモ宜シウゴザイマセウガ、之ヲ實業同志會トノ約束ナリトシテ世間ニ公表シタ、即チ國民ニ斯ウ云フ政策ヲ進ムゾト言ヒナガラ、又漫然トシテ御取消ニナツタ、此態度ニ付テハ私ハドウシテモ暗ニ落チナイ、故ニ第一ニ是等ノ從來ノ沿革カラ來タ木材關稅ノ引上、及途中中變更スルヤウナ額ヲ爲サツタノヲ、復タ政實協定ヲ破棄シテ茲ニ本案ヲ提出ニナリマシタル其理由、之ヲ第一ニ伺ヒタイト思フデアリマス、次ニハ先程來ノ質問應答ニ於キマシテモ御話ガアリマシタガ、本案ニ依リマス關稅ノ收入、是ガ六百五十萬圓デアルト云フコトヲ承テ居リマス、此金額ニ付キマシテ、私ハ敢テ議論ヲ致スノデアリマセヌガ、兎角地租委讓ノ財源ニスルノゴトカ、何トカ言ハレ勝ッデアアル、是ハドウモ甚ダ政府ガ不用意デアタト私ハ思フ、前ノ如キ沿革ニ依テ來タ案デアリマスカラシテ、斯様ナ疑ヲ受ケルヤウナ不用意ヲ致サナケレバ、此案ハ洵ニ傷ガ付カズニ進行シ得ラレル案デアラウト思フ、然ルニ如何ニモ是ガ地租委讓ト大ナル關係ガアル如何ク見エテ居ル、之ニ對シテハ政府ハ如何ニ辯解ヲスルカ、吾々ハ甚ダ此點ヲ殘念ニ思ウテ居ルノデアリマス、而モ只今農林大臣ノ御話ヲ承ハリマセヌガ、木材關稅ノ引上ハ社會政策的ダ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ウテ居リマス、又一方ニハ非社會政策的ダト云ウテ居リマス、木材關稅ノ引上ガ社會政策ダト云フコトヲ仰シヤル必

要ハナイ(拍手)是ハ無論國民ノ負擔ヲ——消費者ノ負擔ヲ増加スルコト云フコトハ分リ切テ居リマス、是ガドウモ社會政策ニナラヌト云フコトハ分リテ居ル、併ナガラサレバト言ウテ大シテ責メル程ノコトデモナイ、國際貸借上必要ナル、或ハ産業振興上必要ナル、斯ウシテ見タナラバ、僅カ五、六百萬圓ノ負擔位ガソレ程大ナル問題デハナイ、何方ニシテモ爭ハスル程ノコトデハアリマセヌガ、併シソレニ付テノ農林大臣ノ御話ハ、大ニ山林ノ開發ヲスルノダ、一本調子デハ中々林業政策ノ確立ハ出來ナイ、故ニ一方ニ於テ關稅ノ引上ヲスレバ、一方ニ於テハ補助金モヤラウ、若シ民政黨ノ諸君ガ宜イト云フナラバ、幾ラデモ錢ヲ出スト云フヤウナ御話デアリマス、故ニ此點ニ付テ伺ヒタイ、幸ニ六百五十萬圓ト云フ金ガアル、其六百五十萬圓ト云フ金ハ、地租委讓ノ財源デハナイカト云ウテ世間カラ疑ハレテ居ル、此際ニ於テ農林大臣ガ、君等ハ助成金ヲヤルナラバ、幾ラデモ出シテ宜イト云フナラバ出スゾト、斯ウ云フコトデアルナラバ、ドウカ此六百五十萬圓ヲ林業開發ノ爲ニ支出シテ戴キタイと思フ、今年ノ豫算ヲ見マスと云フト、新シク林業ニ對スル施設トシテノ費用ハ幾ラモナイノデアリマス、折角六百五十萬圓ト云フ金ガ木材關稅ノ引上ニ依テアルノニモ拘ラズ、其中カラ使テ居ル金ハ、二百萬圓足ラズデアル、後ノ金ハ三土大藏大臣ノ御説明ニ依レバ、歲入一本ニシテ歲出一本ニシテ見ルカラ、何處ニ行ツカ分ラヌト云フ御話、ソレハ其通りグラウト思フガ、今ノヤウナ農林大臣ノ御考ノ通りナラバ、此六百五十萬圓ノ金ヲ皆山林ノ開發ニ使ツテ貰ヒタイ、若シ此金ヲ以テ充テ、戴クナラバ、即チ山間部ニ於ケル交通ノ便ヲ開キ、或ハ舟楫ノ便ヲ開クト、斯ウ云フコトヲスルナラバ、今ノ前田君其他多クノ人ノ心配スル非社會政策的ノ國民ノ消費ノ負擔増加ト云フコトモナク、却テ木材ハ安クナル、安クナッテ斯ウ云フモノハ除ケ得ルノデアル、關稅ト云フ消費稅ガ一圓掛レバ、一圓ダケ消費者ノ負

擔ニナルト云フコトハナイコトハ、是ハ明ナコトデアル、政府デモ能ク説明ナサルガ、其通り一圓掛ケテ必ズ一圓ニハナラナイ、併シ一圓掛ケテ爲ニ二圓ニナル場合モアル、十錢ニナル場合モアルガ、二圓ニナル場合モアル、併シ今言フヤウニ六百五十萬圓年々支出シテ、日本ノ山林ノ開發ニ充テルト云フコトニナレバ、是ハ期年ナラズシテ木材ハ必ズ安クナル、安クナッテ而シテ山林業者ハ收益ヲ得ラレルノデアリマス、今ノヤウニ唯稅金ヲ取リ許リニシテ置イタノデハ、是ハ消費者ノ負擔ト云フモノハ何時マデモ繼續スル、木材ニ安ク稅ヲ掛ケテ、ソレデ以テ施設ヲスルナラバ、木材ガ安クナリ、初メテ消費者ノ負擔ガ輕クナル、ドウカ農林大臣ハ今御留守ノヤウデアリマスカラ、東農林次官デモ海ニ結構デアリマスカラ、之ニ對シマスル一ツ政府ノ御意見ヲ承リタイと思フ、次ニ本案ハ木材關稅其他五六限リテ居リマスルガ、關稅定率法ノ改正法律案ソレ自體ト云フモノハ、此千五百種ニ關スル總テノモノニ對シテ、吾ニハ審議ノ權利ガアルノデアリマス、故ニ木材關稅ヲ離レマシテ一ニ點何テ見タイ、大正十五年ノ希望條件トシテ殘テ居リマスル中ニ、綿絲布、綿織絲ノ中デ、一ノ項ニ屬スルモノ、即チ細イ絲、太イ絲ト世間デ謂ハレテ居ル今日ノ紡績絲デアリマス、總稱シマシテ——之ニ對シマスル所謂綿絲布關稅ノ撤廢ト云フコトガ議論ニナッテ居ル、而シテ之ヲ主張致シマシタノハ、昨年亡クナラレマシタ尊敬スベキ政友會ノ武藤金吉君ノ切ナル主張デアル、サウシテ政友會ノ諸君ハ多ク之ニ賛成ヲ表サレテ居リマス、民政黨、憲政會ニ於キマシテモ、之ニ對スル賛成者ハ相當ニアツタノデアリマス、唯當時ノ政友本黨ノ諸君ハ之ニ反對デアツタ、故ニ今日ノ此議場ヲ以テ申スナラバ、衆議院ノ空氣ヲ以テ申スナラバ、此綿絲關稅ノ撤廢ト云フコトハ、此沿革ニ徴シテ當然此政府ニ於テ御實行爲サランケレバナラヌ點デアルト私ハ思フテ居ル、然ルニ之ニ對シテ少シモ觸レル所ノナイト云

フコトハ、ドウ云フ御考デアルカ、大藏政務次官ハ只今關稅ノ根本的改正マデモ考ヘテ居ルト仰シヤル、私共ハ關稅ノ根本的改正ナドガ、今日サウ急イデ行フ必要ハアリマセヌ、前內閣ハ極メテ用意慎重ニ此點ヲ考ヘテ、關稅調節委員會ヲ設ケテ、年々斯ウシテ幾分カノ議案ヲ提出スルコトガ出來ルヤウニシテアルト云フコトハ、餘程能ク御考ニナツタ案デアル、之ヲ傳統的ニ繼續シテ行ケバ結構デアツテ、別ニ新シク案ヲ御考ニナルコトハナイト私ハ思フテ居ルガ、併ナガラ大藏次官ハ根本的ノ改正ヲシヤウト云フ御考デアルト、斯ウ御見識ヲ振り廻シテ居ラレルノデアルカラ、ドウカ其御見識ニ依リマシテ、此綿絲關稅ニ對シテ如何ナル御見識ヲ發表ナサルカラ、一ツ御伺シタイと思フノデアリマス、更ニ私ハ第二ノ朝鮮ノ木材關稅ニ付キマシテ、只今東君ノ御答辯ガアツタヤウデアリマスガ、本案ハ先年衆議院ニ於テモ中々審議ヲ慎重ニ爲サレタ案デアリマシテ、今回出サレマシタ案ハ、政府ガ慎重審議シタト云フ御話デアルガ、政府ガ慎重審議シタノデハナクテ、衆議院ニ於テ慎重審議シタ其案ガ出テ居ルノデ、何モアツタ方ガ少シモ研究シタ所ハナイ、ソレヲ其儘出シテ居ル、其儘出シテ居ルガ、少シ間ノ拔ケテ居ル點ガアルノデアリマス、私ハ甚ダ不滿ニ感ズル所デアリマスガ、是ハ多少外交問題ニ關スルト思ヒマスカラ、私ハ委員會デモ何ツカ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、政府ガ慎重審議シタト仰シヤルガ、一言ドンナ風ニ慎重審議シタカヲ伺ヒタイと思フ、大體此程度デ私ノ質問ハ終ツテ置キマス(拍手)

○政府委員(東武君) 永田サシノ御質問ニ答辯ヲ致シマス、關稅増徴ニ依リマシテ、六百五十萬圓バカリノ增收ガアリマスガ、其增收ハ山林施設ニ助成ヲシタラ如何デアルカト云フ、斯ウ云フ御議論デアリマスガ、吾々ハ此增收ガ一般會計ニ這入リマシテ、ドウヤウナ使途ニ使ハレテ居ルカト云フコトハ私ハ分リマセヌケレドモ、山林上ノ立場ト致シマシテハ、本年ノ如キハ新規要求額ト從來ノ施設ヨリハ新シキ費用ヲ増加致シマシタモノヲ見マスルト云フト、四年度ニ於テ七百二十二萬圓新規施設ヲ増加ヲ致シテ居リマス、約關稅增收ノ六百五十萬圓以上ノモノハ、此山林ノ政策ニ使ツテ居ルノデアリマス、此點カラ此事ダケハ一言御答シテ置キマス、是ガ地租委讓ノ財源デアルトカ、色々ノコトヲ議論致シマスガ、山林ノ政策カラ割出シテ、關稅增收ノ費用ハ、ヨリ以上山林ノ方面ニ助成、若クハ其他ノ指導獎勵施設ニ使ツテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス、又此金ハ五年度ニ行ケバ、此計畫ガ山林政策ノ確立ニ要スル所ノ此費用ハ、四年度ガ七百二十二萬圓デアリマスガ、五年度ニナレバ、九百二十萬圓ニナリ、九百二十萬圓ト云フモノハ、新シク本年吾々が要求シタ新規施設ニ這入ッテ居ルノデアリマス、此點ヲ豫メ御諒承ヲ願ヒマス、ソレカラシテ五十一議會ノ關稅ノ委員會、及本會ニ於ケル所ノ意見ニ於キマシテ、木材關稅ハ五十一議會ニハ決シテ增收ヲシナイト云フ意見デハナカッタノデアリマス、此增收スル程度ニ於テ各派ニ相當ノ議論ガアツタ、餘リ關稅ノ槓壁ヲ高クスルト云フコトガ、或ハ消費者ニ轉嫁スルト云フヤウナ虞モアルシ、低ククレバ——其低イ稅率ナラバ、輸入ニ對シテ餘リ影響ハナカラウト云フコトデ、關稅委員會ハ此調査ノ議ヲ決スルコトガ出來ナクシテ、暫ク是ハ取り除ケテ置イテ、關稅委員會ニ付シテ、十分ニ慎重審議ヲスルト云フコトニナツテ、是ハ留保シテ、サウシテ其附帶決議案ヲ附ケテ出シタ、故ニ諸君モ關稅政策ノ委員ノ當時ニ於キマシテハ、此木材關稅ヲ或ル程度ニ引上ゲルト云フコトニ付テハ、毛頭反對ハナカッタ、寧ろ是ハ增收スルト云フ意見ガ多カッタノデアリマスガ、調査會ニ於テ爾來二箇年間慎重審議ノ結果、餘リ大シタ稅率デモナイ、適當ナル程度ニ於テ關稅率增收ノ案ヲ茲ニ提出スルト云フコトガ、極メテ適切ナコトデアルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリ

マス、是ダケヲ御答ヲ致シテ置キマス（拍手）

〔政府委員大石喜六君登壇〕

○政府委員（大石喜六君） 私ノ方ヘノ御質問ハ、極メテ簡單ノヤウデアリマスカラ、大要ヲ御答申上ゲタイト思ヒマス、此木材關稅ノゴトニ關シマシテ、政友會ト實業同志會ト協定ヲ致シタコトニ付テノ御問、主デアッタヤウニ考ヘマスガ、是ハ只今東農林政務次官カラ御答申上ゲマシタ通り、五十一議會ニ於テ此衆議院デ木材關稅、鐵ノ關稅ノコトニ付キマシテ、相當ニ議論ノアリマシタ結果、更ニ之ヲ關稅委員會ノ手ニ掛ケテ調ベルヤウニト云フコトニナッタノデアリマス、斯ウ云フ問題ニナッテ居タモノデアリマスカラ、實業同志會ト政友會ト協定致シマス時ニ、無論此話ガ出タノデアリマス、其時ニモ協定ハ文書デ御覽ノ通り、是ハ極メテ兩方トモ大切ナモノデアリカラ、輕々シキヤルコトハ困ル、十分ニ考慮シテ慎重ナ行動ヲ執ルヤウニト、斯ウ云フ意味ノコトデアリマシテ、其通りニ實ハ協定書ニモ書イテアルノデアリマス、此協定ハ最モ私共ハ之ヲ重シジマシテ、現政府ニ於キマシテモ、所謂是ハ慎重ニ研究ヲシ考慮モシタノデアリマス、而シテ鐵ノ方ニ於キマシテハ、今日最早關稅ヲ掛ケル——此上高メルコトハ必要ナカラウト云フコトデ、今提案ヲ致サナイノデアリマス、ソレカラ木材ニ對シテハ、矢張今東君カラ申述ベマシタ通り、關稅ヲ上ゲルニシマシテモ、其程度ト云フモノニ依テ非常ニ影響ガ違フノデアリマスカラ、此程度範圍ニ付テハ相當ニ考慮研究ヲ致シタ積リデアリマス、其結論ト致シマシテ、今回提案致シマシタ如キモノナラバ、諸方ニ對シテ先以テ宜シイモノデアル、斯ウ考ヘマシタ結果デアリマスカラ、決シテ此協定ヲ無視致シタ遺リ方デハナイト、私共ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ次ニ綿絲關稅撤廢ノコトデアリマスガ、是ハ其後ノ狀況ガ餘程變テ居ルヤウデモアリマス、マズ餘程研究ヲ要スルモノト見テ居リマス、併ナガラ關東

州ノ特惠關稅ニ付キマシテハ、略、調査ガ濟ンデ居リマスカラ、近キ中ニ決定サレルコトガアルデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、是ダケヲ御答致シマス

○副議長（清瀬一郎君） 太田信治郎君

〔太田信治郎君登壇〕

○太田信治郎君 私人朝野兩政黨ニ關係ヲ持テ居リマセヌ、無所屬ノ立場ニ居リマス者デアリマス、故ニ極メテ公平ニ本問題ヲ審議ヲ致シテ、是ハ是、非ハ非トシテ贊否ヲ決スル積リデアリマス、併ナガラ只今御説明ノ段々伺テ居ル中ニ、私ノ頗ル疑惑ヲ感ジマシタコトヲ、大藏當局ニ御尋フ致シ、更ニ工業關係ノコトヲ商工大臣若クハ商工省ノ方ニ御尋フ致シ、森林保護ニ關スルコトヲ農林省若クハ農林大臣ノ方ニ御尋フ致シタコトヲ思フデアリマス、第一ニ御同致シタイコトハ、一體此關稅案ハ收稅ノ目的トシテ——收入ヲ六百數十萬圓得ルコトヲ目的トシテ、御提案ニナリマシタモノデアリマスルカ、將又森林ノ保護、所謂林業ノ振興ヲ目的トシテ、此關稅改正案ヲ御企ニナッタルデアリマセウカ、只今當局ノ御説明ニ依リマス、一億萬圓ノ木材ノ輸入超過ヲ防止スル爲ニ、森林ノ振興ト共ニ——外材ノ値上ニ依テ森林ガ振興シ、輸入材ガ防止セラレテ、所謂爲替ノ調節ニモ資スルノデアルト云フ結果ニナリ、御説明ヲ伺フト森林保護ガ目的ニナル、サウスルト隨テ一億萬圓ノ輸入ガ段々減ズルヤウニナリマス、輸入ガ減ズルヤウニナリマスルト、前ニ御話ノ之ニ依テ六百數十萬圓ノ財源ヲ得ルコト云フコト、ハ、此ニ少シク矛盾ガ生ジヤシナカ、六百五十萬圓ノ財源トシテ提案ヲシ、一方ニハ其財源ヲ減ラスヤウナ政策ヲ執テ居ルト云フコト、六百五十萬圓ト云フモノハ、少シク矛盾ガ感ゼラレルヤウニ私ハ思フデアリマス、ソレカラ此財源トシテ收稅ヲシタル所ノモノハ、何ニ之ヲ使用スルカト云フコトハ、恐ラク國家ノ收入ガ一ノ目的ト向テ收入ヲスル次第デアリマスマイ、何レ收入ハ收入、支出ハ支出ト、別ニ豫算ヲ立テルモノデアリ

マスケレドモ、兎ニモ角ニモ兩稅案ノ結果、財源ニ補填ヲシナケレバナナリ必要ガ生ジ、其補填ノ結果、何物カニ財源ヲ求メルト云フモノ、一ツデアルト云フコトハ、是ハ免レナイモノデアラウト思フノデアリマス（拍手）サウスルト兩稅案ノ財源ニ充テタモノデアリ——充テタモノデナトシテモ、此六百五十萬圓ノ收入ヲ目的トシテアルモノデアルトスルト、先ニ申シタト少シク收入ガ減ズレバ、矛盾ヲ來スト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）ソレカラモウ一步進ンデ、兩稅案ハ今貴族院ニ於テ豫測スベカラザル次第デアリマス、若シ兩稅案ハ必要ナルヤウナ感ジガ、此ニ私ハ致スノデアリマス、此點ニ對シテハドウ云フ御考デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、何ガ故ニ此木材關稅ヲ其費目ニ御選ビナリマシタカ、關稅改正ハ前年濱口御選ビノ時代ニ、大改正セラレタノデアリマスガ、當時ハ生活必需品ニ關稅ヲ低クシテ、或ハ無稅ニシテ、或ハ原料ヲ無稅トシテ、奢侈品若クハ贅澤品ノ如キ、其他嗜好品ノ如キ、或ハ國內ニ於テ商工業ヲ保護シタケレバナラヌモノニハ課稅ヲ重クシテ、原料ハ成ベク稅ヲ低クスルト云フ方針ヲ執ッタノデアリマス、處ガ最も生活必需品トシテ、今日木材ハ必要ナモノ、一ツデアリマス、サウスルト若シ財源ヲ得ルト云フノガ目的デアルトスレバ、他ニ求ムベキ、收稅スベキモノガナクカ、假ニ關稅ノミト致シマシテモ、私ヲ以テ言ハシムレバ、贅澤品其他我國工業ノ助長ヲサスベキ、所謂保護貿易ノ趣旨ニ於テ、助長獎勵スベキ趣旨ニ於テ關稅ヲ課スベキモノハ、外ニモアッタノデハナイカ、然レモ木材ニ稅種ノ費目ヲ御選ビナリマシタ理由ハ、如何ナル理由デアリマセウカ、所謂産業保護ノ目的ニ他ニ必要ナモノガナイカラ、木材ガ最も必要ナリト認メテ、之ニ課稅ヲシタト云フ所ノ趣旨デア

商工省ノ方ハ御出ガナイヤウデアリマスカラ、後ニ致シマシテ、一ツ農林ノ方ヲ先ニ御同致シマセウ、農林省ノ只今御話ヲ伺ヒマス、此關稅引上ノ結果、森林業ヲ保護シ、森林ノ開發、林業ノ振興ヲ圖リ、延テハ水源ノ涵養ニマデモ影響ヲ及ボスト云フコトニ伺ヒマシタ、是ハ非常ニ結構ナコトデアル、一體我國ノ森林業ガ甚ダ不振ノ狀態デアルト云フコトハ、國家トシテ私ハ甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ、ドウシテモ此林業ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトハ、申ス迄モナイノデアリマス、其點ニ付テハ私共非常ニ御同感ヲ感ズル次第デアリマス、但シ先刻ノ御話ニ、此木材ノ關稅ノ引上ノ結果、木材ノ市價ニ影響ハ甚ダ少イ、是ガ爲ニ家屋ノ建築ニ影響ニ及ボスヤウナコトモナヤウナ御話ガアリマシタ、若シ假ニサウデアッテ見ルト、又森林業者ニ利益スル所モ少イモノニナリハシナイカト思フ、茲ニ私ハ一ツノ矛盾ガ起リハシナイカ、木材ノ需要ハ、所謂生活必需品ニ影響ガ甚ダ少イモノデアッテ、ソレニモ拘ラズ内地ノ森林業者ガ、之ニ依テ利益スル所ガ甚ダ多イト云フコトハ、私ハ少シク了解シ苦ムノデアリマス、ソレカラモウ一ツ木材ハ或ル樹齡ガ來レバ腐ッテシマフ、ソコデ針葉樹ノ保護スル、斯ウ云フ御話ガアリマシタ、是モ私ハ甚ダ了解シ苦ム、今日亞米利加カラ來ル「シーザー」ノ如キモノハ、樹齡ガ來テ既ニ腐朽ニ近付イテ居ルヤウナモノモ澤山アル、日本ノ針葉樹ハ樹齡ガ來テ伐ラナケレバナラヌト云フヤウナ程、豐富ナル大森林ヲ持テ居ナリ、針葉樹ニ於テハ、東海道トカ濱街道ノ松並木ニハ、漸ク樹齡ガ來テ伐ルヤウナモノモアルカモ知レナイガ、是ハ私ハ強ヒテ伺フ必要ハアリマセウガ、私ハ一寸矛盾シテ居ルヤウニ思フ、但シ林業ノ開發ヲスルト云フコトノ爲ニ、之ヲ御設ケニナラナラバ、保護貿易ニ對立スルモノガナケレバナラヌ、例ヘバ一時ノ間ハ保護貿易ノ結果、需要者ガ多少不利益ヲ感ズルケレドモ、將來ニ於テハ利益ヲ得テ、

其利益ノ結果トシテ國富モ増進シ、需
要モ大ニ緩和シ、需要供給ノ圓滑ヲ圖
ル上ニ於テ、一時ノ間ノ不便ハ忍ブモ、將
來ノ利益ノ爲ニ、保護貿易ヲ行ハナケレバ
ナラヌト云フコトニナリマスレバ、私ハ大
ニ之ヲ賛成ヲ致サウト思フノデアリマス、
其意味カラ申シマス、對立スルモノガナ
ケレバナラス、只今亞米利加カラ來ル所ノ
亞米利加松ノ如キモノハ、三十尺、四十尺
ト云フ長尺ノモノデアツテ、或ハ加奈陀方面
カラ來ル「シーザ」ノ如キ、末口四尺ト
カ、三尺トカ云フ木材ハ、内地ニ求メルト
雖モ、ソレニ對立スベキモノガ少イと思フ、
我國ノ木材トシテ對立スベキモノハドウデ
アルカト云フト、外材ヲ製品トナツテ來ル四
吋、四吋半、若クハ一吋板ト云フヤウナ小
サイモノナラバ、我國ニ於テモ對立スベキ
木材ガ澤山アル、是ハ決シテ供給ガ不足ト云
フ譯デハナイ、現在ノ針葉樹ハ、日本ノ在積
ハ約七億六千石ト稱シテ居ル、デアリマス
カラ、七億六千石モアレバ、其方ノ需要供
給ニハ我國ノ材ヲ以テシテモ關ニ合フ、但
シ外材ガ非常ニ低廉ナ爲ニ、森林業ガ振
ナイ、故ニ若シ内地ノ森林業者ヲ保護シ、
農村ノ振興ヲ圖リ、林業ノ開發ヲシヤウト
云フニハ、我國ガソレニ對立シテ持テ居
ルモノヲ保護スル必要ガアリハシナイカト
思フノデアリマス、此見地カラ申シマス
ト、今我國ニ在ル所ノ木材ニ對立シテ邪魔
ニナルモノハ何デアアルカト云フト、亞米利
加カラ來ル木材ノ中ノ、所謂製材ニナツテ居
ルモノデアアル、此製材ニナツテ來ルモノガ、
日本ノ木材界ニ影響ヲ直ニ及ボス、亞米利
加松ノ如キ長尺材ニ於テ、是ハ建築材トシ
テ、又今日必要ナモノデアアル、是等ノモノ
ニ課稅ヲシタカラト云ツテ、我國ノ森林保護
ニハ私ハナラナイと思フノデアアル、此點ニ
付テドウ云フ御考ガアルカ、之ヲ一ツ伺ヒ
タイ、ソレカラモウツハ、森林ヲ保護ス
ルト云フ上カウ行キマシテ、單ニ關稅ノミ
ヲ以テ之ヲ保護スルコトハ出來ナイ、其他
ニ種々ナル方法ガアルト云フ御話デアリマ
シタガ、私共ハ最も今森林業者ヲ保護シナ

ケレバナラス、森林ノ獎勵ト云フモノ、中
デ、最も力ヲ注ガナケレバナラスモノハ、
寧ろ私ハ闊葉樹ニ在ルト思フ、闊葉樹ハ現
ニ我國ノ内地ダケデモ、十四億六千万石ノ
多數ヲ有テ居ル、其闊葉樹ノ需要ト云フモ
ノガ、將來段々發達シテ行クノデアアル、將
來大ニ發達シテ行クノデアアルガ、ソレニ向
テ最も障礙ヲ爲シテ居ルモノハ、南洋材デ
アル「チトク」「マホガニ」等デアアル、要ス
ルニ是等ノモノハドウカト云フト、堅木ト
云フ種類ニ屬シテ居ル雜木デアアル、此材積
ガ我國ニハ最も澤山アルノデ、之ヲ保護獎
勵シテ、此利用ヲ廣メルコトガ、最も此林
業開發ノ上ニ必要デアアル、東次官ハ北海道
ノ方デスカラ、私ガ申上ゲヌデモ御承知デ
ゴザイマセウガ、北海道ニ於ケル闊葉樹ハ、
檜デアルトカ、樺デアルトカ、「タモ」デア
ル、其北海道ノ闊葉樹ガ今日市價ノ價格ガ
低落シテ、ソレガ爲ニ北海道ニ於ケル森林
業者ガ最も苦シテ居ル、ソレハ何デアアルカ
ト云フト、南洋材ト云フ強敵ガ現ハレタ爲
ニ、脅威ヲ受ケテ居ルノデアアル、然ルニ農
林大臣ハ何故北海道及内地ニ於ケル闊葉樹
ニ、至大ノ關係ヲ有テ居ル所ノ南洋材、其
他闊葉樹ノ強敵ニ課稅ヲ爲サナイデ、無
稅ニ御置キニナツタカト云フコトヲ疑フ、私
ヲシテ言ハシメレバ、東次官ハ北海道ヘ御
歸リニナツテ、大キニ御困リナリハシナイ
カト思フ（拍手）最早北海道ノ闊葉樹ハ、將
來内地ニ向テ移出スルコトガ、頗ル困難
ニナツテ居ルト云フコトハ、南洋材ノ結果デ
アリマス、併シナガラ今南洋材ハ頗ル數量
ガ少ナイト云フ政府ハ御考デアアルカモ知レ
ナイケレドモ、將來多數輸入シテ來ルコト
ハ明デアアル、是ハ丁度日本ノ内地ニ於ケル
所ノ杉ガ、米杉ニ負ケテ居ルノ同ジ態度
ヲ執テ居ル、同ジ經路ヲ歩ンデ居ル、本年
ハ二百方石以上輸入スルデアラウト思
フ、明年ニナレバ更に一層増大スルダラウ
ト思フ、此闊葉樹ニ對シテドウ云フ御方
針ヲ持テ、ドウ云フ御考デアリマスルカ
（簡單）ト呼ヒ其他發言スル者アリ）政友會
ノ諸公カラ簡單ト云フ御話ガアリマシタ

ガ、農村ノ振興ニハ最も力ヲ注イデ居ル
方デアラウト思フ、然ルニ農村ニ於テ最も
今必要ヲ感ジテ居ルモノハ、此雜木林ノ闊
葉樹林ノ用途ガナクテ困テ居ルコトデア
ル、故ニ之ヲ開發スルコト云フコトガ、農村
振興ノ上ニ私ハ必要ナリト感ジテ居ル、
（拍手）之ヲ其儘今度ノ改正案ノ中ニ御入レ
ニナラスノハ、更に時期ヲ見テ追加スル
御考デアアルカ、或ハドウ云フ御考デアアルカ、
此闊葉樹林ニ付テ政府ノ御所見ヲ私ハ一
ツ伺ヒ見タイ、ソレカラモウツハ、林業
政策ニ付テ、ドナタカ補助金々々ノ御話ガ
出マシタガ、補助金モ色々必要デアリマセ
ウ、其他ノ政策モ澤山必要デアリマセウ
ガ、私ハ最も林業ニ於テ必要ナルモノハ、
生産費ノ低下デアアル、其生産費ノ中デ最
モ重キヲ爲シテ居ルモノハ鐵道デアアル、
鐵道ノ運賃ノ引下ト云フコトガ、林產物ノ
中ノ木材ニ對シテ最も必要デアアル、此鐵道
ノ運賃ヲ引下ゲナケレバ、多少ノ關稅ノ引
上ヲシテモ、ソレニ依テ以テ農村ガ一日
本ノ内地ノ森林業ガ作興スルハ認メラレ
ナイ、此保護關稅モ勿論一ツノ方法デア
リマセウガ、ソレト對立シテ行ク所ノ手段
ガナケレバナラス、之ヲ有テ居ナイト云フ
コトハ、今農林次官モ仰セラレタガ、全ク
其通りデ、私モ實ニ御同感デアアル、流石賢
明ナルモノト思フ、其一ツデ行カナイトス
レバ、其對立スベキ手段方法ニ付テハドウ
ナサル、今日林業ノ金融ト云フモノガ非
常ニ逼迫シテ居ル、之ニ對シテ林業金融ヲ
政府ガ目的トシテ居ルノハ、植林若クハ造
林ト云フコトニハ政府ハ力ヲ注イデ居ラレ
マセウガ、先以テ十四億六千万石ノ闊葉樹
林ガ改造サレナケレバ、森林事業ノ發達ハ
シナイ、其處ニ引合ハナイ木ガ植ヘテ居
ル、之ヲ燒拂フ譯ニモドウスル譯ニモ行カ
ナイ、是ガ金ニナツテ出テ來テ、其跡ニ植林
ヲ行テ、ソレガ水源ノ涵養ニナル、闊葉樹
ヲ捨テ、置イテ、町ニ近イ麓ノ方ニ針葉樹
林バカリ植エテモ何ニモナラナイ、其闊葉
樹林ヲ改造スル上ニ於テハ、保護ノコトハ
言ハナイデモヤツテ居リマセウガ、是ハ林業

ノ實際ニ當ルベキ者ニ對シテハ、特ニ低利
資金ノ如キモノヲ融通スルコトモ一ツノ案
ダラウト思フ、或ハ今申ス通り鐵道ガ特ニ
林業ノ爲ニ割引スルコト云フコトニナツテ、
初メテ此關稅問題ト相俟テ森林事業ガ振
興スルノデアアル、然ルニ此鐵道ハドウデ
アルカト云フト、益々鐵道ガ收入ノ不足ヲ感ジ
ヤシナイカト云フ觀ガアル、ソレハドウカ
ト云フト、間ク所ニ依レバ更に本年モ現政
府ハ新線ノ追加ヲシテ、鐵道ノ延長ヲ圖
ツテ居ル、延長ヲ圖ルコトハ結構デアリマス
ケレドモ、是ガ爲ニ鐵道ノ收入ヲ減ズレバ、
運賃ノ引下ト云フコトハ追々不可能ニナリ
ハシナイカト思フ、此場合ニ政府ハ林業ヲ
保護スルコト云フナラバ、一層ノコトニ鐵道
運賃ヲ森林事業ニ限ツテ、特ニ引下ヲナサ
ル御考ガアルカドウカ、ソレカラモウツ
ハ工業關係ヲ幸ヒ御出デニナツタカラ商工
省ノ方ニ御伺ヒタイ、一體我國ハ原料ニ乏
シイノデアリマスカラ、ドウシテモ原料ハ
海外カラ輸入シナケレバナラス、木材ノ如
キモノモ原料トシテハ、内地ニ於テ相當供
給ノ途ガ開ケルト致シマシテモ、更に必要
ヲ感ジテ居ル譯ダラウト思フ、處ガ今日ハ
此原料デナクシテ加工品ガ盛ニ輸入セラレ
テ居ル、最も甚シイモノニナルト、楊子カ
ラ燒寸ノ軸マデ海外カラ輸入シテ居ル、嘘
ト思フナラアノ食堂ニ御出デニナツテ御覽
ナサイ、彼處ニハ海外カラ來タ軸木ガアリ
マス、サウ云フ風ナ工合デアリマスカラ、
原料ヲ入レテ工業ヲ發達セシムルト云フコ
トガ必要デアアル、工業ヲ保護シナケレバナ
ラ、處ガ今日ノ此關稅改正案ヲ見マスルト、
原料品ニ課稅ヲシテ居ルト共ニ、更に製成品
ニモ課稅ヲ致シテ居リマスガ、其製品ニ對
スル課稅ノ率ガ少クテ、原料品ニ對シテハ
比較的厚ク課稅シタト云フコトハ、將來工
業上ニ非常ナル影響ヲ及ボスモノデアアル、
假ニ現在ノ有様カラ申シマシテモ、内地デ
外國ノ原料材ヲ以テ製造シテ居ル事業ニ從
事シテ居ル人ハドノ位アルカト云フト、大
阪（名古屋若クハ神戸、横濱、東京等ニ於テ
ハ、殆ド一万人以上ノ職工ガ之ニ從事シテ

居ル、然ルニ原料材ニ對スル課稅ガ餘計ニナリ、製品ノ方ハ課稅ガ低イト云フコトニナルト、益、製品ヲ以テ輸入スルコト云フヤウナ傾向ヲ生ズル、サウスレバ折角ノ此政府ノ森林保護ノ目的ノ上ニモ、障害ヲ起シ、更ニ又失業業者ヲ生ズルト云フコトニナルガ、是甚ダ憂フベキ現象デハナイカ、兎ニ角先ニ社會政策上云フ御話ガ出マシタガ、凡ソ政治ノ上ニ於テ、社會政策ヲ加味セザルモノハアリマセヌ、然ルニ多クノ失業勞働者ヲ生ズルト云フコトハ憂フベキコトデアアル、日本ハ原料ニ乏シイ國デアアルカラ、原料ヲ安ク供給シテ、サウシテ之ニ加工シテ、其加工スルト云フコトガ要スルニ勞働者ニ生活ノ資料ヲ與ヘル基ニナルデアアリマス、ソレニ原料ヲ與ヘナケレバ、ソレニ從事シテ居ル所ノ無產階級ハ生活ノ資料ヲ失フテ、失業致ス結果ニナリハシナイカト思フ、此點ニ付テ政府當局ノ御考ハドウデアアルカ、但シ未ダ此案ハ今日此處ニ提出セラレタカリデ、私モマダ内容ヲ能ク見マセヌガ、多少之ニ付テ其點ヲ御考慮ニナシテ、所謂改善ヲナサル御考ガアリマスカドウカ、此點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

〔政府委員東武君登壇〕

○政府委員(東武君) 時間モ段々切迫致シマスノデ、極ク簡單ニ御答ヲ致シマス、太田サンノ關葉樹ノ保護ヲスルコトガ必要デハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ勿論サウデアアル、内地ノ森林ハ國有林ハ大抵舊營タル美林デアリマスガ、民有林ノ三百萬町歩ト云フモノハ、殆ド關葉樹帶ノ無立木地デアアル、サウ云フヤウナ所デアリマスカラシテ、是等ニ向テハ先程申上ダテ助成方法ニ依テ植栽ヲシ、各種ノ天然更新アリシ、其他種々ノ方法ヲ執テ居ルノデアリマス、矢張此針葉樹ト同時ニ關葉樹ノ保護ヲ致スト云フコトハ當然デアリマス、南洋材ニ付テハハ最近輸入ガ現レテ參ッタノデアリマスガ、是モ多少内地ノ森林ニ影響スルノデアリマスガ、併シ此稅率ニ付テハ今漸ク調査ヲ致シテ居ル、ドノヤウナ狀況デアアルカト云フコトニ付キ、又ドノ位

ノ關稅ヲ課シテ適當デアアルカト云フヤウナコトハ、今調査致シテ居ルノデアリマス、此次ニ或ハ提案ヲスルコトニナルカモ知レマセヌ、ソレカラ原料品ヲ成ベク安クシテ製品ノ課稅ヲ高クスル、サウ致サナケレバ内地ノ製材業者ト云フモノガ、非常ナ窮地ニ陥ルト云フコトデアリマスガ、是モ立案ノ當時ニハ非常ニ考慮ヲ拂ッテ居ル、今ノ改正稅率ト現行稅率ニ依リマスルモノトヲ比較致シマスルト、其差額ガ、現行稅率デ板類ハ每立方方三圓十錢デ、一石當リガ八十六錢一厘デアアルガ、丸太材ハ無稅デアアル、其差額ガ三圓十錢一厘、一石當リ八十六錢一厘、之ヲ此改正稅ト現行稅トヲ比ベマスルト、改正稅率ハ每立方方六圓二十五錢デ、一石當リ一圓七十三錢、丸太ノ方ガ每立方方三圓三十錢、一石當リ九十一錢七厘、此兩者ノ差額ヲ見マスルト云フト、每立方方尺ニ付二圓九十五錢デ、一石當リ八十二錢ノ差アル、ソコデ現行稅ト改正稅率ヲ比較スルト云フト、其開キハ每立方方尺ガ十五錢、石當リ一圓四錢、製板ニシテ來タモノト丸太ニ對スル開キノ差ハ、日本ノ石ニ直スト、一石ニ付キ四錢弱デ、何等變フ程ノコトハ無イ、是ハ十分吾々ガ立案當時ニ考慮ヲ致シタノデアアル、ソレカラシテ社會政策ト稱シテ、勞働者ガ一万人以上モ居リマシテ、是等ガ職ヲ失フヤウナコトガアッテハナラヌト云フ御話デアリマスガ、是等ハ十分研究考慮ノ中ニ入レマシテ、内地ノ製板業者モ山林業者モ、是ナラバト云フ適當ノ稅率ヲ考ヘテ賦課致スコトニ致シタノデアリマス、又モウ一ツノ御尋ハ、大キナモノニ此稅ヲ課スルノハイカヌデアリマスカト云フヤウナ御尋モアリマシタ、所謂原料材デアリマスガ、非常ナ長尺ノモノニ向テハ、無稅ニナッテ居リマス

〔政府委員大口喜太君登壇〕

○政府委員(大口喜太君) 大藏省ノ管轄ニ屬シマスル部分ニ付キマシテ御答申上ダタイト思ヒマス、此關稅ノ改正ハ收入ヲ目的ト致シタモノデハナイ、即チ先ヅ收入ヲ考ヘマシテ、然ル後ニ此關稅ノ改正ヲ計畫

致シタモノデナイト云フコトヲ申上ダテ置キタイト思ヒマス、隨テ御説ノ如ク毎年毎年幾ラカツ、關稅ガ減ッテ參ルト云フコトハ、是ハ認メネバナラヌト思ヒマス、ソレ故ニ此計算ノ中ニハ、毎年々々木材ノ輸入ガ減ルト云フコトヲ見積リマシテ、積算致シテアルト云フコトヲ申上ダテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ何故ニ此木材ヲ選シカト云フコトデアリマスガ、是ハ先刻來申上ダデアリマス通り、第五十一議會ニ於キマシテ、衆議院ニ於テ希望ガアリマシタノデ、其希望ニ依リマシテ、段々調査ヲ進メタノデアリマス、當時ノ希望ハ太田君モ御承知ノ通り、此木材ノ關稅ハ上ダナクテハナラナイト云フ議論ガ大分アリマスガ、之ヲ決スルコトヲ關稅委員會ニ委ネラレタヤウナ形ニナッテ居リマスノデ、何トカ之ヲ決定セネバナラヌト云フノデ、大第二研究ヲ致シマシテ、一面ニ於キマシテ、先刻來大藏、農林兩大臣カラ申シマシタ通りナ理由ニ依テ此改正ヲ計畫致シタモノデアリマスガ、併シ一面ニ於キマシテハ、國民ノ生活上ニ對シテモ、相當ニ考慮ヲ致サネバナラヌト云フノデ、範圍並ニ此稅率ト云フモノニ重キヲ置キマシテ、調査研究ノ結果確定ヲ致シマシテ、是ガ最も當時ニ於テ適當ノモノナリト信ジタ次第デアリマスカラ、右様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○副議長(清瀬一郎君) 以上ヲ以テ質疑應答ハ終リマシタ、日程第三、右各案ノ審議ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ供シマス

第三 右各案ノ審議ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 本案ヲ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第四、絲價安定融資補償法案ノ第一讀會ノ續

ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

委員長生田和平君

第四 絲價安定融資補償法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一絲價安定融資補償法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十五日

委員長 生田 和平

衆議院議長元田肇殿

〔生田和平君登壇〕

○生田和平君 只今議題ニ供セラレマシタ絲價安定融資補償法案ノ委員會ノ經過並結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ去ル十四日ヨリ二十五日マデ前後六回開イタノデアリマスガ、本案ハ今期議會ニ於ケル重要法案ノ一ツデアリマス、生絲ハ我國貿易ノ首位ヲ占メ、其盛衰ハ直ニ國民經濟ニ影響スル所ノ重大問題デアリマスカラ、政府當局ハ固ヨリ、委員諸君ニ於ケレテモ、非常ナル熱心ト努力ヲ拂ハレテ、質問應答ヲ重ネラレタノデアリマス、委員會ニ於ケル政府ノ説明ハ、大體ニ本會議ニ於ケル説明ヲ詳述セラレタノデアリマスガ、其大要ヲ申上ダマスレバ、本邦蠶絲業ガ對内的ニモ對外的ニモ頗ル重要ナル地位ヲ有スルニ拘リマセズ、其内容ニ至リテハ幾多ノ缺陷ガアルノデアリマス、斯業ノ基礎ガ未ダ鞏固ヲ缺イテ居ルノデアリマスカラ、殊ニ人造絹絲ノ發達ニ鑑ミマシテ、絲價ノ著シキ變動ニ遭遇シマスレバ、勢ヒ危殆ニ瀕スルノ虞ガアルノデアリマス、此故ニ斯業ノ根本ノ改善ヲ達成セシムル爲ニ、暫定の特別ノ施設トシテ、本案ノ必要ナルコトヲ力説セラレタノデアリマス、此法案ノ骨子ハ非常應急ノ施設トシテ、金融機關ノ製絲業者ノ爲ニスル資金ノ融通ニ對シ、三千万圓ヲ限度トシテ損失補償ヲ爲スノ途ヲ講ズルト云フ點デアリマス、委員會ニ於ケル質問應答ノ要點ヲ申上ダレバ、即チ此補償法ノ精神ガ製絲家ヲ救フト云フコトガ中心ニナッテ、善鄰家ニ對シ

テハ其利益ヲ受ケルコトガ出來ナイノデハ
ナイカト問ニ對シ、政府ハ此法案ガ直接ニ
養蠶家ヲ救フコトハ、組合製絲位ノ範圍ニ止
マリマスケレドモ、間接ニハ幾多ノ利益ヲ
與フルコトニナルノデアリト答辯デアリ
マシタ、次ニ生絲ノ異常ナル低落ニ際シマ
シテ、當業者ガ投資又ハ賣崩シ等ヲ爲ス場
合ニ、之ヲ防止スル爲ニ強制的ニ此法律ヲ
適用スルノデアリト問ニ對シ、尙ホ
大正十五年及昭和二年ノ暴落ノ場合ノ如
キ、當業者ノ協力ニ依リテ傳家ノ實力ヲ
拔クノデアリト云フ問ガアリマシタ、
前者ニ對シマシテハ、政府ハ此法律ヲ強制
シナイコト、後者ニ對シマシテハ、當業者
ノ協力ニ依ル場合ノ外ハ、生絲相場ガ不
然ナル狀況ヲ呈シ、當業者ガ非常ナル困難
ニ陥リマシタ場合ニハ、此法律ヲ適用スル
ノデアリト云フコトヲ述ベラレタノデアリ
マス、次ニハ金解禁ト本法トノ關係、金解
禁ト蠶絲業トノ關係、此二ツノ問題ニ付キ
マシテ、小山松壽君外數氏ヨリ熱心ナル質
問ガアッタノデアリマスガ、政府ノ答辯ハ、
一ニ對シテハ本案ハ金解禁ト最初カラ關聯
シテ此法案ヲ作テ譯デハナイ、隨テ此法律
ヲ適用スル場合ハ、金解禁ト其他ノ場合ト
ヲ決シテ論ジナイノデアリ、斯ウ云フコト
デアッタノデス、二ニ對シマシテハ、政府ハ
十分ニ研究モ致シ、考慮モ拂フテ居ルノデア
リマスガ、金解禁ガ蠶絲業ニ影響ヲ與フル
コトガ、最も少イ時期ヲ選ビタイト思フテ居
ルトノ答辯デアリマシタ、次ニ本案ヲ適
用スルニ當リマシテ、實際問題トシテ、絲
價ガ生産費ヲ割リタ場合ニハ、此法律ヲ適用
スルノデアリト云フ御問ガアリマシタニ
對シ、政府ハ生産費ヲ割リサヘスレバ、直
ニ本法ガ出動スルト云フ譯デハナク、蠶絲
業ノ基礎ガ甚ダ危クナッタ見タ時ニ、絲價
委員會ノ議ニ付シテ、生キタ判斷ニ依テ行
フノデアリ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、
木材關稅ト本法トノ關係ニ於キマシテ、小
山松壽君ヨリ商工大臣並大藏、外務ノ政務
次官ヲ特ニ出席ヲ求メ、木材關稅ト本法ト
ノ關係ニ付テ、質問ヲセラレタノデアリマ

ス、小山君ハ米國排日ノ巨頭「ジョンソン」
氏ノ昭和二年三月十日「ステートメント」
ヲ引用セラレマシテ、日本ガ木材關稅ヲ引
上ゲテ挑戰ノ態度ニ出ヅルナラバ、米國ハ
日本ヨリ輸入スル生絲ニ對シ、報復ノ重稅ヲ
課スノ虞ナキカトノ質問ガアリマシタ、政
府ハ米國新大統領就任後關稅ノコトハ固ヨ
リ問題ニナルデアラウト思フノデアリマス
ルガ、現今ノ米國ノ輿論ニ見マシテモ、木材
關稅ノ爲ニ生絲ガ報復ノ手段ニ用ヒラレル
ヤウナコトハ、全然ナイト云フ考ヲ持ッテ居
ルト、斯ウ云フ風ナ答辯デアッタノデアリマ
ス、岡崎委員ヨリ多年抱懷セル經綸トモ云
フベキ御演說ガアッタノデアリマス、即チ絲
價維持ノ必要、人造絹絲論、販賣擴張政策、
乾餾倉庫増設論等、幾多ノ項目ニ互ル國
務大臣トノ間ニ意見ノ交換ガアッタノデア
リマスルガ、此場面ノ狀況ヲ申上ゲマスレ
バ、農林大臣ハ、岡崎君ヨリハ今日ノ答辯ハ要
領ヲ得テ嬉シク思フトカ、根本的ニ政策ヲ
樹直セバ此絲價安定モ必ズ安定スルトカ、
兩者ノ間ニハ非常ニ和氣霽々タル狀況ガ見
ヘタノデアリマス、以上ハ委員會ニ於ケル
大要デアリマスガ、詳シイコトハ速記録ヲ
御覽ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、討論
ニ至ル迄ハ民政黨ノ態度ハ原案ニ反對ヲス
ルカシナイカト云フコトガ不明デアッタノ
デアリマスルガ、最後ノ討論ノ際ハ、民政
黨ハ遂ニ賛否ヲ保留セラレマシタ、政友會
ノ委員、新黨ノ小野君、第一控室ノ小山君
ノ賛成ニ依リマシテ、多數ヲ以テ政府提出
原案通りニ決シマシタ次第デアリマス、此
段簡單ニ御報告致シマス（拍手）
○副議長（清瀬一郎君） 質疑ノ通告ガアリ
マス、之ヲ許シマス——千葉三郎君
（千葉三郎君登壇）
○千葉三郎君 私人本法案ニ付キマシテ、
極ク簡單ニ農林當局ニ質疑ヲ試ミタイノデ
ゴザイマス、本法案ノ趣旨トスル所ハ、製
絲業者ニ融通スル所ノ銀行、生絲關屋並ニ
帝蠶會社ノ如キモノヲ救済スルノガ本法案
ノ骨子デアラウト思フノデアリマスルガ、

其理由ト致シマシテ、製絲業者ハ輸出貿易
上重大ナル關係ヲ有スルカラ、此製絲業者
ヲ救済スルト云フコトニ相成ッテ居ルノデ
アリマスルガ、若シ農林當局ノ御考ヘ遊バ
スガ如ク、此製絲業者ガ貿易上重要物産デ
アルガ爲ニ、斯ル莫大ナル三千萬圓ノ金ヲ
以テ救済スルト云フノデアラナラバ、將來
重要物産デアルト所ノ、例ヘバ綿絲デアル
カ、其他ノモノガ一旦悲境ニ陥ッタ場合ニ
於テ、之ヲモ救済スルヤウニ相成ルコトデ
アラウト思フノデアリマス、若シ斯ウシタ
モノヲ救済スルヤウニナリマシタナラバ、
我國ノ財政ニ於キマシテハ、如何ニシテモ
是等ヲ救済スルノ財源ガナイ、而シテ私ハ
國家財政ノ基礎ヲ危ウスルニ至ルカモ知レ
ヌト思フノデアリマス、現ニ此委員會ニ於
キマシテハ、之ニ關聯致シマシテ養蠶業者
ヲ救済シナケレバナラヌト云フ御議論ガ
アッタヤウニ只今承テタノデアリマスルガ、
製絲業者モ救済スルノデアラナラバ、當然
養蠶業者モ救済シナケレバナラナイト云フ
コトハ當然デアリマシテ、愈々今後ハ斯ル業
務ニ從事スル人ガ、農林當局ノ救済ヲ求ム
ルヤウニ相成ルダラウト思フノデアリマ
ス、其爲ニ一製絲業者ヲ助ケルガ爲ニ斯ル
先例ヲ開キマシタル以上ハ、將來日本ノ財
政ノ基礎ヲ危ウスルニ至ルモノダラウト私
ハ思フノデアリマスルガ、右ニ對スル農林
當局ノ御意見ヲ先ヅ承リタイノデアリマ
ス、第二ニ御伺シタイコトハ、農林當局ハ
動モスレバ救済々々ト云フコトヲ口ニスル
デアリマスルガ、我國ノ産業ヲ完全ニ發達
スルガ爲ニハ、此救済ト云フコトヲ止メナ
ケレバ私ハ發達ハ出來ナイト思フノデアリ
マス、即チ我國ノ多クノ企業者ハ、唯政府
ニ依頼心ノミヲ以テ居ルノデアリマス、自
分ノ事業ガ經營宜シキヲ得ザル爲ニ、其事
業ニ損失ヲ來シマスルト、恰モ外部ニ向ッテ
ハ其損失ガ天變地變ナルガ如ク吹聴致シマ
シテ、以テ政府ノ救済ヲ求メルノデアリマ
ス、其結果産業ガ悉ク萎微シテ振ハナイト
云フヤウナ狀態ニ陥ルノデアリマスルガ、
農林當局ハ我國ノ産業ヲ指導スル地位ニア

ルノデアリマスルカラシテ、將來我國ノ産
業ヲ發達スルガ爲ニ、救済若クハ助長、補
助金ト云フヤウナコトヲ更ニスル所ノ意思
ガアルヤ否ヤ、即チ救済スルコトニ依テ我
國ノ産業ヲ發達スルコトノ御見込デアルカ
ドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマ
ス、第三ニ御伺シタイコトハ、此法案ニ依
テ救済セントスル所ノ製絲業者ノ狀態デア
リマスルガ、其製絲業者ハ現在ノ農民ヨリ
相當ノ利益ヲ得マシテ滿ヲ買ヒ、即チ大
正七八年ノ如キ好景氣時代ニ於キマシテ
ハ、彼等ハ莫大ナル利益ヲ得マシタ、サウ
シテ自己ノ懷中ヲ肥シテ居ルノデアリマ
ス、即チ儲ケタ時ニハ彼等ハ資本主義トナ
リマシテ、自分ノ懷中ヲ肥シ、一旦自分ノ
經營宜シキヲ得ザル爲ニ損害ヲ被ッタ場合
ニハ、彼等ハ忽チニ豹變致シマシテ社會主
義トナリ、サウシテ其ノ損失ヲ國民ノ負擔
ニ歸セシメントスルノデアリマス、故ニ私
共ハ斯ウシタ製絲業者ヲ救済スルコトハ、
我國ノ政治道德、國民道德ヨリ見テ、其將
來ヲ危ムモノデアリマスルガ、農林大臣ノ
山本サンハ社會主義的ノ人デハナイト私ハ
確信シテ居ルノデアリマスルガ、現在此法
案ヲ提出シテ理由カラ考ヘテ見マシタナラ
バ、農林大臣ハ社會主義的理論ヲ御實行遊
バス意思デアリナイカト思フノデアリマス、
即チ此點ニ付キマシテ、私ハ第三ニ御伺シ
タイノデアリマス、第四ニ御伺致シタイコ
トハ、此法案ハ將來ノ損失ヲ補償スルガ爲
ニ設ケテアルヤウニ私拜讀シタノデアリマ
スルガ、現在製絲業者ハ既ニ二千數百萬圓
ノ缺損ヲ生ジテ居ルサウデアリマス、若シ
將來政府ガ製絲業者ニ對シマシテ補償ヲ與
フル時ニ於キマシテ、帳簿ヲ誤魔化シテ、
損失ヲ銀行ト通謀シ、帳簿ヲ誤魔化シテ、
將來ノ損失ニ之ヲ記載スル如キコトナキヤ
ドウカト云フコトヲ怪シテ居ルノデアリマ
ス、若シ製絲業者ニシテ帳簿ヲ誤魔化シ、
過去ノ損失ヲ將來ノ損失ト記載スルヤウナ
コトガアッタ場合ニ於キマシテハ、農林當局
ハ如何ナル措置ヲ之ニ對シテ御執リ遊バス
ノデアルカ、即チ刑法ノミニ其制裁ヲ一任

スルノデアアルカ、商法、刑法以外ニ於テ何カ特別法ヲ出ス御意思ガアルカドウカト云フコトヲ承テ置キタイノデアリマス、更ニ第五點ト致シマシテ、最モ必要ナルコトハ此三千万圓ト云フヤウナ大キナ金ヲ以テ損失補償ヲスルノデアリマスルカ、此實行方法ノ監督ニ付キマシテハ、嚴重ナル監督ヲシナケレバナラナイと思フデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ私ハ本法案ノ第一條ニ依リマスルト、損失ニ付キ補償スルノ契約ヲ爲スコトガアルト云フ以上ハ、會計検査院法ノ第十三條、即チ政府ノ補助金若クハ特別補償ト云フ文句ガアリマスルカラ、其文字ニ該當スルモノデアリト思フデアリマス、故ニ此金ヲ貸出シタル先キニ對シマシテハ、正シク會計検査院ガ検査ヲスベキモノデアラウト思フデアリマス、

ウカ、之ヲモ合セテ承リタイノデアリマス、右ハ簡單デゴザイマスルカラ、成ルベクハキリ御答辯ヲ御願シタイノデアリマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 東農林政務次官

(政府委員東武君登壇)

○政府委員(東武君) 御答辯致シマス、製絲業者ノ救済デハナイカ、此補償法案ハ製絲業者ノ救済デハナイカ、同時ニ養蠶業者ハ如何ニスルノデアアルカト云フ御議論デアリマス、是ハ委員會ニ於テモ屢々質問ハアタノデ、詳細ニ答辯ヲ致シ居ルノデアリマスルガ、若シ速記録ヲ御覽下サラバ明瞭致スノデアリマス、此補償法案ノ立法ノ趣意ハ、我が蠶絲業ハ申スマデモナク輸出ノ大宗デアリマス、此製絲業、輸出業ト云フモノニ對シテ、非常ニ變化ヲ來シ、或ハ暴落ヲスルト云フヤウナ事ガアリマシタ時ニハ、我が國家ノ經濟ヲ根本的ニ攪亂ヲスル虞ガアルノデアリマス、從來ノ例ヲ見マシテモ、大正三年大隈内閣當時、或ハ又大正九年原内閣當時、或ハ昭和二年度ト云フヤウナ風ニ、大キナ波ガ三年カ五年ニハ必ズ來ルノデアリマス、小サナ波ハ始終アルノデアリマスルガ、兎ニ角現下ノ狀況カラ見マスルト云フド、極メテ此不安ノ狀態ガナイトモ言ハレナイ、ソレデ最初此立案ヲスル時分ニハ、蠶絲委員會ニ於テ各權威者ガ集テ種々ナ方法ヲ研究致シテ、昨年中此點ニ付キ研究ヲ致シタルデアリマシタガ、矢張最後ニ此補償法案ガ最モ適切デアリ、有効適切デアリ、若シ國家ガ是ニ援助ヲ拵ヘテ、サウシテ官民一致ノ一ツノ有力ナル會社デモ拵ヘタラドウデアアルカト云フヤウナコトガ一番最初ノ議論デアッタ、併ナガラ是等ノ各方面ヲ考慮致シマシテ、或ハ亞米利加ノ關係ヲ考慮シ、種々ナル方面ヨリ考慮致シマシテ、結局此補償法案ノ如ク三千万圓ヲ今後五箇年間、若シ非常ニ變動ガアル場合ニハ、國家ガ其損失ノ補償ノ責ニ任ズルト云フコトニ決定シタルデアリマス、此蠶絲界ノ狀況ヲ見マスルト不時ニ低落ス

ル、或ハ蠶絲業ノ基礎ヲ危クスルト云フヤウナ場合ヲ想像致シマスル、從來トモ大抵ハ金融關係デ主デアアル、此金融ニ依テ非常ナル投資ガ行ハレルト云フヤウナ事ノ爲ニ、此絲價ノ暴落ヲ來スト云フコトガ屢々アルノデアリマスルカ、此金融サヘ付ケレバ、力サヘ付ケレバ或程度ノ絲價ニ維持ガ出來ルト云フコトニ結論ガ一致致シマシテ、此補償法案ガ立案サレタルデアリマシテ、是ハ決シテ此生絲業者ヲ救済スルノデアリマス、非常ニ場合ニ對シテ補償ヲスルト云フノデアッテ、今困ッテ居ルカラシテ、現實ニ困ッテ居リマセヌ、全ク輸出上ノ狀態カラ致シマシテ、我國家ノ狀況カラ考ヘテ此案ハ立案致シタモノデアリマス、次ニ若モ斯様ナ補償法案ヲ當時ニ於テ立案ヲ致シテ置カケレバナラヌト云フコトデアアルナラバ、此經濟界ノ變動等ニ依テ、斯様ナモノガ他ノ種類ニモ起ル場合ガナイトモ限ラヌガ、ソレニ對シテハドウスル考デアアルカト云フ事デアリマシタガ、是ハ物ニ依ルト考ヘマス、若シ生絲業ノ如キ國家ノ重要ナル産業ガ破壊サレルト云フヤウナモノガ他ニモアッタ場合ニハ、或ハ此補償法案ノヤウナモノニ依テ國家ノ財政ヲ緩和シ、國民ノ生活ヲ安定セシムルト云フコトニ必要ナル場合ガアルカモ知レマセヌ、併シソレハ物ト事實ニ依ラナケレバ茲ニ判斷ハ出來ナイト考ヘテ居リマス、第三點ニ此生絲業者ナドハ何時モ依頼バカリ致シテ居ルデハナイカ、國家ニ依頼ヲシテ自分等ノ商賣ヲスルト云フコトハ甚ダ誤ッタル觀念デハナイカ、是ハ一應御尤デアリマス、御尤デアリマスガ、我蠶絲界ノ狀態ハ何分今日ハ多少整理ヲシ、統制ヲシ、改善ヲスル必要ガアリヤウト言ッテモ、差當リサウ直ニ實效ヲ奏スルモノデハナイト考ヘマス、故ニ此點ハ吾々モ此法案ヲ立案スル時ニ、國家ニ依頼ヲスルト云フノミデハ、此補償法案ト云フモノハ貴衆兩院ヲ通過スルコト甚ダ困難デアアル、故ニ蠶絲業者、當業者ガ自治的自

發的ノ觀念ヲ茲ニ明白ナラシムルニ非ラズンバ、此補償法案ヲ提案スルコトハ出來ヌト云フコトヲ有力ニ私共ハ論ジタ、ソコデ當業者ニ於テハ千斤ニ付テ二十五圓宛ノ積立ヲスルト云フコトニナッテ居ル、此補償法案ヲ貴衆兩院ニ提案スル場合ニハ、自發的ニ自分等ガ努力シテ、自分等ノ力デ今後或ル時期ニハ國家ノ御世話ニナラヌト云フダケノ決心ヲ持ツニ非ズンバ、此提案ヲ爲スコトハ出來ヌト云フコトデ、千斤ニ付テ二十五圓ノ積立ヲスルト云フコトハ、大分苦心ヲ致シタルデアリマスガ、全國的ニ是ハ矢張結合ガ出來タルデアリマス、之ガ十箇年經ツト約三千万圓ト云フモノニナルノデアアル、此法案ハ五箇年ヲ一期ト致シテ居リマスガ、已ムヲ得ズンバ十箇年ヲ一期トスルト云フヤウナ考モ致シテ居リマス、故ニ此十年間ニ三千万圓位ノ積立ヲ致シ、又帝蠶株式會社ノ積立モ大分アルノデアリマス、是等ヲ總テ合セテ三千万圓程度ノ積立ヲ致シテ自發的ニ國家ノ御世話ニ何時迄モナラヌト云フコトノ意思ヲ明ニ表明スルト云フ案ヲ立案シ提出致シタルコトニナッテ居ル、全然此蠶絲業者ニ初メカラ自治的ノ觀念ヲ養成セズシテ、斯様ナモノヲ作ッタト云フコトデハナイノデアリマス、第四ニハ將來ノ損失補償ヲスル案デアアルガ、生絲業者ハ相當ニ手傷ヲ多ク受ケテ居ル、故ニ救済ナドモ澤山アルノデアアルカラ、此金融ヲスレバ救済ト混淆ヲ致シテ、古傷迄モ此補償法案ニ依テ救済スルヤウニナル虞ハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ全然アリマセヌ、若シ金融ヲスル場合ニハ、確實ニ生絲ヲ擔保ニシテ銀行ニ供スルモノニ非ズンバ金融ヲ致サナイノデアアル、故ニ救済ナドニ對シテ全然金融ヲスル筋デハナイノデアリマスルカ、其點ハ御心配ハナイコト、考ヘテ居リマス、監督上ノ點ハドウデアアルカト云フハ、是ハ極メテ國家ニ重大ナル責任ノ來ルコトデアリマスルカ、極メテ嚴肅ナ監督ヲシナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、故ニ此點ニ付テハ、特ニ絲價委員會

發的ノ觀念ヲ茲ニ明白ナラシムルニ非ラズンバ、此補償法案ヲ提案スルコトハ出來ヌト云フコトヲ有力ニ私共ハ論ジタ、ソコデ當業者ニ於テハ千斤ニ付テ二十五圓宛ノ積立ヲスルト云フコトニナッテ居ル、此補償法案ヲ貴衆兩院ニ提案スル場合ニハ、自發的ニ自分等ガ努力シテ、自分等ノ力デ今後或ル時期ニハ國家ノ御世話ニナラヌト云フダケノ決心ヲ持ツニ非ズンバ、此提案ヲ爲スコトハ出來ヌト云フコトデ、千斤ニ付テ二十五圓ノ積立ヲスルト云フコトハ、大分苦心ヲ致シタルデアリマスガ、全國的ニ是ハ矢張結合ガ出來タルデアリマス、之ガ十箇年經ツト約三千万圓ト云フモノニナルノデアアル、此法案ハ五箇年ヲ一期ト致シテ居リマスガ、已ムヲ得ズンバ十箇年ヲ一期トスルト云フヤウナ考モ致シテ居リマス、故ニ此十年間ニ三千万圓位ノ積立ヲ致シ、又帝蠶株式會社ノ積立モ大分アルノデアリマス、是等ヲ總テ合セテ三千万圓程度ノ積立ヲ致シテ自發的ニ國家ノ御世話ニ何時迄モナラヌト云フコトノ意思ヲ明ニ表明スルト云フ案ヲ立案シ提出致シタルコトニナッテ居ル、全然此蠶絲業者ニ初メカラ自治的ノ觀念ヲ養成セズシテ、斯様ナモノヲ作ッタト云フコトデハナイノデアリマス、第四ニハ將來ノ損失補償ヲスル案デアアルガ、生絲業者ハ相當ニ手傷ヲ多ク受ケテ居ル、故ニ救済ナドモ澤山アルノデアアルカラ、此金融ヲスレバ救済ト混淆ヲ致シテ、古傷迄モ此補償法案ニ依テ救済スルヤウニナル虞ハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、是ハ全然アリマセヌ、若シ金融ヲスル場合ニハ、確實ニ生絲ヲ擔保ニシテ銀行ニ供スルモノニ非ズンバ金融ヲ致サナイノデアアル、故ニ救済ナドニ對シテ全然金融ヲスル筋デハナイノデアリマスルカ、其點ハ御心配ハナイコト、考ヘテ居リマス、監督上ノ點ハドウデアアルカト云フハ、是ハ極メテ國家ニ重大ナル責任ノ來ルコトデアリマスルカ、極メテ嚴肅ナ監督ヲシナケレバナラヌコトハ勿論デアリマス、故ニ此點ニ付テハ、特ニ絲價委員會

ナルモノヲ設ケ、絲價委員會ハ朝野練達ノ士ヲ集メテ組織スルコトニ決シテ居ルノデアリマス、御尋ノ會計検査院部長ノ如キハ今考慮中デアリマス、極メテ公平無私ヲ練達ノ士ヲ選ンデ此委員會ハ組織シタイト考ヘテ居リマス、同時ニ損失補償ヲスル場合ノ損失ノ決定ニ對シテハ、補償審査會ナルモノヲ設ケテ積リデアリマス、是ハ丁度日本銀行ノ特別融通ノ審査會ト同様ノ審査會ヲ設ケマシテ、之ニ依テ損失ヲ初メテ決定スル、極メテ公平ナル方針ヲ執ル積リデアリテ、監督其他ノ點ニ付テハ、極メテ合理的ノ且嚴肅ナル方針ヲ執ル考ヲ持テ居リマス、是ガ御答ヲ致シマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 大口大藏政務次官〔政府委員大口喜六君登壇〕

○政府委員(大口喜六君) 先刻千葉君ノ大藏當局ニ向テノ御尋ハ、此法案ニ依テ銀行ガ政府ノ補償ヲ受ケタ場合ニ於ケル會計検査院法第十三條トノ關係デアルト承知致シマシタガ、是ハドウモ私共今調ベタ所デアリ前例ガ之ニ比シテ合フモノガナイヤウデアリマス、隨テ會計検査院ガドウ解釋致シマスカハ此處デ明言ハ出來マセヌガ、政府ノ解釋致シテ居リマス所デアハ、其當該取引ニ屬シマス決算ニ付キマシテハ、無論検査ヲ要スルモノデアルト解釋致シテ居リマス、是ガ御答致シマス

○千葉三郎君 簡單デゴザイマスカラ自席カラ……

○副議長(清瀬一郎君) 許可致シマス

○千葉三郎君 只今農林當局ノ御答辯ヲ承テノデアリマスガ、私ハ之ニ關シマシテ非常ニ不満足ヲ感ジテ居ルノデアリマス、併シ是以上質問ヲ致シマシテモ多クハ意見ノ相違トナリマスノデ、質問ハ申上ダマセヌガ、唯私共ハ斯ル法案ニ對シマシテ主義トシテ反對ヲ致スト云フ立場ヲ明ニ致シテ置ク次第デアリマス

○副議長(清瀬一郎君) 質疑應答ハ終リマシタ、討論ニ入リマス、村上國吉君

○村上國吉君登壇

○村上國吉君 茲ニ只今上程セラレテ居リ

マス所ノ絲價安定融資補償法案ハ我國ノ産業及經濟上ニ極メテ大切ナル位置ヲ占ムル所ノ蠶絲業ノ將來ニ相當重要ナル關係ヲ有ツ案件デアルト認メマシタカラ、我黨ニ於キマシテハ最も慎重ニ熟慮ヲ重ネ審議ヲ盡シマシタ結果、遺憾ナガラ本案ニ反對スルコトニ決定致シマシタノデ、私ハ我黨ヲ代表致シマシテ其理由ト我黨ノ意ノ在ル所ヲ申述ベントスルモノデアリマス、尤モ我黨ニ於キマシテハ、絲價ノ安定ト云フ本法制定ノ根本趣旨ノ存スル點ニ付キマシテハ、之ヲ諒ト致シマスガ、併ナガラ我黨ハ我國ノ最重要産業デアリマス所ノ蠶絲業ノ將來ニ對シテ、此法案ノ如キ暫定的ナ一時の對策ヲ試ミルヨリハ、ヨリ完全ナル而シテ又ヨリ徹底シタル所ノ根本策ヲ樹立スルコトガ、今日ノ急務デアルト存ズルノデアリマス(拍手)其根本方策ニ付キマシテハ、我黨ニ強キ主張ガアリマス、又其主張ハ必ズ之ヲ實現スベキ確信ヲ有シテ居ルモノデアリマスルカラ、此確信ヲ骨子ト致シマシタル時ニ、本案ニ反對スルニ至ッタ次第デアリノデアリマス、吾々ノ所見ニ依リマスレバ、我國ノ蠶絲業ハ其生産ニ要スル物資、勞力、資本ハ寸毫モ國外ヨリ仰グコトヲ要シナイデ、而モ其生産スル所ノ生絲ハ能ク國際貸借ノ大支柱トナリ、又我が兌換制度ノ基礎ヲ爲ス所ノ極メテ重要ナル産業デアリマスルガ故ニ、其健全ナル發達ヲ希フト云フ一念ニ至リマシテハ、我黨ハ天下何人ニモ讓ラザル所ノ熱情ヲ有スルモノデアルトコトヲ斷言致シマス、即チ此一念アルガ爲ニ異ニ憲政會内閣ノ當時ニ於キマシテ、多年時ノ政府者ガ實行シ能ハナカッタ所ノ蠶絲局ノ設置ヲ斷行シ、又蠶絲業ノ根本的改善策樹立ノ爲ニ蠶絲委員會設置ノ計畫ヲ決定致シマシテ、之ニ要スル豫算ヲ計上シテ貴衆兩院ノ協賛ヲ受ケタモノデアリマスルコトハ、諸君ノ熟知セラル、所デアルト思フノデアリマス、然ルニ此計畫ヲ繼承シテ蠶絲委員會ヲ設置シタル所ノ現内閣ニ於キマシテ、其設置以來殆ト二箇年ニ垂タトスル今日ニ及ビマシテ、其委員會決定シタル所

ノ蠶絲政策ナルモノガ、僅ニ暫行的ノ、而モ容易ニ運用スベカラザル所ノ此法案アルノミニ止マルガ如キコトハ、吾々ガ折角期待ヲ懸ケタル所ノ蠶絲委員會ノ活用ニ關シテ現内閣ノ洵ニ無線論ナルコトヲ表白スルモノデアリマシテ、吾々ハ多大ナル遺憾ヲ感ゼザルヲ得ナイ者デアリマス、ソコデ此法案ニ對スル我黨ノ意見ニ言及ヲ致シマスルガ、此法案ハ所謂絲價安定ノ全部的、又絶對的方策デハナク、五箇年間ニ於テ、或ハ起ルコトアルベキ絲價ノ著シキ低落ノ場合ニ處セントスル絲價ノ暴落防止ノ一助ヲラシメントスルニ過ギザルモノデアリマスコトハ、本會議及特別委員會ニ於ケル農林大臣並政府委員ノ説明又ハ答辯スル所ニ依テ明デアルノデアリマス、而シテ本法ガ絲價低落ノ如何ナル場合ニ運用セラルベキカニ付キマシテ、政府ノ説明スル所ニ依リマスレバ、一般物價ノ變動ニ依ル絲價ノ低落、爲替關係ニ依ル低落ノ場合、生絲消費ノ減退ニ依ル絲價低落ノ場合等ニアリマシテハ、本法ハ適用スベキモノデハナイ、唯特殊ノ原因ニ基ク蠶絲金融ノ非常ナル逼迫、梗塞ニ依テ起ル所ノ絲價ノ異常ナル低落ヲ來シタル場合ニ於テノミ、出動シ得ルモノデアルト明ニ制限ヲ致シテ居ルノデアリマス、本法ノ出動ニ依ル損失ガ延イテ國民ノ負擔ニ歸スルコトアルベキ重大性ヲ有シテ居リマスル所ノ、非常立法ナル點ニ鑑ミマスル時ニハ、政府ノ此見解ハ勿論當然デアリマシテ、必ズ斯クアラネバナラヌモノデアルト思ヒマス、サウスルト事實問題ト致シマシテ、此法律ガ其有效期間タル五年内ニ是ガ適用サルベキ機會ハ恐ラクアルマイカト考ヘルノデアリマス、即チ此法案ハ其名ハ絲價安定ト稱シマスルケレドモ、其實ハ此法律ニ依テ絲價ノ安定ヲ見ルガ如キ場合ハ、殆ト稀有ニ屬スルモノト解セザルヲ得ナイノデアリマス、之ヲ過去ニ於ケル絲價救済ノ事例ニ當照マサルニ、當業者トシテハ、或ハ大正十五年又ハ昭和二年ニ於ケルガ如キ絲價低落ノ場合ニハ、無論本法ノ援助ヲ受ケ得ルモノト期待致シテ居リマセウ

ケレドモ、特別委員會ニ於テ此點ニ關スル政府ノ答辯ハ大正十五年又ハ昭和二年ニ於ケル如ク、政府ノ金融上ノ助力ト當業者ノ協力及自制止ニ依テ、切抜テ得ラレル程度ノ場合ニ於テハ、本法ハ適用スベキモノニ非ズト明瞭ニ斷言シテ居ル事實ニ徴シマスルナラバ、本法ハ假ニ之ヲ制定シテ置キマシテモ、過去ノ事例ト致シマシテハ大正九年ノ如キ眞ニ不可抗力ニ因ル非常特別ナル金融逼迫及絲價ノ暴落ノ場合デナケレバ運用シ難イ法律デアルノデアリマス、而シテ大正九年ノ如キ國ヲ舉ゲテ其救済ニ當ラナケレバナラヌ場合ニ遭遇致シマシテハ、時ノ如何ナル政府ト雖モ、此法律ノ如キハ、縱令是ガナクテモ其時機ヲ誤ラザルヤウニ、速ニ或ハ議會ノ召集ヲスルナリ、又ハ政府ノ責任ヲ以テ其損失ヲ補償スル方法ヲ講ズルナリ致シマシテ、確ニ救済ノ實ヲ舉ゲ得ルモノト確信ヲ致スノデアリマス、又斯ル場合ニ於キマシテハ、吾々モ直ニ之ヲ協賛スルニ吝ナラザル事、例ヘバ第五十三議會ニ於テ日銀ノ特別融資ノ問題ニ關シテ執リタルト同様ノ態度ニ出ヅルモノデアリマス事ヲ茲ニ斷言致シマス、サレバ今必ズ來ルカ否カラ豫期スベカラザル所ノ事柄ノ爲ニ、時アテ、或ハ濫用ノ虞ガアリ、又當業者ヲシテ絶エズ或ル期待ヲ懷カシメルガ如キ傾向ノ生ジ場キ本法ノ如キヲ、豫メ常備スルコトハ避クベキデアルト考ヘルノデアリマス、ノミナラズ本法ヲ常備スルノ結果ハ、當業者ガ動モスレバ此法律ニ賴ルコトニナリマシテ、爲ニ或ハ不謹慎ニシテ放漫ナル原料購ノ競争買ヲ誘致スルノ虞ナシトハ限ラナイノデアリマス、現ニ大正十四年ノ事實ハ製絲業者ガ購ノ競争買ヲ致シマシタ爲ニ、慘澹タル損害ヲ招キタル好適例デアリマシテ、其翌大正十五年ニ時ノ政府ガ絲價救済ノ爲ニ、特別ナル努力ヲ致サナケレバナラヌヤウニ相成リマシタル原因ノ主ナルモノハ、必シモ爲替相場ノ急激ナル回復ノミデハナク、寧ロ前年ニ於ケル製絲業者ノ無謀不謹慎ナル原料購ノ高値競争買ヒノ結果デアッタコトヲ想合セマスル

ナラバ、此法案ノ如キヲ常備シテ、政府ガ何時ナリトモ出動シ得ル備ヘヲ爲シテ置キマスルコトハ、却テ製絲業ノ不健全ヲ招來スル虞レナキニアラズト觀測スルノデアリマス、且ツ本法ヲ常備シ、其出動ニ依テ絲價ノ或ル程度ノ低降ヲ防止シ得タト致シマシテモ、之ニ依テ其損害ヲ免レ又ハ輕減シ得ラレタル者ハ、主トシテ製絲業者デアッテ、養蠶業者ノ方ハ、假令其利益ヲ受クルコトガアルニ致シマシテモ、ソレハ全ク間接デアリマシテ、製絲業者ト同様ノ利益ニ均霑スル譯ニハ參リマセヌ(拍手)尤モ是ハ事實餘儀ナイ事柄デアルカラ、已ムヲ得ナイノデアルト云ヘバ、ソレ迄デアリマスアレドモ、併ナガラ本法ノ出動ヲ要スル程、絲價暴落ノ場合ニハ養蠶家ガ爲ニ被ル所ノ損害モ亦甚大デアリマスルカラ、政府トシテハ本法ノ制定ト同時ニ、斯ル場合ニ於ケル養蠶家ノ救済策ニ付テモ、相當考慮スベキ義務ガアルト考ヘルノデアリマス(拍手)然ルニモ拘ラズ、其點ニ付テ政府ハ何等ノ考慮モナク、而モ絲價ノ低降防止ハ養蠶業者ニモ亦利益ヲ與ヘルモノデアルトシテ、恬然トシテ顧ミル所ナキハ、洵ニ解シ難キ態度デアルト謂ハナケレバナラヌデアリマス(拍手)此故ニ我ガ黨ト致シマシテハ、製絲業者ヲシテ時アッテハ、甚ダ放漫不謹慎ナル態度ニ出デシムル所ノ原因トモナリ、又其濫用ニ陥リ易キ弊アル所ノ、而シテ其結果ガ延ヒテ國民全體ニ其損失ヲ負擔セシムルコトニナル本法ノ如キヲ常備スルコトヲ避ケテ、蠶絲業ノ全體ガ健全ナル發達ヲ致スベキ根本的改善策、即チ絲價安定ノ爲ニハ金ノ輸出解禁ヲ速ニ斷行シテ、爲替相場ノ變動ヲ防ギ、又蠶絲金融ノ充實ヲ期シ、乾繭取引ノ普及ヲ圖リ、養蠶製絲ノ堅實ナル經營ヲ進メ、繭及生絲取引ノ改善、人造絹絲ノ發達ニ對スル對策ノ講究等、斯業全體ノ安定ト其健全ナル發達ヲ促シマシテ、大ニ國際貸借ノ改善ニ資スルコト共ニ、延ヒテ全國二百萬戸ノ養蠶業者、及ビ三千ノ製絲業者、並ニ之ニ關係アル一般業者ノ福利増進ヲ圖ルコトガ、最モ急務デアルコトヲ思ヒマ

シテ、霞ヲ隔テ、花ヲ見ルガ如キ、效果ノ切實ナラザル此法案ニ反對スル者デアルノデアリマス、終リニ臨ンデ特ニ一言致シテ置キタイコトガアリマス、ソレハ我ガ製絲業者ノ自覺ニ基ク一大奮發デアリマス、製絲業者ハ從來動トモ致シマスレバ政府ノ力ニ依頼シ、其保護ニ頼ラントスルノ嫌ヒガアリトシテ、時ニハ多少ノ非難モアリマシタ、併ナガラ蠶絲業ハ我國ノ經濟界ヲ支配スル最モ重大ナル産業デアリ、而シテ當業者ノ自力自營ノ方法ガ完全ニ立ッテ居ナイ限リハ、是モ或ル程度迄ハ已ムヲ得ナカッタモノデアアラウトシテ、吾々ハ之ヲ諒ト致シマス、然ルニ製絲業者ハ今回大ニ覺醒スル所ガアッテ、數年ノ後ニハ絲價ノ餘程ノ低降ノ場合ニモ、政府ノ力ヲ藉ラズ、自力ニ依テ能ク自衛シ得ルマデニ、更ニ新ナル積立金ノ積立ヲ爲スコトニナッテ居ルノデアリマス、此積立金ノ積立ハ、從來問屋業者及製絲業者ニ依テ行ハレテ居タモノデアリマスルガ、其積立額ハ僅ニ百斤三十錢デアリマシタノヲ、大正十五年絲價救済ノ問題ノ起リマシタル際ニ一圓二増額サレマシテ、ソレガ大正十五年及昭和二年ノ絲價救済ノ場合ニ役立ッタモノデアリマス、今回ハ更ニ製絲業者組合員ノミノ負擔ニ依リマシテ、百斤二圓五十錢ノ積立ヲスルコトニナッタノデアリマスルカラ、今ヨリ十年ノ後ニハ是等ノ積立金ハ實ニ三千万圓近クニ達スルコト云フコトデアリマシテ、是サヘ出來レバ最早政府ノ力ニ依ルコトナク、如何ナル絲價變動ノ場合ニモ、能ク自力ヲ以テ之ヲ支ヘ得ルコトニナッテ居リマス、吾々ハ當業者ノ此一大奮發ヲ以テ、眞ニ驚嘆ニ値スル快舉デアルト信ジマシテ、其完全ナル協力ニ依テ、能ク所期ノ目的ヲ達成セラレシコトヲ切望スルノ餘リ、斯業者ノ此一大奮發ニ對シテ深厚ノ敬意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 山本慎平君
(山本慎平君登壇)
○山本慎平君 私人本案ニ對スル賛成ノ意見ヲ申述アル者デゴザイマス、先ヅ簡單ニ村上君ノ御説ニ對シテ、極メテ明瞭ニ御意見ヲ伺フテ置キタイノデアリマス、先ヅ本案ニ對スル反對ノ主タル理由トシテ、民政黨ヲ代表セラレタル御話ニ依リマスレバ、ヨリ良キ根本策ヲ政府ハ何故ニ提出シナイカ、此根本策ガ出來ル迄ノ間ノ斯様ナル暫定的ノ案ニ對シテハ、賛成ガ出來ナイト云フ御話デアリマス、根本的ノ策、之ヲ施ス所ノ心持ヲ、更ニ最後ニ村上君ノ御話ニ依リマスレバ、或ハ金ノ解禁ヲドウスルカ、或ハ人造絹絲ニ對シテハドウスルカ、或ハ爲替相場ニ對シテハ如何ニスルカ云フヤウナ、左様ナ根本策ノ出來ルヲ待ッテ、更ニ養蠶業者ハ製絲業ニ對スル、保護ヲ致ストシマスナラバ、百年河清ヲ待ツヤウナ諺ガアルノデアリマス(拍手)左様ナ場合ニ立至ラズシテ、現在ニ於テハ我ガ製絲業ノ上ニ於キマシテハ、少クとも種々ナ統制ガ缺ケテ居ルノデアリマス、例ヘバ乾繭裝置ガ十分デナイトカ、或ハ組合製絲ガ未ダ發達シナイトカ、種々ナ缺點ガアルデアリマシテ、製絲業ト云フ家内工業ノ稍、發達シタモノハ、眞ニ今ノ資本主義組織ニ副フテ居ラヌノデアリマス、是ガ爲ニ製絲工業ハ我ガ貿易ノ大宗ト成シテ居リマスルケレドモ、本當ノ整理統制ト云フモノハ製絲業ノ上ニハ極メテ幼稚デアリマス、左様ナ幼稚ノ場合ニ於キマシテ、根本策ハ容易ナコトデハナイ、其根本策ノ眞ニ成立ツノヲ待ッテ種々ナ策ヲ施スト云フコトハ、殆ド容易ニ出來得ナイコトデアリマスルカラ、暫ク五箇年間ノ期限ヲ切ッテ暫定的ニ製絲業ヲ保護スルト云フ、三千万圓ノ補償ヲ提出シタ理由ガ茲ニ成立ツノデアリマス(拍手)又第二ハ適用ガ何時來ルカ分ラヌデヤナイカ、殊ニ村上君ノ御話ニ依リマスレバ、爲替關係デアルトカ、或ハ他ノ物價ノ低降シタ場合デアルトカ云フヤウナ場合ニハ、本案ノ出動ヲセナイト云フコトニ對シテ、更ニ村上君ガ委員會ニ於テ質問ノ矢ヲ向ケラレタ時ニ、政府ハソレニ對シテ大正十五年及昭和二年ノヤウナ場合ニ於テハ、本案ノ出動ハスルノデア

ルカシナイノデアルカト云フ村上君ノ御質問ニ對シマシテ、種々ノ應答ガアリマシタガ、最後ノ詰リハ山本國務大臣ニ依テ明白ニナッテ居ルノデアリマス、此點ニ重大ナ誤解ガアルト私ハ存ズルノデアリマス、昭和二年及大正十五年ノヤウナ場合ニ、若シ此補償法案ガ出動シナイナラバ、殆ド斯様ノ案ハ必要ガナイデハナイカト云フノガ村上君ノ第二ノ重要ナル駁論ノ一ツデアリマス、所ガ山本國務大臣ハ之ニ對シテ、斯様ニ答辯ヲ致シテ居ルノデアリマス、「大正十五年度昭和二年度位ノ時ハ、金融業者ト當業者ノ間ノ金融ノ疏通ニ關シテ政府ガ盡力シテ、而シテ其目的ヲ達スルコトガ出來タノデアルカラ、將來ト雖モ此方法ニ依テ疏通ノ途ヲ圖ルコトガ出來ル場合ニハ、此法案ハ適用シナイノデアル」斯様ノ答辯デアリマス、故ニ若シ大正十五年若クハ昭和二年ノ程度ノ絲價ノ變動デアリマシテモ、御互ノ間デ金融業者トノ協定ガ出來マシテ、其當時ニ行ハレタ同一ノ手段ガ出來ルナラバ本案ハ必要ハナイケレドモ、出動ハシナイケレドモ、若シ金融業者トノ間ノ話合ガ出來ナイ場合ニハ、矢張本案ガ必要デアルト云フコトヲ明言サレテ居ルノデアリマス、殊ニ其内容ナドヲ當時カラ屢、聞イテ見マスルト、正金銀行ニセヨ、日本銀行ニセヨ、容易ニ是等ノ問題ガ頻々ト起ルヤウデアッテハ、政府ガ補償セラル、ニアラズンバ、特資ノ融通ハ出來ナイト云フヤウナ意嚮ヲ屢、漏サレテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、故ニ今後ニ於テ大正十五年若クハ昭和二年ノヤウナ事實ガ起リマシテモ、果シテ當時ノヤウナ當業者及政府ノ口添ダケデ、此問題ガ簡單ニ片付カドカウカ分リマセヌ、隨テ本案ノ如キ非常用ノモノヲ備ヘテ、何時斯様ナ問題ガ起ルカ分ラナイ時ニ、直ニ之ヲ適用スルヤウナ豫メノ準備ヲ整ヘテ置クト云フコトハ、是レ當業者ニ對シ、又一般國民ノ養蠶業者ニ對シテ最モ深切ナ且ツ適當ナ方法デアリニ違ヒナイノデアリマス(拍手)殊ニ五箇年間アルカナイカ分ラヌト仰シヤルケレドモ、アルカナイカ分ラヌ所ニ本案ノ必要ガアル、アルカナイカ

分ラナイト云フ不安ノ所ニ斯ノ如キ法案ノ必要ガ最モ認メラレルノデアリマス(拍手)其他種々ノコトヲ申サレマシタガ、殊ニ重要ナ點ハ、製絲業者ニ斯様ナ常時設備ノ補償法ヲ與ヘテ置ケバ、彼等ヲシテ繭ノ競爭ヲセシメテ、自ラ自己ノ事業ニ對スル警戒ノ念ヲ弛メルモノデアルト云フ御話デアリマシタ、是ハ今日ノ製絲業者ヲ侮辱シタモノデアリマス(拍手)今日ノ製絲業者ハ左様ニ自ラ救フ途ヲ失スルモノデハナイ、更ニ一言申シマス、吾々ハ火災ニ對シテ常ニ唧筒ノ用意ヲ致シテ居リマス、若シ唧筒ヲ常時設備スルコトハ火事ヲ失火ニ惹起スル原因トナルト云フコトヲ御話サレ方ガアリマシタナラバ、吾々ハ何ト之ニ答ヘテ宜イデアリマセウカ(拍手)是ハ簡單ニ是ダケデ應酬シ得タト私ハ思フノデアリマス、又其次ニ養蠶家ニ對シテハ何等ノ恩惠ガ及バナイデヤナカト云フ御話デアリマスガ、此點ハ私モ委員會ニ於テ政府當局ニ聞イタノデアリマス、聞キマシタガ、日本ハ現在ノ狀態ニ於キマシテハ、此法案ハ直接ニハ養蠶家ヲ救フコトハ出來マセヌガ、養蠶家ノ持テ居リマス繭ハ絲ノ値段ニ伴ウテ高低ヲ致スモノデアリマス、隨テ絲ノ値段ガ騰貴シ、若クハ絲ノ値段ガ安定ヲ致シマスレバ、繭ノ値段モ自然ニ安定致シ又騰貴致スノデアリマス、唯望フ多ク囑シマスラバ、養蠶家ト製絲業トヲ兼備ヘテ居リマスル組合製絲ノヨリ多ク發達シ、更ニ又生繭ヲ販賣スルノデナクシテ、乾燥シタル繭ニ依テ販賣スルト云フ生産組織ガ完全ニ參テ居リマスラバ、一層此法案ノ效能ハ一般養蠶家ニ及ブノデアリマスガ、不幸ニシテ未ダソレマデニ日本ノ養蠶製絲ノ組織ガ參テ居リマセヌ點ニ残念ノ點ガアリマスガ、ソレ程發達シナイダケ、ソレダケ失張製絲家ニ對シテ相當補償ノ必要ガ生ジテ參ルノデアリマス(拍手)單ニ養蠶家ニ及バナイカラ、養蠶家ニ及ブヤウナ設備ヲ同時ニ出セト仰シヤルヤウデアリマスガ、政府モ此點ニ付テハ極メテ明白ナル態度ヲ示シテ居リマス、即チ直接ニハ此法案ノ補償

ニ依テハ製絲家ダケデアルケレドモ、將來繭ノ値段ト絲ノ値段トハ必シモ正比例スルモノデナイ場合モアルノデアリマスカラ、左様ナ場合ニ對スルベク養蠶家ニ對シテ相當ノ保護ヲ與ヘル方法ヲ考ヘテ見タイト云フコトハ明言シテ居ル、但シ是ハ理論ハ別トシテ、實際ノ上カラ申シマスラバ、製絲家ヲ保護スルコト云フヨリハ、寧ろ養蠶家ニ對シテ困難ナル補償スルト云フコトハ非常ナ實行上ノ困難ガアルノデアリマス、何百方ト云フ多數ノ人間ノ養蠶家ヲ相手ニシテ、之ニ或ル金融ノ補償ヲ與ヘルト云フコトハ非常ニ困難ナコトデアリマス、故ニ此實行ノ困難ガアリマシテ、ソレガ實現スベク此補償法案ニ上ニ現レテナイカラト言テ、此補償法案ニ反對スル理由ハ少シモ成立シナイノデアリマス(拍手)大體私共ハ、國民ノ六割ノ人口ヲ占ムル農村ノ最大多數ノ最大幸福ヲ考ヘルベク、憲法政治ノ中ニ立テ私共ガ考ヘル時ニ於テ、此ノ如キ法案ハ所謂超黨派ノモノデアリマシテ、寧ろ民政黨ノ諸君ナリ無產派ノ諸君ノ舉ゲテ此種ノ法案ニハ滿腔ノ同情ヲ懷意ヲ捧ゲテ下サルコトダラウト思ヘタ(拍手)所ガ一方ニ於テハ穀物法ニ對シテハ、超黨派ノ態度ヲ執ルト仰シヤルヤウナ民政黨ノ方ガアルカト思フト、其心持ハ又變テ斯ノ如キ養蠶家、製絲家、農民全部ニ直接間接ニ必ズ影響ヲ及ボスベキ重大ナル法案、所謂政策ノ問題ニアラズシテ、眞ニ國民ノ生活ニ觸レタ所ノ「パン」ニ關係シタ所ノ、竊ノ煙ニ影響ヲ及ボスヤウナ、眞ノ政治ラシイ政治ノ法案ガ、徒ニ黨派ノ、反對センガ爲ニ反對スル犧牲トナシテ、之ヲ玩弄スルガ如キ態度ヲ執ルトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、又一面ニ於キマシテ無產派ノ諸君ニ一言申上ゲテ置キタイ、無產派ノ諸君ハ、動モスレバ無產派ハ一切ノ無產大衆全般ノ利害ヲ代表スル如キ御心持ニ於テ、有ユル問題ニ對シ、殊ニ階級觀念、階級闘爭ト云フ考ヲ中心ノ御心持ト爲サルヤウデアリマスガ、斯ノ如キ法案ハ、國民ノ最大多數ニ最大幸福ヲ及ボス所ノ、所謂無產派諸

君ノ主張セラル、利害ニ最モ直接ニ影響ヲ及ボス所ノ重大ナル國民生活ニ關係シタ法案デアリマス、妙ニ抽象的ノ、妙ニ學問的ノ術語ヲ使テ、ソレダケガ無產派ノ主義政策デアラナラバ兎モ角、本當ニ國民ノ利害ニ觸レルナラバ、階級觀念や階級闘爭ヲ中心トシナイデ、斯ウ云フ法案ニモ無產派ノ諸君ハ賛成セラレコト、信ズルノデアリマス(拍手)斯ク致シマシテ總テノ方面ニ於キマシテ、本案ノ如キハ極メテ時宜ヲ得タル適切ナルモノデアリマスカラ、滿場總テノ諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、本案ハ速ニ通過セラレコトヲ希望シテ止マヌノデアリマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 以上ヲ以テ討論ヲ終リマシタ、是ヨリ採決ニ入リマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ賛成ノ諸君ハ起立

〔贊成者 起立〕

○副議長(清瀨一郎君) 起立多數ト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成「贊成」ノ聲起ル〕

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

終價安定融資補償法案 第二讀會

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀨一郎君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、第二讀會ニ於テハ委員長報告ノ通り決シマス、是ニテ本案ノ第二讀會ハ終了致シタノデアリマス

○原惣兵衛君 直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成「贊成」ト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

終價安定融資補償法案 第三讀會

○副議長(清瀨一郎君) 別ニ御發議ガアリ

マセヌカラ採決ニ移リマス、本案ノ全部ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕

○副議長(清瀨一郎君) 起立多數、仍テ本案ハ可決確定致シマシタ(拍手)日程第五、大正十一年法律第五十二號中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、内野辰次郎君

第五 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出)

第一讀ノ續(委員長報告)

報告書

一大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十六日 委員長 内野辰次郎

衆議院議長元田肇殿

〔内野辰次郎君登壇〕

○内野辰次郎君 本案ハ御承知ノ如ク從來我國ニ於キマシテ、統計調査資料ト致シマシテ勞働「センサス」ダケデアリマシタガ、將來ハ農業資料蒐集ノ爲ニ、農業ニ關スル「センサス」ヲ加ヘタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ適當ナ改正案ト認メマシテ、全會一致可決ヲ致シマシタ、右御報告ヲ申上ダマス(拍手)

○副議長(清瀨一郎君) 別ニ討論ノ通告モアリマセヌカラ、直ニ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ガゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

大正十一年法律第五十二號中改正法律案(統計資料實地調査ニ關スル件)

第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議モアリマセヌカラ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ、日程第六及第七ハ同一委員ニ付託セラレタル議案デアリマス、仍テ一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、日程第六、朝鮮簡易生命保險特別會計法案、日程第七、朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案ヲ一括シテ、其第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——佐々木長治君

第六 朝鮮簡易生命保險特別會計法案(政府提出)

第二讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 朝鮮簡易生命保險特別會計法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十六日

委員長 佐々木長治

衆議院議長元田肇殿

第七 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十六日

委員長 佐々木長治

衆議院議長元田肇殿

〔佐々木長治君登壇〕

○佐々木長治君 朝鮮簡易生命保險特別會計法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、本案ハ別途制令ヲ以テ規定致シマス朝鮮簡易生命保險ヲ實施セントスルニ當リマシテ、内地ノ例ニ準ジテ、本特別會計法ヲ設置セントスルノデアリマシテ、政府委員ノ説明ニ依リマスルト、朝鮮簡易生命保險ハ朝鮮總督府管理ノ下ニ、朝鮮總督府通信局ニ於テ、監督、企畫、契約及原簿ノ事務ヲ掌リ、約六百八十ノ郵便局ニ於テ是ガ現業務ヲ取扱フ爲サシメマシテ、保險ノ種類、加入年齡、保險金額、保險料ノ計算ノ基礎、其他ノ制度ハ内地ニ於ケルモノト殆ド同様デアリマシテ、保險ニ關スル爭議ノ審查ニ付キマシテモ、朝鮮簡易生命保險審查會規定ヲ設ケマシテ、先ツ此審查會ノ審查ヲ經ベキコト、致シテ居リマスルノハ、唯内地ノ制度ト特ニ異テ居リマスルニ反シマシテ、朝鮮ノ市場金利ニ鑑ミマシテ、之ヲ四分五厘ト致シタコトデアリマス、積立金ハ本特別會計ニ於キマシテ、有利確實ニ運用スルコトヲ方針ト致シマシテ、朝鮮ニ於ケル公共ノ利益ヲ助長スベキ事業ニ投資セント致スノデアリマス、而シテ朝鮮簡易生命保險ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ實施致サントスルモノデアリマスガ故ニ、初年度ニ於キマシテ、九万八千七百八圓、二年度ニ於テ一萬六千二百二十三圓ノ歳入不足ヲ來ス計算トナリマシテ、兩年度トモ此不足ハ朝鮮總督府特別會計ヨリ繰入レル必要ガアリマスガ、三年目ヨリハ歳入超過ヲ來シ、同年度ヨリ毎年度相當ノ剩餘金ヲ生ズベキ見込デアルトノコトデアリマス、委員會ハ二回ニ亙リマシテ、特ニ内鮮融和、鮮人労働者ノ生活安定ニ關シマシテ、熱心ナル質疑應答ガアリマシタガ、本案ニ直接關係致シマス事項ニ付テハ、政府委員ノ懇篤ナル説明ニ依リマシテ、委員諸君ヨリハ特ニ御報告申上グル程ノ質問ヲ見ズシテ採決ニ入リマシタ、討論ヲ用ヒズシテ滿場一致原案ノ通り可決致シマシタ、次ニ朝鮮簡

易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告ヲ致シマス、本案ハ朝鮮簡易生命保險ヲ實施スルニ當リマシテ、是ガ事務ニ關スル郵便物ニ付キマシテハ、内地同様無料ト爲サントスルモノデアリマス、委員會ハ朝鮮簡易生命保險特別會計法ト一括シマシテ審議致シマシタ結果、討論ヲ用ヒズシテ滿場一致原案ノ通り可決致シマシタ、詳細ナル點ハ委員會ノ速記録ヲ御承知ヲ願ヒタイト考ヘマス、以上簡單ニ御報告申上ゲマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 質疑又ハ討論ノ通告ゴザイマセヌ、仍テ採決ニ入リマス、而シテ議題トナリマシタ兩案ヲ一括シテ採決致シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○副議長(清瀬一郎君) 兩案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ兩案ノ第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレントヲ望ミマス

〔贊成〕ノ聲起ル

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

朝鮮簡易生命保險特別會計法案

第二讀會(確定議)

朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議モアリマセヌ、仍テ第三讀會ヲ省略シテ兩案トモ委員長ノ報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○日程第八、國寶保存法案第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長山下谷次君

第八 國寶保存法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 國寶保存法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十六日

委員長 山下 谷次

衆議院議長元田肇殿

〔別紙〕

國寶保存法案中左ノ通修正ス

第十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

特ニ必要アルトキハ神社又ハ寺院以外ノモノノ所有ニ屬スル國寶ニ付前項ノ規定ヲ準用ス

希望條項

國寶中貴重ナル保護建造物ニ對シテハ政府ハ次ノ議會ヘ提出スル豫算中ニ必要ナル經費ヲ計上シ完全ナル防火設備ヲ施行セラレントヲ望ム

〔山下谷次君登壇〕

○山下谷次君 國寶保存法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ四日ニ亙リマシテ開會ヲ致シ、其間委員並政府委員トノ間ニ於キマシテハ、熱心ナル質問應答ガ交換サレマシタ、就中武藤山治君、川崎克君ノ如キハ専門的見識ヲ以チマシテ、有益ナル質問ガゴザイマシタガ、サウ云フ點ハドウカ速記録ニ於テ御覽ヲ願ヒマス、ソレカラ討論ニ入リマシテ、福井甚三君ヨリ第十四條ニ一箇條加ヘルト云フ修正ガ出マシタノデアリマス、ソレハ第十四條第二項ト致シマシテ、(特ニ必要アルトキハ神社又ハ寺院以外ノモノ、所有ニ屬スル國寶ニ付前項ノ規定ヲ準用ス)ト云フ修正デアリマス、次ニハ武藤山治君ヨリ致シマシテ希望條項ヲ附セラレタノデアリマス、ソレハ「國寶中貴重ナル保護建造物ニ對シテハ政府ハ次ノ議會ヘ提出スル豫算中ニ必要ナル經費ヲ計上シ、完全ナル防火設備ヲ施行セラレントヲ望ム」此希望條項ヲ提出セラレタノデアリマス、所ガ討論ヲ終リマシテ、此希望條項ハ修正ト共ニ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ヲ申上ゲマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 討論ノ通告ハアリマセヌ、直ニ採決致シマス、本案ノ第二讀

會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

マス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開

キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り

可決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

マス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部

ヲ議題ト致シマス

國寶保存法案

第二讀會(確定議)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議モゴザ

イマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告

通り可決確定致シマシタ(拍手) 日程第九及

第十ハ同一委員ニ付託セラレタル議案デア

リマス、仍テ一括議題ト爲スニ御異議アリ

マセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

マス、日程第九、家畜保險法案、日程第十、

家畜再保險特別會計法案ヲ一括シテ其第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メ

マス、委員長内野辰次郎君

第九 家畜保險法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一家畜保險法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和四年二月二十七日

委員長 内野辰次郎

衆議院議長元田肇殿

第十 家畜再保險特別會計法案(政府

提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一家畜再保險特別會計法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和四年二月二十七日

委員長 内野辰次郎

衆議院議長元田肇殿

〔内野辰次郎君登壇〕

○内野辰次郎君 家畜保險法案ハ御承知ノ

如ク牛ト馬ノ生命ニ保險ヲ附シヤウト云フ

ノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ可ナ

リ多クノ質問ガゴザイマシタガ、其中ノ一

ツヲ御紹介致シマス、政府ハ將來家畜保險

ヲ擴張シテ豚ヲ保險スル考ハナイカ、之ニ

對シテ政府當局ト致シマシテハ、理想トシ

テハ豚ノ保險ハ最モ望ム所デアル、又將來

成ベク斯ノ如キ時代ノ到著ヲ待テ居ル、併

シ保險ナルモノハ統計ヲ基礎ニセネバナラ

ヌ、豚ノ死亡統計ヲ取ルノハ中々長時日ヲ

要スル爲ニ、豚ヲ保險スル迄ニハ前途尙ホ

遠達デアルト云フコトヲ承知サレタイト云

フ答辯デアリマシタ、委員會ニ於キマシテ

ハ慎重審議ヲ重ネマシタガ、此案ハ農村振

興ノ爲ニ最モ重大ナル案デアルト致シマシ

テ(拍手) 全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、

家畜再保險特別會計法案ハ、家畜組合ニ對

シマシテ政府ガ再保險ヲスル金ノ取扱法デ

ゴザイマス、是ハ何等ノ質問モナク、委員

會ハ満場一致ヲ以テ即決可決致シマシタ、

右報告致シマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ質疑討論ノ通

告モアリマセヌカラ、直ニ採決ヲ致シマス、

此兩案モ亦一括シテ採決シタイト思ヒマ

ス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマ

セヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

マス、第二讀會ヲ開クニ決シマス

○原惣兵衛君 直ニ兩案ヲ一括シテ第二讀

會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告

通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メ

マス、直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全

部ヲ議題ト致シマス

家畜保險法案

第二讀會(確定議)

家畜再保險特別會計法案

第二讀會(確定議)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議モアリ

マセヌ、第三讀會ヲ省略シテ兩案トモ委員

長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○原惣兵衛君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ

提出致シマス、即チ日程第三十九乃至第四

十一ハ日程第十一ト同一委員ニ付託シタル

議案ナルニ因リ、此際政府ノ同意ヲ求メ、

繰上ゲ上程ヲ爲シ、日程第十一ト一括シテ

委員長ノ報告ヲ求メ、速ニ其審議ヲ進メラ

レンコトヲ望ミマス

〔贊成ノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議アリマセヌ

カ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ハ御異

議ナシト認メマス、而シテ政府ハ日程第三

十九乃至四十一ノ三案ノ日程變更ニハ同意

セラレテ居リマス、仍テ日程第十一、會計

検査院法中改正法律案、日程第三十九、恩

給法中改正法律案、日程第四十一、恩給法

中改正法律案ヲ一括シテ其第一讀會ノ續ヲ

開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員

長淺石惠八君

第十一 會計検査院法中改正法律案

(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一會計検査院法中改正法律案(政府提

出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和四年二月二十七日

委員長 淺石 惠八

衆議院議長元田肇殿

附帶決議

會計検査院ノ検査ノ徹底ヲ期スルハ現時

内外ノ狀況ニ鑑ミ最必要ナルヲ以テ來年

度豫算ニハ擴張成案ヲ得テ之ヲ提出スヘシ

第三十九 會計検査院法中改正法律案

(千葉三郎君提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一會計検査院法中改正法律案(千葉三郎

君提出)

右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ

ト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十七日

委員長 淺石 惠八

衆議院議長元田肇殿

〔別紙〕

會計検査院法中左ノ通改正ス

第十三條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第

五號ヲ第六號ニ改ム

五 政府ニ於テ重役ヲ任命スル銀行會

社及組合ノ收支ニ關スル決算

第二十條ノ二 會計検査院ハ第十三條第

三號乃至第六號ノ検査ノ結果ヲ主務大

臣ニ通知スヘシ其ノ不當ト認ムルモノ

ハ主務大臣ニ移牒シテ相當ノ處置ヲ要

求スルコトヲ得

會計検査院ハ前項ニ依ル移牒ノ内容ヲ

検査報告ニ掲載スルコトヲ得

第四十 恩給法中改正法律案(神部爲

藏君外五名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四十一 恩給法中改正法律案(木下成

太郎君外七名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一恩給法中改正法律案(神部爲藏君外五

名提出)

一恩給法中改正法律案(木下成太郎君外

七名提出)

右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ表題ヲ「恩

給法中改正法律案」トシ別紙ノ通修正ス

ヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和四年二月二十七日

委員長 淺石 惠八

衆議院議長元田肇殿

〔別紙〕

恩給法中左ノ通改正ス

第三百三條第一項中「屯田兵ノ現役」ノ下ニ

「及之ニ準スヘキ屯田兵役」ヲ加フ

附則

本法ハ大正十二年十月一日ヨリ本法ニ該

當スヘキ者ニ之ヲ適用ス

〔淺石惠八君登壇〕
○淺石惠八君 私人委員會ノ經過並結果ヲ御報告致シマス

〔此時發言スル者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○淺石惠八君(續) 日程第十一、會計検査院法中改正法律案ハ僅ニ第二條ニ於キマシテ、書記官一名ヲ増員スルコト云フ簡單ナル法案デゴザイマス、併シ會計検査院ハ御承知ノ如ク、憲法上獨立シタル重要ナル機關デアリマスガ故ニ、委員會ハ前後六回開キマシテ、慎重審議ヲ重ネ、委員會ニ於キマシテハ色々質問應答ヲ重ネマシタガ、大體ノ要領ヲ申上ゲマスレバ、政府ニ於テハ此際事前検査ヲ爲スノ意思ハナイカ否ヤ、又事前検査ノ歐美各國ニ於ケル實例如何ト云フコト、尙ホ其上ニ機密費ヲ公開スルノ意思アリヤ否ヤ、或ハ六大都市ニ對シテ會計検査院ヲシテ、監督セシムルノ意思有リヤ否ヤト云フヤウナ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ、政府ト委員トノ間ニ數回ノ應答ヲ重ネマシタガ、結局政府ガ會計検査院ノ改善ヲ爲スト云フ意思ニ付キマシテハ、委員全部ニ於テ何等ノ異議ガナカッタノデアリマス、唯此場合政府ガ僅ニ一人ノ人ヲ殖スト云フ位ノコトデハ満足ガ出來ナイカラ、希望條件ヲ附帶決議ニ致シタコト云フコトデ、討論ノ末、會計検査院ノ検査ノ徹底ヲ期スルハ現時内外ノ狀況ニ鑑ミ、最も必要ナルヲ以テ來年度豫算ニハ擴張案ヲ得テ之ヲ提出スベシトノ附帶決議ヲ添ヘマシテ、滿場一致デ原案ヲ賛成致シマシタノデアリマス、第二ノ御報告ハ議員ヨリ提出ヲ致シマシタル同ジク會計検査院法ノ改正デアリマス、是ハ同法ノ第十三條及第二十條ニ追加改正ヲ加ヘントスルモノデアリマス、即チ從來ノ第十三條ニアリマス以外ニ於テ「政府ニ於テ重役ヲ任命スル銀行會社及組合ノ收支ニ關スル決算」斯ウ云フモノヲ加ヘテ、會計検査院ノ検査ノ範圍ヲ擴張致シタコト云フノガ提案者ノ精神デアリマス、之ニ付キマシテハ色々質問應答ヲ重ネ、政府ノ意思ヲ尋ネマシタ、其結果、討論ニ入リマシテ、高木益太郎君ヨリ修正動議ガ出マシテ、斯ノ如キ修正ヲスルコトニナリマシタ、即チ「第十三條第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第五號ヲ第六號ニ改ム、五、政

府ニ於テ重役ヲ任命スル銀行會社及組合ノ收支ニ關スル決算、第二十條ノ二、會計検査院ハ第十三條第三號乃至第六號ノ検査ノ結果ヲ主務大臣ニ通知スヘシ其不當ト認ムルモノハ主務大臣ニ移牒シテ相當ノ處置ヲ要求スルコトヲ得、會計検査院ハ前項ニ依リ移牒ノ内容ヲ検査報告ニ掲載スルコトヲ得」ト云フ修正案ガ出マシタ、是ニハ何等ノ異議ガアリマセズ、滿場一致デ可決致シマシタデアリマス、此案ハ北海道ノ屯田兵ノ豫備役ニ恩給ヲ與ヘルト云フ案デアリマス、而シテ此案ニ付キマシテハ、二ツ案ガ出テ居ルノデアリマシテ、二ツ共ニ一字一句モ違ヒノナイ同一ノ案デアリマシタカラ、委員會ハ之ヲ併合シテ一案トシテ審議ヲ重ネマシタコトデアリマス、要スルニ屯田兵ノ豫備役ト云フモノガ、法制變革ノ爲ニ僅ノ間豫備ト云フ名ノ下ニ恩給ニ漏レテ居ルコトハ、非常ニ同情ニ堪ヘナイノデアリ、又屯田兵ノ豫備ト云フモノハ陸海軍ノ現役豫備トハ性質ヲ異ニシテ、現役ト殆ド同一ノ服務ニ從事ヲシテ居ルモノデアリカラ、之ヲ恩給ニ加ヘルト云フコトハ當然ナリト云フ意味ニ於テ、提案ヲサレタノデアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ陸海軍豫備トノ關係モアリ、今俄ニ御同意ハ出來ヌガ、兎ニ角ニ實際ノ狀況ニ付テハ非常ニ同情ヲシテ居ルノデアリ、先年等は等ノ二對シテ、慰藉金ヲ與ヘントスル計畫ヲ立テタコトガアル位デアリカラ、此法案ノ御趣旨ニ付テハ全然御同意ヲ表スルガ、直ニ之ニ御同意ヲスルト云フコトハ申上ゲ難ルト云フ意味デアリマシタガ、提案者ニ於キマシテハ、政府ノ言ハレルガ如キ多數ノ受恩給者ハ、此法律ニ依テ出來ナイノデアリ、僅ニ五六百人ニ過ギナイノデアリカラ、サウシテ幸ニ政府ガ慰藉金ヲ出スト云フマデノ御決心ガアルナラバ、此慰藉金ヲ出スダケノ金ガアレバ、恩給法ノ改正ヲ爲シテモ政ツ金ノ上ニハ狂ヒハナイト云フヤウナコトデアリマシタ、審議ノ末全會一致ヲ以テ本案ヲ可決致シマシタノデアリマス、願クハ御賛成ヲ皆サンニ望ミマス、(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 右四案中先ツ政府提出ニ係ル會計検査院法中改正法律案ノ審議ヲ致シマス、而シテ討論ノ通告ガアリマセヌカラシテ、直ニ採決致シマス、本案ノ

第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

會計検査院法中改正法律案 第二讀會(確定議)
○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議モアリマセヌ、本案ハ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 次ニ千葉三郎君提出ニ係ル會計検査院法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、是亦討論ノ通告ガアリマセヌ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

會計検査院法中改正法律案 第二讀會(確定議)
○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議ガアリマセヌ、本案ハ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 次ニ千葉三郎君提出ニ係ル會計検査院法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、是亦討論ノ通告ガアリマセヌ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

會計検査院法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議ガアリマセヌ、本案ハ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手) 次ニ千葉三郎君提出ニ係ル會計検査院法中改正法律案、及木下成太郎君外七名提出ニ係ル恩給法中改正法律案ノ兩案ヲ一括シテ其審議ニ入りマス、討論ノ通告ガアリマセヌ、採決ニ入りマス、此兩案ノ委員長報告ハ兩案ヲ併合シテ一ツノ案ト爲シ、而シテ修正議決シタルモノデアリマス、兩案ヲ一括シテ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り修正議決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

恩給法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○副議長(清瀬一郎君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第二讀會ニ於テハ委員長ノ報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

○原惣兵衛君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出肥料管理法案、肥料管理特別會計法案ノ兩案ヲ一括シテ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(清瀬一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、肥料管理法案、肥料管理特別會計法案ノ兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——山本農林大臣

肥料管理法案(政府提出) 第一讀會

肥料管理法案

第一條 本法ニ於テ肥料ト稱スルハ硫酸アムモニア、石灰窒素及勒令ヲ以テ指定スル含窒素化學肥料ヲ謂フ

第二條 政府ハ肥料ノ配給ノ圖滑又ハ價格ノ安定ヲ圖ル爲メ肥料ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ賣渡ヲ爲ス爲メ政府ハ肥料ノ買入、交換、加工又ハ貯藏ヲ爲スコトヲ得

第三條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ肥料ノ賣渡ヲ爲サントスルコトキ命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ其ノ數量及價格ヲ告示スベシ但シ肥料ノ買換、貯藏肥料整理ノ爲ニスル賣渡其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ムベシ

第四條 政府ハ肥料ノ配給ノ圖滑又ハ價格ノ安定ヲ圖ル爲メ肥料現在高調査ノ必

要アリト認ムルトキハ肥料ノ製造業者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第五條 前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ゲタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

肥料管理特別會計法案(政府提出)

第一讀會

肥料管理特別會計法案

第一條 肥料ノ配給ノ圓滑及ハ價格ノ安定ヲ圖ル爲メ肥料ノ賣渡並ニ其ノ賣渡ノ爲メニ輸入、交換、加工及貯藏ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ之ヲ一般會計ト區別シ特別會計ヲ立テシム

第二條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スル爲メ必要ナルトキハ政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第三條 本會計ニ於テハ借入金、肥料賣渡代金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ肥料ノ買入代金肥料ノ買入賣渡交換加工貯藏及運搬ニ關スル諸費、借入金ノ償還金及利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘格アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入スルコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スベシ

第六條 第二條ノ規定ニ入ル借入金及前條ノ規定ニ依ル一時借入金ノ額ハ通ジテ最高二千萬圓トス

第七條 本會計ニ於ケル歳入總額ノ歳出總額ニ超過スル金額ハ之ヲ翌年度ノ歳入ニ繰入ルベシ

本會計ノ毎年度歳出豫算ニ於ケル事業費ノ支出殘額ハ之ヲ翌年度ニ繰越使用

スルコトヲ得

第八條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調整シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第九條 本會計ノ收入支出及損益計算ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣山本悌二郎君登壇)

○國務大臣(山本悌二郎君) 肥料管理法案並特別會計法案提出ノ理由ヲ説明致シマス、食糧ノ充實ヲ圖ル共ニ、農村經濟ノ作興ヲ期シマスルコトハ、現下我國ノ國情トシテ、最も緊要ナル事務タルコトハ今更申上ダル必要ハナイト思ヒマス、而シテ……

(此時發言スル者アリ)

○副議長(清瀬一郎君) 森保君、靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(山本悌二郎君)(總) 而シテ此

食糧ノ充實、農村振興、農村經濟ノ作興ト申スコトモ、之ヲ達成スルノ方策ハ固ヨリ

一ニシテ足リナイノデアリマスルガ、就中農業生産上必須ノ資源タル肥料ノ價格ノ安定ヲ圖リ、是ガ配給ヲ圓滑ナラシメマシテ

農家ノ肥料購入上ニ於ケル、障礙ヲ除去シテ、一層便宜ヲ與フルノ政策ヲ確立致シマスガ如キハ、其最も重要ナルモノト存ズル

ノデアリマス(拍手)御承知ノ如ク我國ノ進歩ニ伴ヒマシテ、販賣肥料ノ施用ハ頓ニ増

加致シマシテ、今ヤ其一箇年ノ消費額ハ三億數千萬圓ノ巨額ニ達シマシテ、今後益々

増ノ勢ヲ呈シテ居ルノデアリマス、而シテ肥料代ハ農産物生産中ノ最も重要ナル部分

ヲ占ムルト云フコトハ、以前カラ左様デアリマスアレドモ、今日ハ尙更其程度ヲ加ヘ

テ參ッテデアリマス、左様デアリマスカラ、農産物ノ生産費ヲ遞減致スト共ニ之ヲ

安定致シテ、仍テ以テ農村經濟ノ作興ヲ圖ラント欲スルナラバ、是非共此肥料ノ配給

ノ圓滑ト、其價格ノ安定ト云フコトノ點ニ著眼致サナケレバナラナイト云フコトハ、

理ノ當然デアアルノデアリマス(拍手)況ヤ我國人口ノ増加ニ伴ヒマシテ、國民食糧ノ充

實ト共ニ、農産物ノ增收ハ一日モ之ヲ忽セ

ニスルコトノ出來ナイ所デアリマスガ、此

農産物ノ增收ハ我國ノ國情ニ於テハ懸テ

肥料ノ多量施用ト云フコトニ俟タナケレバ

ナラヌト云フ狀況ニ鑑ミマスレバ、肥料問

題ハ愈々其重要性ヲ増シツ、アルノデアリマス

(拍手) 扱テ各種販賣肥料ノ中ニ於キマシ

テ、窒素質肥料ハ價格ニ於テ全販賣肥料ノ

八割餘ヲ占メテ居リマスルガ故ニ、是ガ價

格ノ安キカ否カト云フコトハ、農家經濟上

ニ及ボス所ノ影響ハ特ニ重大ナルモノガア

ルノデアリマス、而シテ更ニ此窒素質肥料

ノ中ニ於キマシテ、硫酸「アンモニア」、石灰

窒素ノ如キ無機質窒素肥料ハ、價格等ノ關

係ヨリ近時大ニ其需要ヲ増加致シマシテ、

今ヤ我國ニ於テ消費セラレマスル窒素質販賣肥料中ノ、窒素總量ノ四割餘ハ、此無機質窒素肥料ヲ以テ供給サレツ、アルノデアリマス、ノミナラズ今後ニ於テハ其需要ガ益々増加スル傾向ガ明白ナラデアリマス、隨テ從來窒素質肥料中ノ首位ヲ占メテ居リマシタ大豆粕ノ如キモ、漸ク其地位ヲ此種無機質窒素肥料ニ讓ラントスルノ情勢ニアリマスカラ、此種無機質窒素肥料ハ窒素質肥料界ノ謂ハ中樞ヲ成シテ居ルノデアリマシテ、畢竟其價格ハ一般窒素質肥料ノ價格ヲ支配スルガ如キ地位ニ今日ハ居リマスルカラ、此種肥料ノ價格ガ安定シ、配給ガ圓滑ナルヲ得マスルコトハ、就中最も重要ナルモノト認ムルノデアリマス、而シテ此種肥料ノ價格ガ如何ナル狀況ニアルカ及是ガ配給ノ狀態ガ如何デアアルカト云フコトヲ見マスレバ、今日マデ經過ニ微シマスルニ、肥料價格動搖ハ相當激變ヲ致シマシテ、期節ニ依リマシテハ往々暴騰ヲ見マスノデ、農家ニ對シマシテ非常ナル苦痛ヲ與フルバカリデナク、又折角肥料ノ購入ヲ希望致シツツアル農家ヲシテ、自然之ヲ斷念ナリツ、餘儀ナキニ至ラシマスルヤウナ結果トナリツ、アルノデアリマス、又其肥料配給ノ方面ニ於キマシテモ現在ノ組織上整ハザル所ガアリマスルガ爲ニ、中央市場ニ於ケル肥料ノ價格ガ左様ニ高價ニナラザル場合ニ於キマシテモ、是ガ農家ニ配給セラレマス場合ノ價格ハ、結局甚シク不廉ノモノトナリ得ルト云フ狀況ニアルノデアリマス、政府ハ

從來肥料ニ關シテ肥料取締法實施ニ依リ、不正粗惡ナル肥料ノ防遏ニ努ムルノ外、肥料ノ改良増殖及經濟的施用ノ普及等ニハ施設スル所ガアリマシタレドモ、時代ノ要求ハ今ヤ斯ノ如キ程度ノ施設ノミニテハ到底満足ヲ致サナイト云フ狀況ニ鑑ミマシテ、肥料ニ關スル國策ヲ考究スルノ目的ヲ以テ、一昨年来農林省內ニ特ニ肥料調査委員會ナルモノヲ設ケマシテ、鋭意調査審議ヲ進メツ、アルノデアリマスルガ、右調査會ニ於テモ以上申述ベマシタガ如キ、無機質窒素肥料ノ生産及販賣ノ狀況ハ、農村現下ノ實情等ニ徴シ、一日モ速ニ其對策ヲ講ズルノ要アリト致シマシテ、是ガ方策ヲ答申スルニ至ッタデアリマス、仍テ政府ハ右答申ノ要綱ニ基キマシテ、更ニ種々調査考究ヲ加ヘマシタル結果、肥料管理ノ方策ヲ定メマシテ、茲ニ其法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、今此兩案ノ内容ニ付キ大要ヲ御説明申上ダマスレバ、第一ニ政府ハ硫酸「アンモニア」等ノ一定數量ヲ買入レマシテ、之ヲ産業組合及農會ノ如キ團體ヲ通ジマシテ、當時計畫ノニ農家ニ配給スルコトニ依リマシテ、農家ヲシテ肥料配給ノ中間ニ於ケル餘分ノ負擔ヨリ免レシメルノミナラズ、之ニ依リマシテ絶エズ市場ヲ牽制シ、動モスレバ起ラントスル肥料價格ノ變動ヲ防止スルコトニ資セントスルノデアリマス、第二ニハ又別ニ相當ノ豫備品ヲ貯藏致シテ置キマシテ、肥料ノ時價ガ萬一暴騰ヲ來ス如キ場合ニ於キマシテハ臨時之ヲ市場ニ賣出シマシテ暴騰ノ勢ヲ抑制シ、之ガ安定ヲ圖ラントスルノデアリマス、而シテ之ガ爲ニ生ジマス政府ノ歳入歳出ハ即チ之ヲ特別會計ト致シマシテ、借入金ニ依テ事業ヲ行フコト、致シマスノデ、其最高限度ヲ二千萬圓ト定メタデアリマス、以上ハ政府ガ今日提案致シマシタ法案ノ大體ノ骨子デアリマスガ、政府ハ之ニ依リマシテ、當ニ上述ノ硫酸「アンモニア」無機質窒素肥料ノ價格ノ安定及配給ノ圓滑等ヲ來サシムルバカリデナク、尙ホ之ニ依リマシテ、他ノ一般窒素質肥料等ノ價格ニ對シテモ、頗ル好影響ヲ及ボスコトヲ期待致シマシタ次第デアリマス、隨テ之ヲ起因ト致シマシテ、農村經濟ノ甦生上幾多ノ實績ガ生レ來

タルコトヲ望ミ且ツ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)固ヨリ肥料政策ハ之ヲ以テ決シテ盡キテ居ル譯デアリマセヌ、尙ホ他ニ幾多ノ重要ノ施設ガ殘リテ居ルノデアリマスガ、本案ノ如キハ就中最モ緊急ノモノデアリマシテ、且ツ最モ重要ナルモノト信ジテ居ル次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 三土大藏大臣

(國務大臣三土忠造君登壇)

○國務大臣(三土忠造君) 只今農林大臣ヨリ説明致シタル如ク、今回肥料管理法ヲ制定致シタルニ付キマシテ、之ガ運用上茲ニ特別會計ヲ設定スルコト云フ必要ヲ生ジマシテ、茲ニ肥料管理特別會計法案ヲ提案致シタル次第デアリマス、肥料管理ノ事業ハ借入金、肥料賣却代金等ヲ以テ、肥料ノ買入代金、肥料ノ買入、賣渡、貯藏及運搬等ニ關スル諸費、借入金ノ償還金及利子、一時借入金ノ利子、事業取扱費、其他一切ノ經費ニ充當セントスルモノデアリマスカラ、性質上之ガ收支ハ一團トシテ獨立ニ計算スルヲ適當ト考ヘマスノデ、本事業ニ關スル歲入歳出ハ、之ヲ一般會計ト區別致シマシテ、特別會計ヲ設定スル必要ガアルノデアリマス、本案ハ右様ノ次第デアリマスカラ、何卒速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(清瀬一郎君) 本案ニ關シ質疑ノ通告ガアリマス、仍テ順次之ヲ許シマス——

高田松平君

(高田松平君登壇)

○高田松平君 只今御提出ノ肥料管理法ニ付キマシテ、二三點御伺申シタイト思ヒマス、實ハ只今大臣ノ御説明ノ通り、其目的ハ肥料ノ配給ト價格ノ安定ヲ圖ルト云フコトデゴザイマスルカラ、吾々其目的ニハ全然御同意申スコトデアリマス、併ナガラ御提案ニナリマシタモノヲ拜見スル、吾々其目的ニシタモノヨリモ、非常ニ不徹底ノモノニ相成タコトヲ遺憾トスルノデゴザイマス、肥料管理法ハ自作農ノ維持創定案ト共ニ、現内閣ノ農村政策ノ主要ナル地位ヲ占メテ居ルコトニ吾々承知シテ居リマシテ、其目的ニ付テハ何レモ同意スルノデゴザイマス、併ナガラ自作農維持創定案ハ、最初ノ八千萬圓ハ三千万圓トナク、模樣デゴザイマス、肥料管理法ノ四千万圓ハ

二千万圓ニ減タノデゴザイマス、段々減ルト、今一月モ過ギルト、或ハ一錢モ無クナルノデハナイカト、私ハ危懼ノ念ニ堪ヘナイノデアリマス(拍手)要スルニ私ガ左様ニ危懼ノ念ニ驅ラレルノハ、政府ガ斯ノ如キ重大法案ト見ルベキモノヲ會期ノ初メニ提出セズシテ、會期ノ半バツ終レル、最早一月モナイ今日ニ至テ提出シタコトガ、或ハ俱レ、八千万圓ガ三千万圓ニナリ、四千万圓ガ二千万圓ニナリ、今一月後ノ議會ノ終リ頃ニハ、一錢モ無クナルコトニナルノデハナイカト、私ハ全ク危懼ノ念ニ堪ヘナイノデアリマス(拍手)發言スル者多シ

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

高田松平君(續) 是ハ極メテ眞面目ニヤル積リデアリマス、故ニ眞面目ニ伺フノデ

○高田松平君(續) 是ハ極メテ眞面目ニヤル積リデアリマス、故ニ眞面目ニ伺フノデ案デゴザイマス、第一本案ヲ拜見スルコト云フ、第三條ノ第二項ニ於テ、賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ賣ル、而シテ之ヲ産業組合及農會等ニ賣ルト云フコトニ承知シテ居ルノデゴザイマス、是ハ御説明ノ中ニアツタカナカツカ存ジマセヌガ、サウ承テ居ル、ソコデ時價デ産業組合ニ賣ルト云フコト、而シテ産業組合ガ時價デ政府ヨリ買入レテ、之ヲ一般農家ニ賣ルト云フコト、果シテ賣人ガ賣ルヨリ安價ニ供給スルコトガ出來ルカドウカト云フコトガ、頗ル疑問デアルト私ハ思ヒマス、此點ヲ伺フノデゴザイマス(拍手)第一買入ノ點デゴザイマス、買入ノ點ニ付キマシテモ、法律ニハドウ云フ手順ニ依テ買入フトハ書イテアリマセヌガ、私ノ大體承知スル所ニ依レバ、輸入ノ場合ニ於キマシテハ指定輸入商ヲ作ルノデアラウト思フ、是ハ政府ガ今日迄外米輸入ノ場合ニ於キマシテモ、或ハ外米ヲ他ニ賣ル場合ニ於キマシテモ、指定ノ商賣人ヲ作リマスカラ、其通りデアリマシテ、政府自身ガヤルノデハナイト思ヒマス、斯ウ云フ場合デアレバ、指定商人アルコト其事ガ、或ル程度ノ利益ヲ與ヘナケレバナリマセヌ、即チ政府ガ直接ニ買ハズシテ、指定商人ヲ經テ輸入スルコト云フコトニ依テ、一般ノ東京、大阪等ノ商賣人ガ直接ニ外國ヨリ買入ル、ヨリモ、此場合ニ於テ指定商人ニ或ル

程度ノ利益ヲ與ヘナケレバナラヌコトハ當然デアルカラシテ、買入價格ガ既ニ政府ノ買入物ハ、民間ノ大商人ノ買入物ヨリモ、幾分高價ニ相成ルト云フコトハ、是ハ否定シ得ベカラザル事實デアルト私ハ信ジマス(拍手)故ニ私ノ見ル所デハ、大體ニ於テ買入ノ價格ガ既ニ商賣人ヨリモ政府ガ高價モノヲ買ハナケレバナラヌ、ソコデ時價デ賣ル、時價ト云フノハ何デアルコト云ヘバ、要スルニ米穀法ニ依ル時價ト同ジ意味ト存ジマス、之ヲ産業組合或ハ農會ニ賣ル、産業組合、農會ニ賣ルト云フコトデアレバ、私ノ一ツノ考ハ、産業組合ヲシテ東京、大阪等ノ大商人ヨリ直接買入シムル方法ヲ政府ガ獎勵スル方ガ、一番簡單デアラウト私ハ思フ、サウシナイデ、之ヲ政府ガ商賣人ヨリモ高價値段デ買入レテ、時價デ賣ルト云フコトニ於テ、政府ノ品物ガ高クナル、半面カラ言ヘバ損ガ出來テ來ルト云フコトニナル、之ヲ産業組合ニ賣ル、産業組合ハドウスル、政府ハ貸賣ハ一切致サヌト云フ方針デアルサウデアリマス、全部現金賣デアリマス、サウスルト是ニ於テ産業組合ガ疑問ニナルト思フ、今ノ狀態ニ於テハ産業組合ニ依テハ資金ノ充實シテ居ル産業組合モゴザイマセウ、併ナガラ多クノ産業組合ハ、政府ガ肥料ヲ産業組合ニ賣ラントシテモ、其買入ニ要スル資金ヲ持テ居ル産業組合ハ少イノデナヤナイカト私ハ憂ヘルノデアリマス(ソシナヤナイカト呼フ者アリ)ソレハ意見デゴザイマス、私ハサウデナイト思フ、吾々ノ見ル所デハ多クノ産業組合ハ資金ノ缺乏ニ依テ、政府ガ何カ此途ニ付テノ低利資金ヲ供給スルノ方法ヲ執ルニアラザレバ、自分ノ自ラノ資金ヲ以テ現金買入スルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、サウスルト是ニ於テ産業組合ハ、相當ノ金ヲ借入レナケレバナラヌト云フ、必要ガ起テ來ル、産業組合ガ資金ヲ借入レテ、政府ヨリ時價ヲ以テ買ヒ、之ヲ農家ニ供給スル場合ニ於テ、産業組合モ相當ノ利益ヲ取リマス、又現金ヲ以テ一般組合員ニ賣ルト云フコトハ、是モ中々今日ノ農家ノ實狀カラシテ不可能デゴザイマスカラシテ、是ニ於テ相當ノ利子ヲ取リテ賣ラナケレバナラヌノデゴザイマス、其利子モ、或ハ産業組合ノ利子ガ、非常ニ低利デアルカノ如ク存

ジテ居ル人モアルカモ知レマセヌガ、私ノ見ル所デハ産業組合ノ利子モ、場所ニ依テ安イノモアリマス、サウスルト産業組合ガ政府ヨリ買フ時ニハ、多クノ場合ニ於テ現金ヲ借入レ、相當ノ利子ヲ拂フ、而シテソレガ爲ニハ、或ル場所ニ依テハ倉庫ヲ造ラナケレバナラヌ産業組合モ出來マス、新タニ人ヲ雇入レナケレバナラヌ産業組合モ出來マス、相當ノ利息ヲ取リテ貸付ケルコト云フノガ、是ガ私ハ今日ノ産業組合ニ對シテ政府ガ賣ル場合ニ於テ當然起ルコト、思ヒマス、斯ウ云フコトニナリマス、ト云フト、私ハ恐ル、機敏ナル地方ノ小都市ニ於ケル肥料商ガ、政府ヨリ同一ノ値、或ハ政府ノ値段ヨリモ安イ値段ヲ以テ買入レテ行ッテ、而シテ商賣人ガ之ヲ地方ノ農民ニ賣ル、是モ勿論相當ノ利子モ取りマセウガ、何方ガ安クナルカ、何方ガ高クナルカト云フコトハ、殆ド分リマセヌ、私ハ産業組合ガ必ズ一般商人ヨリモ安く肥料ヲ供給スルコトハ斷定スルコトハ出來マセヌガ、政府ハ如何ナル場合ニ於テモ、必ズ政府ガ産業組合ニ供給シテ賣ラシメルコトハ、一般商人ガ外國ヨリ輸入シ或ハ製造會社ヨリ買入レテ、之ヲ販賣スルヨリモ安く供給シ得ルト云フ成算ガ必ズアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイト私ハ思ヒマス、是ハ當時賣ノ場合デアリマス、臨時賣ノ場合ハ最モ甚シイト思ヒマス、臨時賣ノ場合ハドウスルカト云フト、最モ只今御説明ニハアリマセヌガ、私ノ承ル所ニ依ルト、即チ六月、七月ノ頃ガ、最モ今日迄ノ實狀カラ云フト、需要供給ノ關係上肥料ガ暴騰スルガ、此場合ノ需要ニ備フル爲ニ、政府ハ新タニ二千万圓ノ肥料ノ倉庫ヲ建設シテ、之ニ貯藏シテ置イテ、サウシテ賣出スノデアリト云フ、所謂臨時賣ノ場合ニ於テハ、當時賣ヨリモ倉敷、利子等ヲ相當ニ清算シナケレバナリマセヌ結果、私ハ商賣人ノ持テ居ルモノヨリモ高イモノニナルト思フ、政府ハ如何ナル場合ヨリモ、臨時賣ノ場合ハ必ズ商賣人ノ賣ルモノヨリモ、安く賣ル確信ガアルカ、ドウカト云フコトヲ、御説明ニ依レバ、此法律ノ運用ニ依テ、必ズ商賣人ヨ

イマス(拍手)斯ノ如キ狀態ニアリマスルガ故ニ、之ヲ一部分政府ガ管理ヲシテ、總テノ價格ノ安定ト面シテ配給ノ圖滑ト云フコトガ目的デアルト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ今一ツハ、此案ヲ實行スル場合ニハ、指定商人ヲ置イテ、其指定商人ノ爲ニ利益ヲ得ラレシマフノデアラウト云フヤウナコトノ御質問ガゴザイマシタガ、本案ハ御承知ノ如クニ同一品種ノモノデアリ、同一價格デアレバ、日本ノ内地ニ於テ生産サレタル肥料ヲ優先買入レヲスルト云フコトガ目的ニ相成テ居リマスルカラ、出來得ル限りハ内地ノ肥料ヲ買フノデアリマスルカラ、政府ニ於テハ指定商人ナドヲ置ク考ヲ今日持テ居リマセヌ、動モスレバ之ニ依テ利權ヲドウトカシタト云フヤウナ反對運動、流言蜚語ヲ放タレル方ガアリマスルガ、是ハ左様ナサモシイ案デハナイノデゴザイマスルカラ、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)

(此時發言スル者アリ)

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○砂田政府委員(續) 高田君ノ御質問ノ中ニ確安肥料ノ...

(此時發言スル者アリ)

○副議長(清瀬一郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○砂田政府委員(續) 確安肥料ノ價格ハ、値幅ガ段々減シテ來テ、今日デハ餘リ騰落ガナイト仰セニナリマシタガ、是ハ小賣價段ニ於テハ其通りデアリマスルガ、尙ホ今日農村ニ對スル實際ノ小賣相場ニ於テハ、非常ナ暴騰ヲ來シテ居ル事實ハ、委員會ニ於テ統計ヲ御覽ニ入レテ御説明ヲ申上ゲマス(拍手) 高田君ノ御質問ノ中ニ産業組合、農會ト云フガ如キモノハ、場所ニ依テハ非常ニ發達シテ居ルガ、場所ニ依テハ殆ド金融ノ途ガナイヤウナモノガ澤山アルト云フコトヲ仰セラレマシタ、ソレハ御説ノ通りデゴザイマス、現ニ現内閣ニ代リマシタ當時ニ産業組合中興金庫ニハ、殆ド五千万圓ニ近イ遊金ヲ抱イテ居タト云フ事實ニ依テ見マシテモ、此産業組合ノ機能ガ如何ニ發揮セラレテ居ナカッタカト云フコトヲ物語テ居ルト吾々ハ考ヘルノデアリマス(拍手) 隨テ此機能ヲ發揮セシムル爲ニハ、出來得ル限り産業組合ノ改善ヲ期シ、之ニ適當ナル資金ノ融通ノ途ヲ與ヘルト云フコトガ、農村ニ對スル重要ナル今日ハ問題デア

ルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手) 隨テ出來得ル限りノ改善ト、而シテ出來得ル限り此産業組合ノ機能ヲ發揮セシムル爲ニモ、此肥料管理ヲヤルト云フコトハ必要ナ事ナリト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手) 尙ホ農村ノ産業組合ニハ、將來此以上ニ資金ノ融通ヲ圖ル考ガアルカト云フ御質問デゴザイマシタ、是ハ此内閣ニナリマシテ以來、幾度カ地方還元資金其他ノ方法ニ依リマシテ、隨分切實シタ大金ヲ今日迄ニ融通ヲ致シテ居リマス、今後ニ於テモ出來得ル限り農村ノ金融ノ圖滑ヲ圖ルコトヲ爲ニハ、全力ヲ擧ゲテ奮闘シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ要スルニ此肥料管理案ハ、極メテ僅ナ窒素肥料ニ限テ居リマシタガ、是ハ總テノ肥料價格ノ中樞ヲ爲シテ居ルモノデアアルカラ、之ニ管理ヲ行フト云フノデアアル、其以上尙ホ御分リナラナケルノバ、委員會デ明快ニ御答スルコトガ出來ルノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス(拍手)

(高田松平君登壇)

○高田松平君 大臣ノ御答辯デ大分クク點ガアツタガ、參與官ノ答辯デ少しモ分ラナクナツタ、甚ダ怪シカラヌ話デアアル、只今政府委員ハ此肥料管理法ヲ大衆ニ御吹聴ニナツタ、僅ニ二千万圓バカリノ金——總肥料ハ三億六千万圓ト稱シテ居ル、三億六千万圓ノ此肥料ノ價額ヲ、僅ニ二千万圓ノ金デは何ガ出來ルカ、唯窒素肥料、其窒素肥料ノ一部ノ確安、確安ノ中ノ僅ニ三分一ヲ管理スルノデゴザイマセウ、サウハ言ハヌケレドモ——説明書ヲ見ルト、最盛期ニ於ケル所ノ肥料ノ半分ヲ管理スルト云フノデアアル、金額ノ三分一ノ窒素肥料ヲ管理スルノデアアル、確安ノ需要ノ三分一ヲ總肥料三億六千万圓、其中ノ窒素肥料、其窒素肥料ノ中ノ確安、確安ノ中ノ三分一ノ二千万圓ノ金ヲ運用シテ、是デ肥料全體ノ管理ガ出來テ、價格ノ安定ガ出來ルトカ、肥料ノ配給ガ完全ニ出來ルトカ云フ、何處ヲ突ケバソナナ言ガ出マスカ、宣傳ニモ程ガアル(拍手) 嘘ヲ言フニモ程ガアル、更ニ大臣ヨリ御答ニナツタ、政府ガ買入レテ之ヲ産業組合ニ賣ルノニハ、色々ノ機關ヲ經ズシテ簡單ニ賣レルカラ費用ガ少クテ濟ムカラ、安ク出來ルト云フコトハ、是ハ常識デ

分リサウダト、斯ウ仰シヤル、若シ其通りデ濟ムナラバ、産業組合ヲシテ直接製造會社ヨリ買ハセル方法ヲ講ズルナラバ、何等ノ必要モナクテ濟ム答デアアル、サウデセウ、唯時價ヲ以テ産業組合ニ賣ルト云フコトデアアルナラバ、管理法ナド、云フモノハ設ケズニ濟ミハセヌカ、政府ガ肥料ノ獎勵ノ方針ヲ別ニ立テ、産業組合ニ對シテ直接ニ肥料商ヨリ之ヲ買ハス、東京、大阪ノ大商人ヨリ之ヲ買ハセルト云フ方針ヲ執レバ、是デ十分デアラフ、何等國庫ノ金モ一錢モ要サナクテ濟ム、若シ其配給ヲ管理スル必要ガアレバ、官吏ノ二三入デモ置ケバソナレバ宜イ、而シテ大臣ハ常識的ニ安クナル答デアルト言フ是デハ分リマセヌ、私ハ此肥料管理法ノ目的ハ肥料價格ノ安定デアアル、肥料ヲ安ク供給スルト云フコトデアアル、若シ此點ガ破レ、バ此法案ハ何ノ效果モ無イ、世間ノ多クノ人ニハ賣テ仕族ノ商法デ、政府ガ肥料ヲ買テ之ヲ賣テ仕族ノ商賣人ト對抗出來ナイノデアルト云フコトヲ疑念シテ居ル、若シ果シテ政府ガ確ニ商賣人ノ賣ルヨリモ、政府ガ買テ之ヲ産業組合ニ賣ラセル方ガ安ク出來ルト云フコトナラバ、茲ニ具體的ニ説明ナサイ、常識ナドト言ハズ、具體的ニドウシテ安ク出來ルト云フコトヲ御説明ナサイ、委員會ノ問題デハナイ、此處ガ根本問題デアアル、尙ホ砂田政府委員ハ外國ノ肥料ヲ輸入セズシテ、若シ價格ガ同ジナラバ内地ノ確安ヲ買フト言フガ、是ハ私此間商工大臣カラモ同ジタ、商工大臣ノ答辯ニハ、内地デ出來ル確安モ、外國デ出來ル確安モ品質ハ同ジト云フ、併シ是ニハドウモ僞リガアル、肥料商ノ多クノ人ハ、内地製ノ確安ハ水分ガ多ク、遊離酸ガ多クテ、到底今日ノ所デハ外國品ト對抗ガ出來ナイノデアアルカラ、政府ガ若シ内地品ヲ買入レテ、而シテ之ヲ若シ臨時賣ルモノニデモ提供致シマシタナラバ品物ハ惡クナル、或ハ其入レテ置ク袋ナドハ全然破レテ、一袋ニ付テ少カラザル損ヲスルト云フコトハ、肥料ノ實際ニ通ズル人ノ明ニ知ル所デアリマス、尙ホ政府ハ必ズ内地品デ間ニ合ハセルト信ズルカ、兎ニ角必ズ政府ガヤレバ主タクル問題デアアルカラ、具體的ニ此席デ御説明願ヒマス

(櫻井兵五郎君登壇)

○政府委員(砂田重政君) 極メテ簡單ニ御答ヲ申上ゲマス、肥料ノ管理ガ全然其目的ヲ達スルコトノ出來ナイヤウナ、クダラナイモノナラバ、全國ノ肥料商人ガ自分等ノ商業ノ壓迫ヲ受ケルト云フノデアリマシナイダラウト思フ、吾々ハ之ヲ壓迫スルコトガ目的デアリマセヌカ、ソレダケノ心配ガサレルト云フコトニ御考ヘ下サレバ、相當ノ效果ガ舉ルト云フコトハ明デアリマス

○櫻井兵五郎君 農業生産費ノ大ナル部分ヲ占メマスル所ノ肥料ノ問題ニ付キマシテ、是ガ現狀ニ照シ國家ハ相當ノ施設ヲセラレヤウト云フ、其精神ニ對シマシテハ、私ハ何等異存ナイバカリナク、贊意ヲ表スルモノデアリマスガ、唯此案ヲ拜見致シテ、第一ニ最も大切ナル根本ノ問題ガ見落サレテ居ルト云フコトガ一點、ソレカラ今一點ハ、斯様ナ案ニ依リマシテ、果シテ政府ノ豫期セララル、ヤウナ效果ガアルカドウカ、此點ニ付テ私ハ多大ノ疑問ヲ抱イタ、其第一ノ問題ハ、政府ハ價格ノ安定ト云フコトヲ言ハレル、尤モ私ハ價格ノ安定モ必要ナコト、思フノデアリマスガ、併ナガラ私共ハ農業生産ノ上カラ考ヘマシテ、モットソレヨリモ根本的ナ——最も此價格ノ問題モ之ニ關聯シマスガ、根本的ノ問題ハ、安イ良質ノ肥料ヲ農家ノ手ニ入ル、ト云フコトデアリマス、ソレガ單ニ價格ノ安定ト云フコトダケデハ、安イ肥料ガ農家ノ手ニ入ラナイト思フ、唯ソレハ一面ノ方法ニ過ギナイノデアリマスルカラ、寧ロ此現在ノ販賣肥料ノ如キモノヲ、何等カノ方法ヲ講ジテ、モット生産原價ヲ安クスル、中間商人ノ手ニ渡ル前ノ原價ヲモット安クスルト云フ、其根本問題ヲ政府ガ見落シテ居ルノデハナイカ、之ニ對シテ政府ハドウ考ヘマスカ、此事ヲ考ヘズシテ、單ニ高イ物ガ出テ來レバ製造家カラ高イ物ヲ買フ、單ニ中間商人ダケノ幾分ノ利益ヲ防グト云フダケデハ、不徹底ナリト私ハ考ヘザルヲ得ナイ、ソレカラ今一點ハ、高田君モ之ニ一寸觸レラレタヤウデアリマスガ、確カ是ハ四千万圓ヲ以テ販賣肥料ノ六七ノ需要期ニ於ケル約半額ヲ政府ガ扱フ、斯ウ云フ趣旨デアット思フ、私ハ是ガ二千万圓云々ヲ見テ、ソレデハ四分ノ一ノ扱ニナツタノデハナイカト

(櫻井兵五郎君登壇)

○櫻井兵五郎君 農業生産費ノ大ナル部分ヲ占メマスル所ノ肥料ノ問題ニ付キマシテ、是ガ現狀ニ照シ國家ハ相當ノ施設ヲセラレヤウト云フ、其精神ニ對シマシテハ、私ハ何等異存ナイバカリナク、贊意ヲ表スルモノデアリマスガ、唯此案ヲ拜見致シテ、第一ニ最も大切ナル根本ノ問題ガ見落サレテ居ルト云フコトガ一點、ソレカラ今一點ハ、斯様ナ案ニ依リマシテ、果シテ政府ノ豫期セララル、ヤウナ效果ガアルカドウカ、此點ニ付テ私ハ多大ノ疑問ヲ抱イタ、其第一ノ問題ハ、政府ハ價格ノ安定ト云フコトヲ言ハレル、尤モ私ハ價格ノ安定モ必要ナコト、思フノデアリマスガ、併ナガラ私共ハ農業生産ノ上カラ考ヘマシテ、モットソレヨリモ根本的ナ——最も此價格ノ問題モ之ニ關聯シマスガ、根本的ノ問題ハ、安イ良質ノ肥料ヲ農家ノ手ニ入ル、ト云フコトデアリマス、ソレガ單ニ價格ノ安定ト云フコトダケデハ、安イ肥料ガ農家ノ手ニ入ラナイト思フ、唯ソレハ一面ノ方法ニ過ギナイノデアリマスルカラ、寧ロ此現在ノ販賣肥料ノ如キモノヲ、何等カノ方法ヲ講ジテ、モット生産原價ヲ安クスル、中間商人ノ手ニ渡ル前ノ原價ヲモット安クスルト云フ、其根本問題ヲ政府ガ見落シテ居ルノデハナイカ、之ニ對シテ政府ハドウ考ヘマスカ、此事ヲ考ヘズシテ、單ニ高イ物ガ出テ來レバ製造家カラ高イ物ヲ買フ、單ニ中間商人ダケノ幾分ノ利益ヲ防グト云フダケデハ、不徹底ナリト私ハ考ヘザルヲ得ナイ、ソレカラ今一點ハ、高田君モ之ニ一寸觸レラレタヤウデアリマスガ、確カ是ハ四千万圓ヲ以テ販賣肥料ノ六七ノ需要期ニ於ケル約半額ヲ政府ガ扱フ、斯ウ云フ趣旨デアット思フ、私ハ是ガ二千万圓云々ヲ見テ、ソレデハ四分ノ一ノ扱ニナツタノデハナイカト

云フ疑ヲ持ツノデアリマスガ、農林大臣ノ先ノ御答辯ニ依レバ、ソレヲ否定セラハ、ヤウデアリマスカラ、其點ハ強ヒテ御尋ハ效果ガ甚ダ疑ハシイ、今參與官ノ御説明ニ、肥料商ノ反對運動ガアル、肥料商ノ反對運動ハ效果アル證據ダト言ハレタガ、肥料商ノ反對ハ帳簿ノ檢査マデセラレルノデアルカラ、商人ノ機密ニ關スルコトヲ嫌フト云フ點モアラウト思フ、必シモ參與官ノ言ハレル通りデハナイト思フ、ドウモ吾々ハ安イ肥料ヲ農家ノ手ニ仕入レルト云フ上カラ見マスレバ、斯ノ如キ最要期ニ半額若クハ四分ノ一ニ當ル位ノ方法ヲ以テ、ソレダケ此大問題ガ解決セラレルト信ジテ居ラレルト云フコトハ、如何ニモ此案ニ對スル御熱誠ガ足りナイ、不徹底デアル、斯様ニ私ハ疑ヲ抱イタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御答辯ガ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツハ産業組合ヲ通シテ、是ガ販賣ニ當ラシムルト云フコトデアリマスガ、是ニハ二ツノ場合ガアラウト思フ、産業組合ガ之ヲ扱テ、サウシテ之ヲ需要家ニ賣ル、其代金ニハ何等ノ心配ガナイト云フコトモ相當アルニ相違ナイ、併ナガラ農家ノ貧困ナモ一回ヤ二回デハ出來ナイト思フ、現ニ肥料高ハ色々ナ關係ニ於テ、或場合ニハ五回、七回ニ互リ足ヲ運シテ、漸クニシテ其代金ヲ回收スル、或ハ出來ナイ場合モアルト云フノガ實狀デアアル、ソレ故ニ若シ之ヲ産業組合ニ扱ハセル場合ニ於テ、産業組合ガ其危險ヲ冒シテヤラナケレバナラヌ、産業組合ヲ危險ニ陥ラシムルモノデハナイカ、ソレカラ産業組合ヲ危險ニ陥ラセズシテ、現金賣ニスト云フコトニナレバ、ソレハ正シク配給上、所謂モウツノ政府ノ目的タル配給ノ圓滑ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、ドナラカガ手落ニナルト思ヒマスガ、之ニ對スル政府ノ御所見ハドウデアリマスガ、次ニ今一ツハドウ考ヘテモ、私ハ本案ハ甚ダ不徹底デアル、農家ノ大問題ヲ解決スルニ足ラヌ、今少シ熱心ニ本氣ニ此案ヲ立テ直サレタラ、現ニ世間デハ是ハ總理大臣ガ肥料ノ公平ナル分配ト云フコトヲ失言セラレタ、ソレノ何トカ跡片付ツシナケレバナラヌカラ、農相ガ斯様ナ法案ヲ出シタトカ言ッテ居ル、農業政策ニ關スル重大問題ニ

付テ、斯様ナ疑ヲ懷カシムルト云フコトハ、甚ダ好マシカラヌコト、思ヒマスアレドモ、如何ニモ案ノ不徹底ヨリ考ヘテ見マスレバ、成程或ハサウ云フヤウナコトモアラウト疑ハレル單ニ上滑リナ御考デスノ如キ重大ナ問題ヲ解決セラレヤウトスルナラバ、ソレハ飛ンデモナイコトデ却テ農家ノ迷惑デアアル、今少シ突込シテ完全ナ根本ノ案ヲ提出セラレルナラバ、吾々モ十分ニ審議ヲシタイト思フノデアリマスガ如何デス、敢テ農林大臣ノ答辯ヲ伺フテ置クノデアリマス、此四點ニ付テ農林大臣ノ誠意アル御答辯ヲ求ムル次第デアリマス

(國務大臣山本錦二郎君登壇)

○國務大臣(山本錦二郎君) 櫻井君ノ御尋ニ簡單ニ御答致シマス、第一ノ點ハ、肥料ノ生産費ヲ安クサセルト云フコトガ先決問題デハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、ソレハ其通りデアリマス、是ハ工業方面ニ於テ内地ニ於テ之ヲ供給スルト同時ニ、其價格ヲ安クスルト云フコトニ努メナケレバナリマセヌ、併ナガラ現在ノ狀態デハ、ドウデアリマセヌ、併ナガラ内地ニ生産スル分並外外國ヨリ輸入シテ來ル分、其價格ヲ以テ僅ナ手數料デ農家ニ渡ルナラバ、ソレデ宜シイガ、現在ノ狀況ハドウカト云ヘバ、原價ハソレ程高クナイモノガ、農家ノ手ニ渡ル時ニハ、非常ニ高イモノニナッテ渡ルト云フ弊ガアルカラ、之ヲ管理ニ依テ矯正セントスルノデアリマス、ソレカラ次ニハ、僅ニ最盛時期ノ半額位デハ管理ノ效果ヲ現ハスコトガ出來ナイデハナイカト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、私等ノ見ル所ニ依レバ、是ダケノ數量ヲ管理スルコルトニ依テ、十分ニ市場ヲ支配スルコトガ出來ルト信ズルノデアリマス、現ニ米穀法ノ如キハ櫻井君モ御承知ノ通り、六千万石ノ產額ノ中デ、市場ニ出ルモノガ假ニ半額ノ三千万石ト致シマシテモ、中ニ大キナ數量デアリマス、併ナガラ米穀法ニ依テ百万石、百五十万石ノ數量ヲ買入れ、バ、是ガ直ニ市場ニ影響ヲ及ボスノデハアリマセヌカ、況ンテ増加シテ行ク最盛時期ノ半數ヲ政府ノ手ニ於テ管理スルト云フコトニナツタナラバ、其效果影響ハ極メテ大ナルモノガアラウト、私ハ信ズルノデアリマス、ソレカラ産業組合ヲ通ジテハ、却テ産業組合ヲ危險ニ陥レハシナイカ、斯様ナ御尋デアリマ

スガ、私ハ左様ニハ信ジマセヌ、元來産業組合ノ使命ト云フモノハ、斯ノ如キ方面ニ向テ働カナケレバナラナイノデアアル、斯ウ云フコトヲ爲シ得ナイ位ノ産業組合ナラバ、實ハ産業組合ハ役ニ立タヌノデアアル、固ヨリ強テ不堅實ナル産業組合ヲシテ之ヲ行ハシメヤウト云フノデアリマセヌ、其力アルモノニ力相應ノ仕事ヲサセヤウト云フノデアリマス、其力無キ場合ニ於テハ、市町村ヲ通ジテヤラセルコトモ出來ルノデアアル、又農會ヲ通ジテヤラセルコトモ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ産業組合ヲ危險ニ陥レルト云フヤウナ心配ハナイ積リデアリマス、最後ニ一言申上ゲテ置キマスガ、此案ハ如何ニモ不徹底デアアル、唯總理大臣ガ肥料ノコトニ言及シタ其言責ヲ充タスガ爲ニ、斯様ナモノヲ出シタノデハナイカト云フヤウナ御非難ノヤウナ、御尋ノヤウナ、御意見ノ申スヨリ外ハナイノデアリマス、今日誰ガ眼カラ見テモ、此肥料界ノ狀態ヲ此儘ニシテ置イテ宜イノデアルカドウデアアルカト云フコトヲ、先ヅ御考ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、此儘ニシテ置イテ宜イト云フナラバ、我又何ヲカ言ハンヤデアアルガ、此儘ニシテ置イテハナラヌト云フノデアアルナラバ、總理大臣ガ之ニ言及シヤウガスマイガ、當局ト致シテハ之ヲ立案致シテ提案スルト云フコトハ當然ノコトデアリマス

○副議長(清瀨一郎君) 以上ヲ以テ本案ニ對スル質疑ヲ終局致シマシタ、右各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○原惣兵衛君 兩案ヲ一括シテ、議長指名、特ニ二十七名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

○副議長(清瀨一郎君) 呼フ者アリ

○副議長(清瀨一郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○原惣兵衛君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日は是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(清瀨一郎君) 呼フ者アリ

○副議長(清瀨一郎君) 原君ノ動議ニハ、御異議ナシト認メマス、本日は是ニテ散會

次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス
午後六時三十五分散會

衆議院議事速記第二十二號中正誤

頁	四七〇	二	四〇
段	二	三	九
行	二	三	九
誤	二	三	九
正	二	三	九
草案	二	三	九
調成	二	三	九
中	二	三	九
十一年	二	三	九